

(様式第10)

愛大医総第250号

令和 5年 10月 5日

厚生労働大臣 殿

開設者名 国立大学法人愛媛大学

学長 仁科 弘重

愛媛大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和4年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒790-8577 松山市道後樋又10番13号
氏名	国立大学法人愛媛大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

愛媛大学医学部附属病院
-------------

3 所在の場所

〒791-0295 東温市志津川454
電話(089)964-1111

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input checked="" type="radio"/>	1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
<input type="radio"/>	2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科				有			
内科と組み合わせた診療科名等							
<input checked="" type="radio"/>	1呼吸器内科	<input type="radio"/>	2消化器内科	<input type="radio"/>	3循環器内科	<input type="radio"/>	4腎臓内科
<input type="radio"/>	5神経内科	<input type="radio"/>	6血液内科	<input type="radio"/>	7内分泌内科	<input type="radio"/>	8代謝内科
<input checked="" type="radio"/>	9感染症内科	<input type="radio"/>	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科			<input type="radio"/>	11リウマチ科
診療実績							
・「5神経内科」については、(5)その他に標榜している診療科「4脳神経内科」「5臨床薬理内科」にて医療を提供している。 ・「11リウマチ科」については、(5)その他に標榜している診療科「1膠原病・リウマチ内科」にて医療を提供している。							

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科						有	
外科と組み合わせた診療科名							
○	1呼吸器外科	○	2消化器外科		3乳腺外科		4心臓外科
	5血管外科	○	6心臓血管外科		7内分泌外科	○	8小児外科
診療実績							
・「3乳腺外科」「7内分泌外科」については、(5)その他に標榜している診療科「11乳腺・内分泌外科」にて医療を提供している。 ・「4心臓外科」「5血管外科」については、「6心臓血管外科」にて医療を提供している。							

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1精神科	○	2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科	○	7産婦人科		8産科
	9婦人科	○	10眼科		11耳鼻咽喉科		12放射線科
○	13放射線診断科	○	14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

(注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科						有	
歯科と組み合わせた診療科名							
	1小児歯科	○	2矯正歯科	○	3歯科口腔外科		
歯科の診療体制							

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	膠原病・リウマチ内科	2	高血圧内科	3	糖尿病内科	4	脳神経内科	5	臨床薬理内科
6	総合診療科	7	消化器腫瘍外科	8	食道・胃・大腸外科	9	内視鏡外科	10	肝胆膵・移植外科
11	乳腺・内分泌外科	12	形成外科	13	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	14	病理診断科	15	リハビリテーション科
16	臨床検査科	17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計	(単位:床)
40	2	-	-	602	644	

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計
医師	234	220	401.1
歯科医師	7	11	15
薬剤師	48	0	48
保健師	0	0	0
助産師	20	0	20
看護師	658	30	676.7
准看護師	0	0	0
歯科衛生士	6	0	6
管理栄養士	9	2	10.5

職種	員数
看護補助者	45
理学療法士	14
作業療法士	5
視能訓練士	6
義肢装具士	0
臨床工学士	19
栄養士	0
歯科技工士	2
診療放射線技師	37

職種	員数	
診療エックス線技師	0	
臨床検査	臨床検査技師	52
	衛生検査技師	0
	その他	0
あん摩マッサージ指圧師	0	
医療社会事業従事者	12	
その他の技術員	15	
事務職員	160	
その他の職員	25	

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めなくて記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	57	眼科専門医	17
外科専門医	51	耳鼻咽喉科専門医	19
精神科専門医	13	放射線科専門医	24
小児科専門医	27	脳神経外科専門医	12
皮膚科専門医	9	整形外科専門医	17
泌尿器科専門医	11	麻酔科専門医	13
産婦人科専門医	16	救急科専門医	7
		合計	293

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 ( 杉山 隆 ) 任命年月日 令和 3 年 4 月 1 日

平成27年4月1日に産婦人科の教授に就任後、診療科長として医療安全管理委員会の委員となり、令和3年4月1日に病院長に就任し、病院長に就任後は医療安全管理委員会の委員長を務めている。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	471.4 人	14.3 人	485.7 人
1日当たり平均外来患者数	1230.9 人	58.2 人	1289.2 人
1日当たり平均調剤数		891	剤
必要医師数		120.48	人

必要歯科医師数	4.7	人
必要薬剤師数	17	人
必要(准)看護師数	287	人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。  
2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。  
3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。  
4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。  
5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條

#### 10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
			病床数		心電計	
集中治療室	431 ㎡	鉄筋コンクリート	22 床	有	心電計	有
			人工呼吸装置	有	心細動除去装置	有
			その他の救急蘇生装置	有	ペースメーカー	有
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	290	㎡	病床数	15 床
	[移動式の場合]	台数		台		
医薬品情報管理室	[専用室の場合]	床面積	20		㎡	
	[共用室の場合]	共用する室名				
化学検査室	392 ㎡	鉄筋コンクリート	(主な設備)	全自動蛍光抗体法分析装置 全自動化学発光免疫測定装置		
細菌検査室	266 ㎡	鉄筋コンクリート	(主な設備)	微生物感受性分析装置 リアルタイム濁度測定装置		
病理検査室	175 ㎡	鉄筋コンクリート	(主な設備)	液状化検体細胞診標本作成装置 IHC/ISH自動染色装置		
病理解剖室	360 ㎡	鉄筋コンクリート	(主な設備)	剖検台、局所排気装置		
研究室	199 ㎡	鉄筋コンクリート	(主な設備)	パソコン、プリンタ、顕微鏡		
講義室	734 ㎡	鉄筋コンクリート	室数	18 室	収容定員	660 人
図書室	99 ㎡	鉄筋コンクリート	室数	2 室	蔵書数	42,285 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。  
2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

#### 11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	99.9	%	逆紹介率	75.2	%
算出根拠	A: 紹介患者の数		13227 人		
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		10502 人		
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		716 人		
	D: 初診の患者の数		13953 人		

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況
中西 徳彦	愛媛県立中央病院	○	医療に係る安全管理に 関する識見を有する者	無	1
大熊 伸定	弁護士法人 松山中央弁護士事務所		法律に関する識見を有 する者	無	1
河野 和博	愛媛県難病等患者団体 連絡協議会／愛媛県腎 臓病患者連絡協議会		医療を受ける者	無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
愛媛大学ホームページの情報公開のページ内に、「附属病院における医療安全管理について」という事項を設け、監査委員会規程及び委員会名簿(選定理由を含む)を公表している。	





(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類合計数	0
扱い患者数の合計(人)	0

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	7	56	ベーチェット病	66
2	筋萎縮性側索硬化症	20	57	特発性拡張型心筋症	18
3	脊髄性筋萎縮症	9	58	肥大型心筋症	14
4	原発性側索硬化症	0	59	拘束型心筋症	3
5	進行性核上性麻痺	1	60	再生不良性貧血	22
6	パーキンソン病	112	61	自己免疫性溶血性貧血	28
7	大脳皮質基底核変性症	2	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	2
8	ハンチントン病	1	63	特発性血小板減少性紫斑病	36
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	1
10	シャルコー・マリー・トゥース病	1	65	原発性免疫不全症候群	4
11	重症筋無力症	61	66	IgA 腎症	15
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	10
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	53	68	黄色靭帯骨化症	6
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	7	69	後縦靭帯骨化症	55
15	封入体筋炎	4	70	広範脊柱管狭窄症	2
16	クロー・深瀬症候群	1	71	特発性大腿骨頭壊死症	51
17	多系統萎縮症	7	72	下垂体性ADH分泌異常症	13
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	26	73	下垂体性TSH分泌亢進症	2
19	ライソゾーム病	2	74	下垂体性PRL分泌亢進症	2
20	副腎白質ジストロフィー	0	75	クッシング病	5
21	ミトコンドリア病	11	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
22	もやもや病	23	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	12
23	プリオン病	2	78	下垂体前葉機能低下症	33
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	1	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	1
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	32	83	アジソン病	2
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	42
30	遠位型ミオパチー	0	85	特発性間質性肺炎	44
31	ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	7
32	自己貪食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンベル症候群	0	88	慢性血栓性肺高血圧症	5
34	神経線維腫症	17	89	リンパ脈管筋腫症	4
35	天疱瘡	27	90	網膜色素変性症	15
36	表皮水疱症	1	91	バッド・キアリ症候群	0
37	膿疱性乾癬(汎発型)	4	92	特発性門脈圧亢進症	0
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	0	93	原発性胆汁性胆管炎 旧病名(原発性胆汁性肝硬変)	38
39	中毒性表皮壊死症	1	94	原発性硬化性胆管炎	7
40	高安動脈炎	27	95	自己免疫性肝炎	0
41	巨細胞性動脈炎	10	96	クローン病	47
42	結節性多発動脈炎	8	97	潰瘍性大腸炎	79
43	顕微鏡的多発血管炎	52	98	好酸球性消化管疾患	1
44	多発血管炎性肉芽腫症	33	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	40	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	1	101	腸管神経節細胞減少症	0
47	バージャー病	2	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	5	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	199	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	63	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	95	106	クリオピリン関連周熱症候群	5
52	混合性結合組織病	37	107	若年性特発性関節炎 旧病名(全身型若年性特発性関節炎)	0
53	シェーグレン症候群	90	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人スチル病	26	109	非典型型溶血性尿毒症症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	12	110	ブラウ症候群	0

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	0	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	31
113	筋ジストロフィー	13	163	特発性後天性全身性無汗症	5
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	28	166	弾性線維性仮性黄色腫	0
117	脊髄空洞症	0	167	マルファン症候群	1
118	脊髄髄膜瘤	0	168	エーラス・ダンロス症候群	0
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	3
122	脳表へモジデリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	1
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	2	177	ジュベール症候群関連疾患 旧病名(有馬症候群)	0
128	ピッカーstaff脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ビクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリス症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	0	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	0
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	ブラダー・ウィリ症候群	0
144	レノックス・ガスター症候群	0	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	0	195	ヌーナン症候群	1
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シン普森症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスマッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	0	208	修正大血管転位症	2
159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	4
160	先天性魚鱗癬	0	210	単心室症	3

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

患者数	疾患名	患者数	疾患名	患者数	
211	左心低形成症候群	0	272	進行性骨化性線維異形成症	0
212	三尖弁閉鎖症	10	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	274	骨形成不全症	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	275	タナトフォリック骨異形成症	0
215	ファロー四徴症	18	276	軟骨無形成症	0
216	両大血管右室起始症	0	277	リンパ管腫症/ゴーム病	4
217	エプスタイン病	3	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
218	アルポート症候群	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	1
219	ギャロウェイ・モワト症候群	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	1
220	急速進行性糸球体腎炎	26	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	7
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
222	一次性ネフローゼ症候群	14	283	後天性赤芽球癆	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
224	紫斑病性腎炎	5	285	ファンconi貧血	0
225	先天性腎性尿崩症	0	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	0	287	エプスタイン症候群	0
227	オスラー病	2	288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	2
228	閉塞性細気管支炎	2	289	クロンカイト・カナダ症候群	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
230	肺胞低換気症候群	0	291	ヒルシュスブルグ病(全結腸型又は小腸)	0
231	$\alpha$ 1-アンチトリプシン欠乏症	0	292	総排泄腔外反症	0
232	カーニー複合	2	293	総排泄腔遺残	0
233	ウォルフラム症候群	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
235	副甲状腺機能低下症	2	296	胆道閉鎖症	1
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	297	アラジール症候群	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	298	遺伝性膀胱炎	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	7	299	嚢胞性線維症	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	300	IgG4関連疾患	17
240	フェニルケトン尿症	0	301	黄斑ジストロフィー	0
241	高チロシン血症1型	0	302	レーベル遺伝性視神経症	0
242	高チロシン血症2型	0	303	アッシュャー症候群	0
243	高チロシン血症3型	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
244	メープルシロップ尿症	0	305	遅発性内リンパ水腫	0
245	プロピオン酸血症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	36
246	メチルマロン酸血症	1	307	カナバン病	0
247	イソ吉草酸血症	0	308	進行性白質脳症	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	309	進行性ミオクローヌスてんかん	0
249	グルタル酸血症1型	0	310	先天異常症候群	0
250	グルタル酸血症2型	0	311	先天性三尖弁狭窄症	0
251	尿素サイクル異常症	0	312	先天性僧帽弁狭窄症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	313	先天性肺静脈狭窄症	0
253	先天性葉酸吸収不全	0	314	左肺動脈右肺動脈起始症	0
254	ポルフィリン症	0	315	ネイルパテラ症候群(爪蓋蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	316	カルニチン回路異常症	1
256	筋型糖原病	0	317	三頭酵素欠損症	0
257	肝型糖原病	0	318	シトリン欠損症	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	319	セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症	0
259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0
260	シトステロール血症	0	321	非ケト-シス型高グリシン血症	0
261	タンジール病	0	322	$\beta$ -ケトチオラーゼ欠損症	0
262	原発性高カイロミクロン血症	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
263	脳髄黄色腫症	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
264	無 $\beta$ リポタンパク血症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
265	脂肪萎縮症	0	326	大理石骨病	0
266	家族性地中海熱	1	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	0
267	高IgD症候群	0	328	前眼部形成異常	0
268	中條・西村症候群	0	329	無虹彩症	1

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0	330	先天性気管狭窄症／先天性声門下狭窄症 旧病名(先天性気管狭窄症)	0
270	慢性再発性多発性骨髄炎	0	331	特発性多中心性キャスルマン病	3
271	強直性脊椎炎	5	332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0
			333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0
			334	脳クレアチン欠乏症候群	0
			335	ネフロン癆	0
			336	家族性低βリポタンパク血症1 (ホモ接合体)	0
			337	ホモシスチン尿症	0
			338	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	0

(注) 「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

疾患数	115
合計患者数(人)	2096

## (様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
地域歯科診療支援病院歯科初診料	患者サポート体制充実加算
歯科外来診療環境体制加算2	重症患者初期支援充実加算
特定機能病院入院基本料 一般病棟 7対1	褥瘡ハイリスク患者ケア加算
特定機能病院入院基本料 入院栄養管理体制加算	ハイリスク妊娠管理加算
特定機能病院入院基本料 精神病棟 13対1	ハイリスク分娩管理加算
救急医療管理加算	後発医薬品使用体制加算1
超急性期脳卒中加算	病棟薬剤業務実施加算1
診療録管理体制加算1	病棟薬剤業務実施加算2
医師事務作業補助体制加算1(20対1)	データ提出加算2
急性期看護補助体制加算25対1(看護補助者5割以上)	入退院支援加算1
夜間100対1急性期看護補助体制加算	入退院支援加算 入院時支援加算
夜間看護体制加算	精神疾患診療体制加算
看護職員夜間配置加算(12対1(1))	精神科急性期医師配置加算2イ
看護補助加算2	地域医療体制確保加算
療養環境加算	特定集中治療室管理料4
重症者等療養環境特別加算	特定集中治療室管理料4 算定上限日数に係る施設基準
無菌治療室管理加算1	特定集中治療室管理料4 小児加算
無菌治療室管理加算2	特定集中治療室管理料4 早期離床・リハビリテーション加算
放射線治療病室管理加算(治療用放射性同位元素による場合)	脳卒中ケアユニット入院医療管理料
緩和ケア診療加算	新生児特定集中治療室管理料1
精神科身体合併症管理加算	新生児治療回復室入院医療管理料
精神科リエゾンチーム加算	一類感染症患者入院医療管理料
摂食障害入院医療管理加算	小児入院医療管理料2
栄養サポートチーム加算	小児入院医療管理料2 プレイルーム加算
医療安全対策加算1	小児入院医療管理料2 無菌治療管理料加算1
感染対策向上加算1	小児入院医療管理料2 無菌治療管理料加算2
指導強化加算	看護職員処遇改善評価料63

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
ウイルス疾患指導料の注2	
外来栄養食事指導料の注2に規定する基準	緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
外来栄養食事指導料の注3に規定する基準	緑内障手術(流出路再建術(眼内法)及び水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)
心臓ペースメーカー指導管理料の注5に掲げる遠隔モニタリング加算	緑内障手術(濾過胞再建術(needle法))
糖尿病合併症管理料	網膜附着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)
がん性疼痛緩和指導管理料	網膜再建術
がん患者指導管理料ロ	経外耳道的内視鏡下鼓室形成術
がん患者指導管理料ハ	人工中耳植込術
がん患者指導管理料ニ	植込型骨導補聴器(直接振動型)植込術、人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
外来緩和ケア管理料	耳管用補綴剤挿入術
移植後患者指導管理料(臓器移植後の場合)	内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)及び経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術(頭蓋底郭清、再建を伴うもの)
移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後の場合)	鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)
糖尿病透析予防指導管理料	鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)及び鏡視下喉頭悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
小児運動器疾患指導管理料	内喉頭筋内注入術(ボツリヌス毒素によるもの)
婦人科特定疾患治療管理料	鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
一般不妊治療管理料	喉頭形成手術(甲状軟骨固定用器具を用いたもの)
生殖補助医療管理料1	上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)
二次性骨折予防継続管理料1	上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)
二次性骨折予防継続管理料3	内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下ハセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)、内視鏡下副甲状腺(上皮小体)腺腫過形成手術
下肢創傷処置管理料	内視鏡下甲状腺悪性腫瘍手術
外来腫瘍化学療法診療料1	頭頸部悪性腫瘍光線力学療法

連携充実加算	乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)
ニコチン依存症管理料	乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)
療養・就労両立支援指導料の注3に掲げる相談支援加算	ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
がん治療連携計画策定料	胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
ハイリスク妊産婦連携指導料1	胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
肝炎インターフェロン治療計画料	胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
こころの連携指導料(Ⅱ)	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除及び肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
薬剤管理指導料	肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)
医療機器安全管理料1	胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
歯科治療時医療管理料	内視鏡下筋層切開術
在宅患者訪問看護・指導料(悪性腫瘍の患者に対する緩和ケア、褥瘡ケア又は人工肛門ケア及び人工膀胱ケアに係る専門の研修を受けた看護師による場合)	食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腔腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注2に掲げる遠隔モニタリング加算	経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料	胸腔鏡下弁形成術
在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	胸腔鏡下弁形成術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)及び皮下連続式グルコース測定	経カテーテル大動脈弁置換術(経心尖大動脈弁置換術及び経皮的な大動脈弁置換術)
持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)	経カテーテル弁置換術(経皮的肺動脈弁置換術)
遺伝学的検査	経皮的僧帽弁クリップ術
染色体検査の注2に規定する基準	胸腔鏡下弁置換術
骨髄微小残存病変量測定	不整脈手術(左心耳閉鎖術(胸腔鏡下によるもの))
BRCA1/2遺伝子検査(腫瘍細胞を検体とするもの)	経皮的な中隔心筋焼灼術
BRCA1/2遺伝子検査(血液を検体とするもの)	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
がんゲノムプロファイリング検査	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)
角膜ジストロフィー遺伝子検査	両心室ペースメーカー移植術(心筋電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(心筋電極の場合)
先天性代謝異常症検査	両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)
抗アデノ随伴ウイルス9型(AAV9)抗体	植込型除細動器移植術(心筋リードを用いるもの)及び植込型除細動器交換術(心筋リードを用いるもの)

抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)	植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)及び植込型除細動器交換術(その他のもの)
HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(心筋電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(心筋電極の場合)
ウイルス・細菌核酸多項目同時検出	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)
検体検査管理加算(I)	大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
検体検査管理加算(IV)	経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)
国際標準検査管理加算	経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)(小児を対象とする場合)
遺伝カウンセリング加算	補助人工心臓
遺伝性腫瘍カウンセリング加算	小児補助人工心臓
心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	植込型補助人工心臓(非拍動流型)
時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	経皮的下肢動脈形成術
胎児心エコー法	腹腔鏡下リンパ節群郭清術(後腹膜)
ヘッドアップティルト試験	腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)
長期継続頭蓋内脳波検査	内視鏡的逆流防止粘膜切除術
神経学的検査	腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)
補聴器適合検査	腹腔鏡下胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
全視野精密網膜電図	腹腔鏡下噴門側胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下噴門側胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
ロービジョン検査判断料	腹腔鏡下胃全摘術(単純全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃全摘術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
コンタクトレンズ検査料1	腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)
小児食物アレルギー負荷検査	医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術 胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)
内服・点滴誘発試験	バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
CT透視下気管支鏡検査加算	腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)
有床義歯咀嚼機能検査1のイ	胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)

有床義歯咀嚼機能検査1の口及び咀嚼機能検査	腹腔鏡下肝切除術(部分切除及び外側区域切除)(亜区域切除、1区域切除(外側区域切除を除く。)、2区域切除及び3区域切除以上のもの)
有床義歯咀嚼機能検査2のイ	生体部分肝移植術
有床義歯咀嚼機能検査2のロ及び咬合圧検査	同種死体肝移植術
精密触覚機能検査	腹腔鏡下腓腫瘍摘出術
画像診断管理加算3	腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術
遠隔画像診断	腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
ポジトロン断層撮影及びポジトロン断層・コンピュータ断層複合撮影	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
CT撮影及びMRI撮影	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
冠動脈CT撮影加算	内視鏡的小腸ポリープ切除術
心臓MRI撮影加算	腹腔鏡下直腸切除・切断術(切除術、低位前方切除術及び切断術に限る。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
乳房MRI撮影加算	腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)
頭部MRI撮影加算	腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
全身MRI撮影加算	腹腔鏡下腎盂形成術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
抗悪性腫瘍剤処方管理加算	同種死体腎移植術
外来化学療法加算1	生体腎移植術
無菌製剤処理料	膀胱水圧拡張術及びハンナ型間質性膀胱炎手術(経尿道)
心大血管疾患リハビリテーション料(I)	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
心大血管疾患リハビリテーション料(I) 初期加算	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
脳血管疾患等リハビリテーション料(I)	膀胱頸部形成術(膀胱頸部吊上術以外)、埋没陰茎手術及び陰嚢腫手術(鼠径部切開によるもの)
脳血管疾患等リハビリテーション料(I) 初期加算	精巣内精子採取術
運動器リハビリテーション料(I)	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
運動器リハビリテーション料(I) 初期加算	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
呼吸器リハビリテーション料(I)	腹腔鏡下仙骨腫固定術
呼吸器リハビリテーション料(I) 初期加算	腹腔鏡下仙骨腫固定術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
がん患者リハビリテーション料	腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
リンパ浮腫複合的治療料	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る)
歯科口腔リハビリテーション料2	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る)

認知療法・認知行動療法1	腹腔鏡下子宮瘢痕部修復術
精神科作業療法	胎児胸腔・羊水腔シャント術
抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	胎児輸血術(一連につき)及び臍帯穿刺
医療保護入院等診療料	医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)
硬膜外自家血注入	医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮付属器腫瘍摘出術)
エタノールの局所注入(甲状腺)	輸血管管理料 I
エタノールの局所注入(副甲状腺)	人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
導入期加算1(人工腎臓)	歯根端切除手術(1歯につき)(歯科用3次元エックス線断層撮影装置及び手術用顕微鏡を用いた場合)
移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法	歯周組織再生誘導手術
人工膵臓検査、人工膵臓療法	広範囲顎骨支持型装置埋入手術
歩行運動処置(ロボットスーツによるもの)	麻酔管理料(I)
加圧根管充填処置3根管以上に係る手術用顕微鏡加算	麻酔管理料(II)
CAD/CAM冠及びCAD/CAMインレー	麻酔管理料 周術期薬剤管理加算
歯科技工加算1及び2	放射線治療専任加算
皮膚悪性腫瘍切除術におけるセンチネルリンパ節加算	外来放射線治療加算
組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合)	高エネルギー放射線治療
四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算	1回線量増加加算
骨移植術(軟骨移植術を含む)(自家培養軟骨移植術に限る)	強度変調放射線治療(IMRT)
後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)	画像誘導放射線治療加算(IGRT)
椎間板内酵素注入療法	体外照射呼吸性移動対策加算
原発性悪性脳腫瘍光線力学療法加算	直線加速器による放射線治療(定位放射線治療の場合)
内視鏡下脳腫瘍生検術及び内視鏡下脳腫瘍摘出術	定位放射線治療呼吸性移動対策加算(その他のもの)
頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)	保険医療機関間の連携による病理診断
脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む)及び脳刺激装置交換術	病理診断管理加算1
癒着性脊髄くも膜炎手術(脊髄くも膜剥離操作を行うもの)	デジタル病理画像による病理診断
脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	悪性腫瘍病理組織標本加算
仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術(過活動膀胱)	歯科矯正診断料
角結膜悪性腫瘍切除術(眼窩、涙腺)	口腔病理診断管理加算1

治療的角膜切除術(エキシマレーザーによるもの(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。))	顎口腔機能診断料
角膜移植術(内皮移植加算)	クラウン・ブリッジ維持管理料
羊膜移植術	顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。))の手術前後における歯科矯正に係るもの)



## (様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
大動脈弁石灰化における骨芽細胞分化マスターレギュレーターの同定と機能阻害剤の開発	泉谷 裕則	医学系研究科	4,420,000	補 委	日本学術振興会
睡眠教育プログラムの教育現場における実証研究	岡 靖哲	医学部附属病院	5,330,000	補 委	日本学術振興会
エピジェネティクス変化と包括的転写ネットワーク解析による骨疾患の病態解明	北澤 荘平	医学系研究科	3,120,000	補 委	日本学術振興会
グルタミンによるT細胞シグナル伝達と分化の統合的制御機構の解明	山下 政克	医学系研究科	4,630,000	補 委	日本学術振興会
自己炎症疾患の発作の周期性や炎症の多様性を規定する責任分子調節分子群の包括的同定	増本 純也	プロテオサイエンスセンター	5,070,000	補 委	日本学術振興会
遺伝子異常に基づいた口腔扁平上皮癌制御戦略	中城 公一	医学系研究科	4,290,000	補 委	日本学術振興会
新規リビトールリン酸修飾の分子基盤の解明と筋ジストロフィー治療法開発への展開	金川 基	医学系研究科	5,850,000	補 委	日本学術振興会
RhoB-CNKSRI複合体によるHER1/2不活性化機構解析と制御剤開発・応用	東山 繁樹	プロテオサイエンスセンター	5,590,000	補 委	日本学術振興会
次世代ヒト化患者腫瘍組織移植モデルによる高精度治療創薬支援プラットフォームの確立	竹中 克斗	医学系研究科	5,460,000	補 委	日本学術振興会
革新的イメージング技術と一細胞解析を駆使したOA線維化の病態解明と制御法の確立	今村 健志	医学系研究科	5,850,000	補 委	日本学術振興会
世代別うつ症状と関連する環境要因及び遺伝的要因と環境要因の相互作用に関する疫学研究	三宅 吉博	医学系研究科	5,460,000	補 委	日本学術振興会
単一細胞レベルでの大動脈弁石灰化機構の統合的理解	坂上 倫久	医学系研究科	4,680,000	補 委	日本学術振興会

小計12件

脳の高次遺伝子発現制御機構の分子基盤の解明とその破綻による神経疾患の分子病態解明	武内 章英	医学系研究科	4,680,000	補委	日本学術振興会
非平衡大気圧プラズマを用いた還元型HMGB1による新しい創傷治療薬の開発	森 秀樹	医学部附属病院	8,320,000	補委	日本学術振興会
エストロゲンを基軸にしたサルコペニア・骨粗鬆症併発における筋骨連関メカニズム解明	今井 祐記	プロテオサイエンスセンター	5,590,000	補委	日本学術振興会
変異インフルエンザウイルス感染防御に有効な記憶B細胞活性化機構の解明	新中須 亮	学術支援センター	5,460,000	補委	日本学術振興会
立位撮影3D-MRIを用いた立位荷重環境下の股関節動態の解明	高尾 正樹	医学系研究科	780,000	補委	日本学術振興会
非平衡大気圧プラズマ(冷たいプラズマ)を用いたメラノーマに対する新規治療法の開発	白石 研	医学部附属病院	910,000	補委	日本学術振興会
先天性心臓手術における生体親和性ナノ複合代用心膜による心膜再生素材と治療法の開発	打田 俊司	医学部附属病院	130,000	補委	日本学術振興会
前十字靭帯再建型人工膝関節の開発:機能解析と最適化	日野 和典	医学系研究科	390,000	補委	日本学術振興会
小児特発性ネフローゼ症候群におけるSMPDL-3bの意義の解明	渡邊 祥二郎	医学系研究科	520,000	補委	日本学術振興会
療養病床における経管栄養を受ける高齢者の排便ケアに関する包括的質評価指標の開発	小岡 亜希子	医学系研究科	390,000	補委	日本学術振興会
没入型内視鏡画像処理機能と力学提示を応用した安全な内視鏡外科手術システムの開発	惠木 浩之	医学部附属病院	1,040,000	補委	日本学術振興会
micro-RNAに着目したがん関連血栓症の病態解明と先制医療への展開	東 晴彦	医学部附属病院	130,000	補委	日本学術振興会
脳梗塞・脳出血後の血液中monocyteの変化と重症度の関係	阿部 尚紀	医学部附属病院	390,000	補委	日本学術振興会

小計13件

医学生の地域志向性、総合医診療への興味を滋養する医学教育、地域実習法の検討	菊池 明日香	医学部附属病院	650,000	補 委	日本学術振興会
なんのために眠るのか? : ミクログリアによる入眠時のシナプス貪食からの解明	チョードリ エマムツ セレヒン	医学系研究科	1,170,000	補 委	日本学術振興会
血管の炎症と動脈硬化: インフラマソーム活性化の動脈硬化への寄与の病理学的解明	倉田 美恵	プロテオサイエンスセンター	1,300,000	補 委	日本学術振興会
血中エクソソーム microRNAに着目した認知症の予測・診断法の開発	外山 研介	医学系研究科	910,000	補 委	日本学術振興会
アルツハイマー病のインスリンシグナリング障害およびA $\beta$ の分子病態と治療	大八木 保政	医学系研究科	1,040,000	補 委	日本学術振興会
オンライン診療をふまえた超高感度ELISAによる在宅採取サンプルを用いた臨床検査	高田 康徳	医学系研究科	650,000	補 委	日本学術振興会
間歇型一酸化炭素中毒の病態解明及び治療の究明	越智 紳一郎	医学系研究科	1,300,000	補 委	日本学術振興会
超多列化CTを駆使した低侵襲・低被曝心筋血流定量評価法の開発と応用	城戸 輝仁	医学系研究科	910,000	補 委	日本学術振興会
デジタルPET/CTによる冠動脈プラークおよび血管周囲脂肪組織の炎症イメージング	宮川 正男	医学部附属病院	650,000	補 委	日本学術振興会
消化管ホルモン受容体活性化機構と相互連関	松浦 文三	医学系研究科	1,170,000	補 委	日本学術振興会
PKR代謝制御に着目したNASH関連肝細胞癌の発症・進展機序解明と創薬応用	渡辺 崇夫	医学系研究科	1,430,000	補 委	日本学術振興会
リソソーム機能異常による心不全発症機構の解明	山口 修	医学系研究科	1,690,000	補 委	日本学術振興会
掌蹠膿疱症の発症メカニズム: 初期水疱形成環境の三次元微細構造解析と実験モデル作成	村上 正基	医学系研究科	1,040,000	補 委	日本学術振興会

小計13件

キメラ型抗原受容体遺伝子導入Tリンパ球による原発性骨髄線維症に対する細胞免疫療法	谷本 一史	医学部附属病院	1,170,000	補委	日本学術振興会
前白血病幹細胞を標的とした小児白血病の発症予防の試み	江口 峰斉	医学部附属病院	910,000	補委	日本学術振興会
レジスチン遺伝子発現制御機構におけるプロモーターSNP配列特異的効果の統合的解明	大澤 春彦	医学系研究科	1,430,000	補委	日本学術振興会
カダバーサージカルトレーニングにおける消化器外科手術に適した灌流固定法の開発	高田 泰次	医学系研究科	910,000	補委	日本学術振興会
生体吸収性素材を用いた経カテーテル心房中隔閉鎖術の移植後組織再生に関する検討	黒部 裕嗣	医学系研究科	1,170,000	補委	日本学術振興会
組織障害性HMGB1に着眼した肺虚血再灌流障害に対する新規戦略の確立	大谷 真二	医学部附属病院	1,690,000	補委	日本学術振興会
肺癌における新規PD-L1発現調節機構とその免疫回避としての役割の解明	佐野 由文	医学系研究科	1,430,000	補委	日本学術振興会
静脈麻酔薬プロポフォールによるT細胞代謝変化が腫瘍免疫応答に与える影響	萬家 俊博	医学系研究科	1,040,000	補委	日本学術振興会
クラスタリング手法によるMRI画像解析ー聴神経鞘腫の病態解明と先制医療の実現ー	國枝 武治	医学系研究科	780,000	補委	日本学術振興会
神経栄養因子を用いた顔面神経再生治療における病的共同運動の検討	山田 啓之	医学系研究科	910,000	補委	日本学術振興会
徐放化栄養因子の経鼓膜的鼓室内投与による高度顔面神経麻痺新規治療法の開発	羽藤 直人	医学系研究科	1,690,000	補委	日本学術振興会
レックリングハウゼン病遺伝子NF1を応用した角膜実質透明化癒に向けた治療戦略確立	白石 敦	医学系研究科	520,000	補委	日本学術振興会
HMGB1およびLL37含有軟膏による糖尿病性足病変(潰瘍)に対する治療薬の開発	戸澤 麻美	医学部附属病院	1,300,000	補委	日本学術振興会

小計13件

CXCR4システムと癌関連線維芽細胞を標的とした口腔癌に対する集学的治療法の開発	栗林 伸行	医学系研究科	1,170,000	補委	日本学術振興会
中高齢者の歯周病のリスク要因を解明し、全身疾患を予防する:前向きコホート研究	田中 景子	医学系研究科	1,300,000	補委	日本学術振興会
更年期女性の不定愁訴及び行動特性の客観的評価とヘルスリテラシーとの関連	城賀本 晶子	医学系研究科	130,000	補委	日本学術振興会
ペアレント・メンター等の地域資源と連携した発達障害児の家族支援プログラムの開発	西嶋 真理子	医学系研究科	520,000	補委	日本学術振興会
在宅緩和ケアコーディネーターの活動上の困難とそれを乗り越えるに至った要因	吉田 美由紀	医学系研究科	520,000	補委	日本学術振興会
左室駆出分画の保たれた心不全における簡便な運動処方と左房機能改善効果の検討	井上 勝次	医学系研究科	260,000	補委	日本学術振興会
「アドヒアランス」を焦点とした看護診断の根拠レベルの向上	永田 明	医学系研究科	910,000	補委	日本学術振興会
グルタミン代謝抑制によるCD8+ T細胞の抗腫瘍活性増強法のヒトへの応用	名部 彰悟	医学系研究科	1,430,000	補委	日本学術振興会
インスリン抵抗性惹起因子レジスチンを高発現する新たな単球サブタイプの統合的解明	池田 陽介	医学部附属病院	1,430,000	補委	日本学術振興会
病態に基づく選択的SNPを標的としたインスリン抵抗性疾患個別化予防法の確立	高門 美沙季	医学部附属病院	1,430,000	補委	日本学術振興会
数値流体力学を用いた解剖学的情報による大血管血流動態の解析	赤澤 祐介	医学部附属病院	1,300,000	補委	日本学術振興会
血管炎症候群の新規活動性バイオマーカーの実用化に向けた検証と新規治療標的の探索	石崎 淳	医学部附属病院	910,000	補委	日本学術振興会
骨格筋代謝を調節する遺伝子発現制御ネットワークの解明:運動模倣薬実現に向けて	細川 元靖	医学系研究科	1,430,000	補委	日本学術振興会

小計13件

エピゲノムを標的とした骨粗鬆症に対する新規治療標的分子の探索	柳原 裕太	学術支援センター	1,430,000	補委	日本学術振興会
頭頸部外科手術における次世代シミュレーショントレーニングの開発	三谷 壮平	医学系研究科	390,000	補委	日本学術振興会
動静脈奇形で高発現するSNX9の分解促進剤の開発	眞田 紗代子	医学部附属病院	1,300,000	補委	日本学術振興会
思春期におけるインターネット依存の病態解明と予防マニュアルの開発	河邊 憲太郎	医学部附属病院	910,000	補委	日本学術振興会
糖尿病合併がん患者の糖尿病療養と化学療法の副作用の自己管理支援プログラム開発	寺尾 奈歩子	医学系研究科	390,000	補委	日本学術振興会
大動脈弁における異所性骨芽細胞分化を司る新規脂質代謝シグナルネットワークの解析	泉谷 裕則	医学系研究科	2,730,000	補委	日本学術振興会
ディープラーニングを用いた人工知能による皮膚病分類システムとデジタルバイオプシー	藤澤 康弘	医学系研究科	1,300,000	補委	日本学術振興会
線維筋痛症患者における認知行動療法の増強要因の検討	小手川 雄一	医学部附属病院	130,000	補委	日本学術振興会
滑膜マクロファージに着目した関節リウマチ病態の性差メカニズムの解明	佐伯 法学	学術支援センター	1,300,000	補委	日本学術振興会
Wntシグナル経路を基軸とする気管支随伴リンパ組織-BALT-の顕在化機構の解明	原口 竜摩	医学系研究科	1,560,000	補委	日本学術振興会
マラリア原虫の受精に関与する雄分子PyMiGSと相互作用する雌性生殖体分子の同定	橘 真由美	プロテオサイエンスセンター	1,300,000	補委	日本学術振興会
サルコペニア・動脈硬化・認知機能低下の新規治療標的としてのAGEsの探究	越智 雅之	医学部附属病院	260,000	補委	日本学術振興会
末梢血濾胞性ヘルパーT細胞を利用した視神経脊髄炎の多面的免疫モニタリング法の開発	越智 博文	医学系研究科	1,300,000	補委	日本学術振興会

小計13件

圧縮センシングを応用した冠動脈MRA高速撮像法の開発	城戸 倫之	医学系研究科	390,000	補委	日本学術振興会
新規エコーシートによる超音波診断法の確立	廣岡 昌史	医学部附属病院	910,000	補委	日本学術振興会
非アルコール性脂肪肝炎に対する小腸脂肪酸輸送体を標的とした新規治療法の開発	山本 安則	医学部附属病院	1,430,000	補委	日本学術振興会
B型慢性肝炎に対するHBs抗原の消失を目指したワクチン治療の開発	吉田 理	医学部附属病院	1,430,000	補委	日本学術振興会
肝細胞がんの発がんおよび進展に関わるPKR関連分子eIF2の標的治療の可能性	日浅 陽一	医学系研究科	1,430,000	補委	日本学術振興会
骨格筋と新たな組織診断によるフォンタン術後肝合併症の予後不良因子のスクリーニング	小泉 洋平	医学部附属病院	1,430,000	補委	日本学術振興会
細胞骨格制御に着目した尿毒症物質による心血管障害の病態解明	牧田 愛祐	医学部附属病院	1,820,000	補委	日本学術振興会
T細胞機能の異常が誘発する肺の恒常性破綻の分子機構とその制御機構の解明	桑原 誠	医学系研究科	1,430,000	補委	日本学術振興会
女性ホルモン欠乏による難治性皮膚疾患に対する糖鎖関連治療薬の開発と作用機序解明	武藤 潤	医学部附属病院	1,300,000	補委	日本学術振興会
一本鎖抗体を応用してシグナルを制御する次世代型サイトカインの作製と臨床応用	越智 俊元	医学系研究科	1,560,000	補委	日本学術振興会
免疫寛容型樹状細胞の解析と膠原病疾患への応用	松本 卓也	医学部附属病院	1,040,000	補委	日本学術振興会
T細胞早期老化モデルマウスを用いたワクチン有効率改善方法の検討	松本 哲	医学系研究科	1,560,000	補委	日本学術振興会
反復性軽度外傷性脳損傷の白質初期病変解明	朱 鵬翔	医学系研究科	1,560,000	補委	日本学術振興会

小計13件

Invasion nicheの酸素環境制御による腫瘍幹細胞破綻メカニズムの解明	渡邊 英昭	医学系研究科	1,040,000	補委	日本学術振興会
アンドロゲン減少による骨格筋外組織からの骨格筋量の制御メカニズムの基盤的研究	雑賀 隆史	医学系研究科	1,430,000	補委	日本学術振興会
前立腺癌関連血管内皮細胞におけるPSMAの発現制御機構及び、その分子機能の解明	三浦 徳宣	医学部附属病院	1,430,000	補委	日本学術振興会
音響性聴器障害モデルにおける内耳シナプスの易障害性のメカニズムを探る	寺岡 正人	医学部附属病院	1,430,000	補委	日本学術振興会
認知症モデルマウスにおける聴覚障害の検討	岡田 昌浩	医学部附属病院	1,170,000	補委	日本学術振興会
血清細胞外小胞へのLOXL2局在を標的とした頭頸部がん転移の新規診断・治療の開発	矢野 元	医学系研究科	1,300,000	補委	日本学術振興会
自家移植を目指した機能性エクリン汗腺を含有する三次元培養表皮の開発	亀田 健治	学術支援センター	910,000	補委	日本学術振興会
ドライバー遺伝子変異の監視による口腔潜在的悪性疾患(OPMDs)の新規治療戦略	内田 大亮	医学系研究科	1,820,000	補委	日本学術振興会
口腔癌リンパ節転移節外進展における脂肪細胞の役割	栗林 恭子	医学部附属病院	1,690,000	補委	日本学術振興会
歯周病は妊娠糖尿病のリスク因子か？	日野 聡史	医学部附属病院	1,300,000	補委	日本学術振興会
オノマトペと日常生活動作を用いた糖尿病患者のしびれ評価尺度の開発と指標の明確化	赤松 公子	医学系研究科	910,000	補委	日本学術振興会
誤嚥性肺炎を見据えた在宅高齢者のオーラルフレイルの予防的看護介入プログラムの開発	藤村 一美	医学系研究科	1,040,000	補委	日本学術振興会
高齢者排泄ケアの継続性を可能にする施設間連携システム構築に関する研究	陶山 啓子	医学系研究科	1,430,000	補委	日本学術振興会

小計13件

筋の健全性維持システムにおけるレニン・アンジオテンシン系の役割と筋疾患治療応用	岩波 純	医学系研究科	1,300,000	補委	日本学術振興会
非破壊工学技術を応用した非侵襲的腎盂内圧測定の新規開発	西村 謙一	医学部附属病院	650,000	補委	日本学術振興会
サルコイドーシスモデルマウスを用いたサルコイド肉芽腫形成過程の組織学的解析	森川 紳之祐	プロテオサイエンスセンター	2,210,000	補委	日本学術振興会
CAR-T細胞・BiTEの直接比較に基づく前臨床スクリーニングモデルの構築	丸田 雅樹	医学部附属病院	1,560,000	補委	日本学術振興会
パーキンソン病におけるGDF15測定の有用性の検討と神経炎症に及ぼす作用の解析	宮上 紀之	医学部附属病院	1,170,000	補委	日本学術振興会
逐次近似再構成を用いた低侵襲Dynamic心筋CT perfusion検査の開発	桑原 奈都美	医学部附属病院	780,000	補委	日本学術振興会
造影剤を用いたデジタルPET/CTによる心サルコイドーシス診断方法の開発と応用	川口 直人	医学部附属病院	1,170,000	補委	日本学術振興会
ダイナミックCTP画像に3次元トラッキング技術を適応した冠動脈血流指標の確立	松田 卓也	医学系研究科	260,000	補委	日本学術振興会
ミクログリアに注目した注意欠陥多動性障害の病態生理解明と新規治療法の開発	城賀本 敏宏	医学系研究科	1,560,000	補委	日本学術振興会
外科領域におけるコンピュータ流体解析の有用性	坂元 克考	医学部附属病院	650,000	補委	日本学術振興会
周術期合併症の生物学的リスク因子解析と、機械学習による早期警告システムの開発	鈴木 康之	医学部	2,080,000	補委	日本学術振興会
悪性グリオーマに対する腫瘍特異的5-ALA併用超音波力学療法—既存薬との相乗効果	末廣 諭	医学系研究科	1,430,000	補委	日本学術振興会
若年女性アスリートのエストロゲン分泌異常による骨代謝障害の機序解明	池戸 葵	プロテオサイエンスセンター	2,080,000	補委	日本学術振興会

小計13件

慢性内耳虚血の病態解明 および治療法開発	高木 太郎	医学部附属病院	2,210,000	補 委	日本学術 振興会
VR/MR技術を利用した眼 窩部手術手技トレーニング	三谷 亜里沙	医学系研究科	910,000	補 委	日本学術 振興会
死後経過時間推定のため の組織学的・分子細胞学 的検討	中林 ゆき	医学系研究科	1,690,000	補 委	日本学術 振興会
アンドロゲンの骨格筋量維 持増加作用の分子メカニ ズムの解明	酒井 大史	プロテオサイエンスセ ンター	2,470,000	補 委	日本学術 振興会
疾患特異的タンパク質の 分解誘導システムの開発・ 応用	東山 繁樹	プロテオサイエンスセ ンター	6,110,000	補 委	日本学術 振興会
メチル化DNAの塩基配列 特異的in situ検出技術の 開発研究	北澤 荘平	医学系研究科	1,820,000	補 委	日本学術 振興会
母親を孤立させない産後 ケア創出に向けた1年間使 用可能な産後ケアニーズ 尺度の開発	宇都宮 美加	医学系研究科	1,040,000	補 委	日本学術 振興会
International translational research for clinical applications of novel biodegradabl e ASD occluder device	黒部 裕嗣	医学系研究科	4,940,000	補 委	日本学術 振興会
アンジオテンシンによる脳 血管老化機序の解明と認 知症治療への展開	関 莉娟	医学系研究科	1,300,000	補 委	日本学術 振興会
意味性認知症の人と家族 における発症初期からの 介入支援モデルの開発	柴 珠実	医学系研究科	1,560,000	補 委	日本学術 振興会
小児1型糖尿病患者のため のデジタル版移行期手 帳の開発と有用性の評価	野本 美佳	医学系研究科	1,690,000	補 委	日本学術 振興会
アロマターゼ阻害薬による 乳癌治療関連骨量減少症 のメカニズム解明	亀井 義明	医学部附属病院	1,170,000	補 委	日本学術 振興会
血栓形成における新たな 機構解明のためのGPR25 遺伝子解析	山之内 純	医学部附属病院	1,300,000	補 委	日本学術 振興会

小計13件

CRL3依存性プロテオスタシスを基盤とした髄芽腫新生血管の特性解析	田手 壮太	プロテオサイエンスセンター	1,430,000	補委	日本学術振興会
嗅覚障害に対する水素ガス吸入療法の有効性に関する解析	西田 直哉	医学部附属病院	1,040,000	補委	日本学術振興会
多角的評価による嚥下障害の病態診断法および治療アルゴリズムの確立とその臨床応用	田中 加緒里(西窪加緒里)	医学部附属病院	2,210,000	補委	日本学術振興会
サルコペニア治療標的としてのRNA結合タンパク質Acin1の機能解析	青戸 守	医学系研究科	1,430,000	補委	日本学術振興会
患者予後と医療経済を改善する超小型非侵襲的臓器血流測定装置新規開発への挑戦	吉田 素平	医学部附属病院	1,170,000	補委	日本学術振興会
腸管慢性炎症からがんの発症・進展を誘導する血管リモデリングの解明	渡部 祐司	医学系研究科	1,690,000	補委	日本学術振興会
高脂肪食摂取により誘導される細胞外ATPを介した脂肪肝炎、肝癌発症機序の解明	三宅 映己	医学部附属病院	1,820,000	補委	日本学術振興会
B細胞活性化因子による肥満の病態制御機構の解明	阿部 雅則	医学系研究科	1,560,000	補委	日本学術振興会
自閉症スペクトラム障害におけるExosome-miRNAの変化、及び病的意義	吉野 祐太	医学部附属病院	2,340,000	補委	日本学術振興会
頬粘膜を用いた自閉スペクトラム症の生物学的指標の検証および早期診断システムの開発	堀内 史枝	医学系研究科	1,950,000	補委	日本学術振興会
細胞老化現象に着目した高齢者の精神神経疾患研究	伊賀 淳一	医学系研究科	1,560,000	補委	日本学術振興会
川崎病後冠動脈瘤由来の血栓症に対するXa阻害薬を用いた新たな治療戦略の創出	稲葉 慎二	医学系研究科	1,950,000	補委	日本学術振興会
レジスチンを標的としたプロモーターSNP・白血球特異的遺伝子発現相乗効果の解明	川村 良一	医学系研究科	1,430,000	補委	日本学術振興会

小計13件

低酸素微小環境の制御による膠芽腫幹細胞の浸潤・増殖の抑制に基づいた治療法の確立	井上 明宏	医学部附属病院	650,000	補委	日本学術振興会
アンチエイジングドックにおける軽度認知機能障害の画像診断の開発	伊賀瀬 圭二	医学系研究科	1,430,000	補委	日本学術振興会
シングルセル解析による腫瘍微小環境を介した前立腺神経内分泌腫瘍発生機序の解明	渡辺 隆太	医学部附属病院	1,560,000	補委	日本学術振興会
腎癌関連血管内皮細胞におけるPSMAの発現制御機構及び、その分子機能の解明	菊川 忠彦	医学部附属病院	1,690,000	補委	日本学術振興会
老人性骨粗鬆症の病態解析:DNAメチル化による破骨細胞分化の制御	北澤 理子	医学部附属病院	2,340,000	補委	日本学術振興会
新規脂質染色と組織透明化を組み合わせた断端がんの3次元病理診断法の開発	川上 良介	医学系研究科	2,080,000	補委	日本学術振興会
人工知能を用いたSynthetic MRIでの乳腺病変の新たな良悪性判定法の開発	松田 恵(武智恵)	医学部附属病院	2,080,000	補委	日本学術振興会
ホルマリン固定臓器による急性薬物中毒診断の可能性探索	浅野 水辺	医学系研究科	1,430,000	補委	日本学術振興会
リソソームCa <sup>2+</sup> 恒常性維持を介したT細胞老化制御機構の解明	鈴木 淳平	医学系研究科	1,690,000	補委	日本学術振興会
T細胞の代謝リプログラミング遮断によるアレルギー性皮膚炎病態制御の試み	大森 深雪	医学系研究科	1,690,000	補委	日本学術振興会
SARS-CoV-2感染におけるマスト細胞の関与と重症化機序解明に向けた研究	茂木 正樹	医学系研究科	1,950,000	補委	日本学術振興会
乳癌細胞株におけるHER2特異的phosphataseの同定と分子機構の解明	西山 加那子	医学部附属病院	1,430,000	補委	日本学術振興会
横紋筋融解症に伴う急性腎障害に対するメガリンASOの有用性の検討	莖田 昌敬	医学部附属病院	2,210,000	補委	日本学術振興会

小計13件

費用対効果分析を用いた我が国における心不全至適治療戦略の基盤構築	川上 大志	医学部附属病院	1,430,000	補委	日本学術振興会
MMP14を阻害する新たな分子CLIC2をもとにした癌転移抑制剤の開発	桑原 淳	医学部附属病院	2,600,000	補委	日本学術振興会
CAI ノックアウト炎症性腸疾患モデルを用いたCAI免疫療法の治療効果	丹下 和洋	医学系研究科	650,000	補委	日本学術振興会
統合失調症における神経細胞由来エクソソームmiRNAの変化	山崎 聖広	医学部附属病院	2,470,000	補委	日本学術振興会
精神障害での睡眠異常の治療による時計遺伝子の末梢血遺伝子発現との相関	尾崎 優樹	医学系研究科	1,690,000	補委	日本学術振興会
肝硬変患者における低栄養と膵外分泌能との関連	今村 良樹	医学系研究科	2,600,000	補委	日本学術振興会
老化に伴う脳腫瘍悪性化の脳内分子メカニズムの解明と新規治療戦略	山下 大介	医学系研究科	2,860,000	補委	日本学術振興会
自己免疫性神経疾患における血管内皮機能障害の解析と治療標的の検討	岡田 陽子	医学部附属病院	1,300,000	補委	日本学術振興会
甲状腺癌放射性ヨード内用療法における放射線宿酔のリスク因子の解明	高田 紀子	医学部附属病院	260,000	補委	日本学術振興会
4D-similarity filter を応用した低侵襲心筋CTP開発	吉田 和樹	医学部附属病院	650,000	補委	日本学術振興会
Image-based navigationを用いた3D遅延造影撮像法の開発	中村 壮志	医学部附属病院	1,170,000	補委	日本学術振興会
胸部IMRT施行症例における心臓MRIを用いた心毒性評価と心臓線量制約の確立	鶴岡 慎太郎	医学系研究科	1,560,000	補委	日本学術振興会
T細胞老化制御による抗腫瘍活性増強法の確立	松岡 祐子	医学部附属病院	2,470,000	補委	日本学術振興会

小計13件

筋ジストロフィー胎児治療の可能性を探る	金川 基	医学系研究科	1,300,000	補 委	日本学術振興会
液液相分離異常による病理学的疾患概念の確立と責任標的分子の同定	増本 純也	プロテオサイエンスセンター	3,120,000	補 委	日本学術振興会
プロテオフォームの包括的解析を可能にする高深度トップダウンプロテオミクス法の開発	武森 信暁	学術支援センター	3,120,000	補 委	日本学術振興会
赤血球期マalaria原虫における滑走運動の分子機序の解明	矢幡 一英	プロテオサイエンスセンター	8,710,000	補 委	日本学術振興会
シングルセル解析による前立腺癌の新規ドライバー遺伝子同定に関する国際共同研究	菊川 忠彦	医学部附属病院	1,170,000	補 委	日本学術振興会
ブロック拠点病院のない自治体における中核拠点病院の機能評価と体制整備のための研究～オール四国の体制の整備～	高田 清式	医学部附属病院	8,552,000	補 委	厚生労働省
小児慢性特定疾病児童等自立支援に資する研究	檜垣 高史	大学院医学系研究科	11,400,000	補 委	厚生労働省
大規模データの利活用研究の加速のための研究	木村 映善	大学院医学系研究科	13,000,000	補 委	厚生労働省
周産期医療施設への妊産婦のアクセスの確保に向けた調査研究	杉山 隆	大学院医学系研究科	5,005,000	補 委	厚生労働省
福山型筋ジストロフィーおよび類縁の糖鎖異常型筋ジストロフィーに対する糖鎖補充療法の開発	金川 基	大学院医学系研究科	22,880,000	補 委	日本医療研究開発機構
B型肝炎患者のドラッグフリーを目指した免疫治療法の開発	日浅 陽一	大学院医学系研究科	6,500,000	補 委	日本医療研究開発機構
病原性メモリーTh2細胞を標的とした難治性アレルギー治療薬の探索	山下 政克	大学院医学系研究科	10,270,000	補 委	日本医療研究開発機構
学童・思春期のプレコンセプションケアを促進するデジタルツールの研究開発	檜垣 高史	大学院医学系研究科	9,137,830	補 委	日本医療研究開発機構

小計13件

計181件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
1	Yoshioka N, Asano M, Kuse A, et al.	法医学	Quantitative analysis of thiamylal and its metabolite secobarbital using liquid chromatography-tandem mass spectrometry in adipose tissue, serum, and liver.	J Forensic Sci. 2022 67(3):1241-1249	Original Article
2	Kondo T, Takahashi M, Yamasaki G, et al.	法医学	Immunohistochemical analysis of vimentin expression in myocardial tissue from autopsy cases of ischemic heart disease.	Leg Med. 2022; 54: 102003	Original Article
3	Kondo T, Takahashi M, Yamasaki G, et al.	法医学	Immunohistochemical analysis of CD31 expression in myocardial tissues from autopsies of patients with ischemic heart disease.	Leg Med. 2022; 59: 102127	Original Article
4	Kondo T, Takahashi M, Yamasaki G, et al.	法医学	Immunohistochemical analysis of von Willebrand factor expression in myocardial tissues from autopsies of patients with ischemic heart disease.	Leg Med. 2022; 54: 101997.	Original Article
5	Kikkawa Y, Matsunuma M, Kan R, et al.	医化学・細胞生物学	Laminin $\alpha$ 5-CD239-Spectrin is a candidate association that compensates the linkage between the basement membrane and cytoskeleton in skeletal muscle fibers.	Matrix Biol Plus. 2022 Aug 6;15:100118. doi: 10.1016/j.mplus.2022.100118.	Original Article
6	Tokuoka H, Imae R, Nakashima H, et al.	医化学・細胞生物学	CDP-ribitol produg treatment ameliorates ISPD-deficient muscular dystrophy mouse model.	Nat Commun. 2022 Apr 14;13(1):1847. doi: 10.1038/s41467-022-29473-4.	Original Article
7	Ikenaga C, Date H, Kanagawa M, et al.	医化学・細胞生物学	Muscle Transcriptomics Shows Overexpression of Cadherin 1 in Inclusion Body Myositis.	Ann Neurol. 2022 Mar;91(3):317-328. doi: 10.1002/ana.26304.	Original Article
8	Sumikawa S, Yakushiji Y, Aogi K, et al.	医療薬学・薬剤部	Frequency and component analysis of contaminants generated in preparation of anticancer agents using closed system drug transfer devices (CSTDs).	Sci Rep. 2022 Jan 7;12(1):139. doi: 10.1038/s41598-021-03780-0.	Original Article
9	Watanabe S, Inami Y, Kimura H, et al.	医療薬学・薬剤部	Pharmacy responses during the COVID-19 pandemic: a questionnaire survey.	BMC Public Health. 2022 Jan 25;22(1):170. doi: 10.1186/s12889-022-12589-2.	Original Article
10	Uchida M, Ushio S, Nimura T, et al.	医療薬学・薬剤部	Renin-Angiotensin-Aldosterone System Inhibitors Prevent the Onset of Oxaliplatin-Induced Peripheral Neuropathy: A Retrospective Multicenter Study and In Vitro Evaluation.	Biol Pharm Bull. 2022 Feb 1;45(2):226-234. doi: 10.1248/jpb.2021-00852.	Original Article
11	Kato G, Mitome H, Teshima K, et al.	医療薬学・薬剤部	Study on the Use of Ozone Water as a Chemical Decontamination Agent for Antineoplastic Drugs in Clinical Settings.	Ann Work Expo Health. 2022 Nov 23;wxa075. doi: 10.1093/annweh/wxa075. Online ahead of print.	Original Article
12	Yamada M, Tanaka K, Arakawa M, Miyake Y	疫学・公衆衛生学	Perinatal maternal depressive symptoms and risk of behavioral problems at five years: a birth cohort study.	Pediatr Res. 2022 Jul;92(1):315-321. doi: 10.1038/s41390-021-01719-9.	Original Article
13	Miyake Y, Tanaka K, Okubo H, et al.	疫学・公衆衛生学	Maternal metal intake during pregnancy and childhood behavioral problems in Japan: the Kyushu Okinawa Maternal and Child Health Study.	Nutr Neurosci. 2022;25(8):1641-1649. doi:10.1080/1028415X.2021.1885241	Original Article
14	Nishikawa A, Tanaka K, Miyake Y, et al.	疫学・公衆衛生学	Active and passive smoking and risk of ulcerative colitis: A case-control study in Japan.	J Gastroenterol Hepatol. 2022;37(4):653-659. doi:10.1111/jgh.15745	Original Article
15	Miyake Y, Tanaka K, Okubo H, et al.	疫学・公衆衛生学	Maternal calcium intake during pregnancy and childhood blood pressure: the Kyushu Okinawa Maternal and Child Health Study.	Ann Epidemiol. 2022;73:17-21. doi:10.1016/j.annepidem.2022.06.035	Original Article
16	Miyake Y, Tanaka K, Okubo H, et al.	疫学・公衆衛生学	Tryptophan intake is related to a lower prevalence of depressive symptoms during pregnancy in Japan: baseline data from the Kyushu Okinawa Maternal and Child Health Study.	Eur J Nutr. 2022;61(8):4215-4222. doi:10.1007/s00394-022-02969-x	Original Article
17	Abdul Karim A, Tanaka K, Nagata C, et al.	疫学・公衆衛生学	Association between parental occupations, educational levels, and household income and children's psychological adjustment in Japan.	Public Health. 2022;213:71-77. doi:10.1016/j.puhe.2022.10.011	Original Article
18	Nguyen MQ, Miyake Y, Tanaka K, et al.	疫学・公衆衛生学	Maternal consumption of dairy products during pregnancy is associated with decreased risk of emotional problems in 5-year-olds: the Kyushu Okinawa Maternal and Child Health Study.	Nutrients. 2022 Nov 8;14(22):4713. doi: 10.3390/nu14224713.	Original Article
19	Naoto Kaneko, Wakako Mori, Mie Kurata, et al.	解析病理学	Inflammation assembly is required for intracellular formation of $\beta$ 2-microglobulin amyloid fibrils, leading to IL-1 $\beta$ secretion	Int J Immunopathol Pharmacol. 2022 Jan-Dec;36(3):392-402. doi: 10.1177/03946320221104554.	Original Article
20	Yuichi Yamada I, Izumi Kinoshita, Yoshihiko Miyazaki, et al.	解析病理学	Myxoid type and non-myxoid type of intimal sarcoma in large vessels and heart: review of histological and genetic profiles of 20 cases	Virchows Arch. 2022 Apr;480(4):919-925. doi: 10.1007/s00428-022-03293-9. Epub 2022 Feb 16.	Original Article
21	Inoue T, Shinnakasu R, Kawai C, et al.	学術支援センター 医科学研究支援部門	Antibody feedback contributes to facilitating the development of Omicron-reactive memory B cells in SARS-CoV-2 mRNA vaccines	J Exp Med (2023) 220 (2): e20221786. doi: 10.1084/jem.20221786.	Original Article
22	Takemori A, Kawashima Y, Takemori N.	学術支援センター 医科学研究支援部門	Bottom-up/cross-linking mass spectrometry via simplified sample processing on anion-exchange solid-phase extraction spin column.	Chem Commun (Camb). 2022 Jan 18;58(6):775-778. doi: 10.1039/d1cc05529a.	Original Article
23	Valgepea K, Talbo G, Takemori N, et al.	学術支援センター 医科学研究支援部門	Absolute Proteome Quantification in the Gas-Fermenting Acetogen Clostridium autoethanogenum.	mSystems. 2022 Apr 26;7(2):a0002622. doi: 10.1128/mSystems.00026-22.	Original Article
24	Takemori A, Kaulich PT, Cassidy L, et al.	学術支援センター 医科学研究支援部門	Size-Based Proteome Fractionation through Polyacrylamide Gel Electrophoresis Combined with LC-FAIMS-MS for In-Depth Top-Down Proteomics.	Anal Chem. 2022 Sep 20;94(37):12815-12821. doi: 10.1021/acs.analchem.2c02777.	Original Article
25	Saeki N, Inoue K, Ito-Otsuka M, et al.	学術支援センター 医科学研究支援部門	Epigenetic regulator UHRF1 orchestrates proinflammatory gene expression in rheumatoid arthritis in a suppressive manner	J Clin Invest. 2022;132, 11, doi.org/10.1172/JCI150533	Original Article
26	Iwasaki Y, Endo N, Nakayama T, et al.	学術支援センター 医科学研究支援部門	Possible Role of Bent Structure of Methylated Lithocholic Acid on Artificial and Plasma Membranes	Membranes. 2022 Oct 14;12(10):997. doi: 10.3390/membranes12100997.	Original Article
27	Funamizu N, Sogabe K, Shine M, et al.	肝胆脾・乳腺外科学	Association between the preoperative C-Reactive protein-to-albumin ratio and the risk for postoperative pancreatic fistula following distal pancreatectomy for pancreatic cancer.	Nutrients. 2022;14(24):5277. doi:10.3390/nu14245277	Original Article
28	Funamizu N, Sakamoto A, Utsunomiya T, et al.	肝胆脾・乳腺外科学	Geriatric nutritional risk index as a potential prognostic marker for patients with resectable pancreatic cancer: a single-center, a single-center, retrospective cohort study.	Sci Rep. 2022;12(1):13644. doi:10.1038/s41598-022-18077-z	Original Article
29	Funamizu N, Utsunomiya T, Honjo M, et al.	肝胆脾・乳腺外科学	Preoperative C-Reactive protein-to-albumin ratio predicts postoperative pancreatic fistula following pancreatoduodenectomy: A single-center, retrospective study.	Curr Oncol. 2022;29(12):9867-9874. doi:10.3390/curroncol29120775	Original Article
30	Funamizu N, Mineta S, Ozaki T, et al.	肝胆脾・乳腺外科学	Utility of robot-assisted laparoscopic transabdominal preperitoneal repair of inguinal hernia following robot-assisted laparoscopic radical prostatectomy.	In Vivo. 2022;36(3):1432-1437. doi:10.21873/invivo.12848	Original Article
31	Sakamoto K, Ogawa K, Tamura K, et al.	肝胆脾・乳腺外科学	Importance of reconstruction of middle hepatic vein tributaries of right-lobe grafts in living donor liver transplantation: demonstration of the reconstruction technique.	Langenbecks Arch Surg. 2022;407(4):1585-1594. doi:10.1007/s00423-021-02398-0.	Original Article
32	Sakamoto K, Bepu T, Honda G, et al.	肝胆脾・乳腺外科学	Comprehensive data of 4502 patients newly diagnosed with colorectal liver metastasis between 2015 and 2017, and prognostic data of 2427 patients newly diagnosed with colorectal liver metastasis in 2013 and 2014: Third report of nationwide survey in Japan.	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2022. doi:10.1002/jbpb.1252	Original Article
33	Honjo M, Tohyama T, Ogawa K, et al.	肝胆脾・乳腺外科学	Anatomical study of the duodenojejunal uncinate process vein: A key landmark for mesopancreatoduodenal resection during pancreatoduodenectomy.	Ann Gastroenterol Surg. 2022;6(2):288-295. doi:10.1002/ags3.12518	Original Article
34	Utsunomiya T, Ogawa K, Funamizu N, et al.	肝胆脾・乳腺外科学	The tumor-to-liver ratio of the standardized uptake value is a useful FDG-PET/CT parameter for predicting malignant intraductal papillary mucinous neoplasm of the pancreas.	Ann Gastroenterol Surg. 2022;6(5):695-703. doi:10.1002/ags3.12562	Original Article
35	Nagaoka T, Sakamoto K, Ogawa K, et al.	肝胆脾・乳腺外科学	Intramuscular adipose tissue content as a predictor of incisional hernia after hepatic resection.	World J Surg. 2023;47(1):260-268. doi:10.1007/s00268-022-06795-4. Epub 2022 Oct 19	Original Article
36	Sakamoto A, Funamizu N, Ito C, et al.	肝胆脾・乳腺外科学	Postoperative arterial lactate levels can predict postoperative pancreatic fistula following pancreatoduodenectomy: A single cohort retrospective study.	Pancreatol. 2022;22(5):651-655. doi:10.1016/j.jpan.2022.04.002	Original Article
37	Takatsuki M, Eguchi S, Yamamoto M, et al.	肝胆脾・乳腺外科学	The outcomes of thrombotic microangiopathy after liver transplantation: A nationwide survey in Japan.	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2022;29(2):282-292. doi:10.1002/jbpb.1032	Original Article
38	Taura K, Shimamura T, Akamatsu N, et al.	肝胆脾・乳腺外科学	No impact of donor sex on the recurrence of hepatocellular carcinoma after liver transplantation.	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2022;29(5):570-584. doi:10.1002/jbpb.1134	Original Article
39	Bepu T, Yamamura K, Sakamoto K, et al.	肝胆脾・乳腺外科学	Validation study of the JSHPBS nomogram for patients with colorectal liver metastases who underwent hepatic resection in the recent era—a nationwide survey in Japan.	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2022. doi:10.1002/jbpb.1256	Original Article

40	Kobayashi-Taguchi K, Saitou T, Kamei Y, et al.	肝胆脾・乳腺外科学	Computer-aided detection of quantitative signatures for breast fibroepithelial tumors using label-free multi-photon imaging.	Molecules 2022;27(10):3340. doi:10.3390/molecules27103340	Original Article
41	Iimori H, Suzuki H, Komori M, et al.	眼科学	Clinical findings of acute acquired comitant esotropia in young patients.	Jpn J Ophthalmol. 2022 Jan;66(1):87-93. doi: 10.1007/s10384-021-00879-9. Epub 2021 Oct 16.	Original Article
42	Nakamura J, Kamao T, Mitani A, et al.	眼科学	Analysis of Lacrimal Duct Morphology from Cone-Beam Computed Tomography Dacryocystography in a Japanese Population.	Clin Ophthalmol. 2022 Jun 23;16:2057-2067. doi:10.2147/OPTH.S370800.	Original Article
43	Nakamura J, Kamao T, Mitani A, et al.	眼科学	Comparison of the efficacies of 1.0 and 1.5 mm silicone tubes for the treatment of nasolacrimal duct obstruction.	Sci Rep. 2022 Jul 11;12(1):11785. doi:10.1038/s41598-022-16018-4.	Original Article
44	Inoue H, Toriyama K, Ikegawa W, et al.	眼科学	Clinical characteristics of lacrimal drainage pathway disease-associated keratopathy.	Clinical characteristics of lacrimal drainage pathway disease-associated keratopathy. BMC Ophthalmol. 2022 Aug 31;22(1):353. doi: 10.1186/s12886-022-02580-y.	Original Article
45	Mori S, Tanito M, Shoji N, et al.	眼科学	Noninferiority of Microhook to Trabectome: Trabectome versus Ab Interno Microhook Trabectulotomy Comparative Study (Tram Trac Study).	Ophthalmol Glaucoma. 2022 Jul-Aug;5(4):452-461. doi: 10.1016/j.jogla.2021.11.005. Epub 2021 Nov 25.	Original Article
46	Suzuki T, Inoue H.	眼科学	Mechanisms Underlying Contact Lens-Related Keratitis Caused by Pseudomonas aeruginosa.	Eye Contact Lens. 2022 Mar 1;48(3):134-137. doi: 10.1097/ICL.0000000000000880.	Original Article
47	Suemori, K, Taniguchi, Y., Okamoto, A., et al.	血液・免疫・感染症内科学	Two-year seroprevalence surveys of SARS-CoV-2 antibodies among outpatients and healthcare workers in Ehime, Japan.	Jpn J Infect Dis. 75(5): 523-526	Original Article
48	Jinouchi, F., Mori, Y., Yoshimoto, G., et al.	血液・免疫・感染症内科学	Incidence of refractory cytomegalovirus infection after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation.	Int J Hematol. 115(1): 96-106	Original Article
49	Hasegawa, K., Ikeda, S., Yaga, M., et al.	血液・免疫・感染症内科学	Selective targeting of multiple myeloma cells with a monoclonal antibody recognizing the ubiquitous protein CD98 heavy chain.	Sci Transl Med. 14(632): eaax7706	Original Article
50	Saito, N., Yamauchi, T., Kawano, N., et al.	血液・免疫・感染症内科学	Circulating CD34+ cells of primary myelofibrosis patients contribute to myeloid-dominant hematopoiesis and bone marrow fibrosis in immunodeficient mice.	Int J Hematol. 115(2): 198-207	Original Article
51	Hashimoto, Y., Ito, T., Gotoh, A., et al.	血液・免疫・感染症内科学	Clinical characteristics, prognostic factors, and outcomes of patients with essential thrombocythemia in Japan: the JSH-MPN-R18 study.	Int J Hematol. 115(2): 208-221	Original Article
52	Yamada, Y., Ikegawa, S., Najima, Y., et al.	血液・免疫・感染症内科学	Retrospective comparison of hematopoietic stem cell transplantation following reduced-intensity conditioning with fludarabine/low-dose melphalan plus 4 Gy TBI versus fludarabine/ busulfan plus 4 Gy TBI.	Int J Hematol. 115(2): 244-254	Original Article
53	Katagiri, T., Espinoza, J.L., Uemori, M., et al.	血液・免疫・感染症内科学	Hematopoietic stem progenitor cells with malignancy-related gene mutations in patients with acquired aplastic anemia are characterized by the increased expression of CXCR4.	ElHaem. 3(3): 669-680	Original Article
54	Eda, H., Ohishi, K., Gotoh, A., et al.	血液・免疫・感染症内科学	Efficacy and safety of ropeginterferon alfa-2b in Japanese patients with polycythemia vera: an open-label, single-arm, phase 2 study.	Int J Hematol. 116(2): 215-227	Original Article
55	Mori, Y., Harada, T., Yoshimoto, G., et al.	血液・免疫・感染症内科学	Risk factors for late cytomegalovirus infection after completing letermovir prophylaxis.	Int J Hematol. 116(2): 258-265	Original Article
56	Sugihara, T., Nakaoka, Y., Uchida, H.A., et al.	血液・免疫・感染症内科学	Establishing clinical remission criteria and the framework of a treat-to-target algorithm for Takayasu arteritis: Results of a Delphi exercise carried out by an expert panel of the Japan Research Committee of the Ministry of Health, Labour and Welfare for intractable vasculitis.	Mod Rheumatol. 32(5): 930-937	Original Article
57	Sugio, T., Baha, S., Mori, Y., et al.	血液・免疫・感染症内科学	Prognostic value of pre-transplantation total metabolic tumor volume on 18fluoro-2-deoxy-D-glucose positron emission tomography-computed tomography in relapsed and refractory aggressive lymphoma.	Int J Hematol. 116(4): 603-611	Original Article
58	Marumo, M., Omori, I., Tara, S., et al.	血液・免疫・感染症内科学	Cyclophosphamide-induced cardiotoxicity at conditioning for allogeneic hematopoietic stem cell transplantation would occur among the patients treated with 120 mg/kg or less.	Asia Pac J Clin Oncol. 18(5): e507-e514	Original Article
59	Eda, H., Ito, T., Gotoh, A., et al.	血液・免疫・感染症内科学	Clinical characteristics of Japanese patients with polycythemia vera: results of the JSH-MPN-R18 study.	Int J Hematol. 116(5): 696-711	Original Article
60	Okada, Y., Takenaka, K., Murata, M., et al.	血液・免疫・感染症内科学	Prognostic impact of complex karyotype on post-transplant outcomes of myelofibrosis.	Hematol Oncol. 40(5): 1076-1085	Original Article
61	Konishi, T., Ogawa, H., Najima, Y., et al.	血液・免疫・感染症内科学	Outcomes of allogeneic haematopoietic stem cell transplantation with intensity-modulated total body irradiation by helical tomotherapy: a 2-year prospective follow-up study.	Ann Med. 54(1): 2617-2626	Original Article
62	Nagata, A., Otsuka, Y., Konuma, R., et al.	血液・免疫・感染症内科学	Weight-adjusted urinary creatinine excretion predicts transplant outcomes in adult patients with acute myeloid leukemia in complete remission.	Leuk Lymphoma 63(3): 3117-3127	Original Article
63	Hyodo T, Kuribayashi N, Fukumoto C, et al.	口腔顎顔面外科学	The mutational spectrum in whole exon of p53 in oral squamous cell carcinoma and its clinical implications.	Sci Rep. ;12(1):21695, 2022. doi: 10.1038/s41598-022-25744-8.	Original Article
64	Yamada H, Deguchi M, Saito S, et al.	産科婦人科学	Intravenous immunoglobulin treatment in women with four or more recurrent pregnancy losses: A double-blind, randomised, placebo-controlled trial.	eClinicalMedicine 50: 101527. doi.org/10.1016/j.eclim.2022.101527.	Original Article
65	Konishi A, Samura O, Matsubara K, et al.	産科婦人科学	Prevalence of common aneuploidy in twin pregnancies.	J Hum Genet. 2022 May;67(5):261-265. doi: 10.1038/s10038-021-01001-0.	Original Article
66	Ueno M, Liu S, Kiyoi T, et al.	産科婦人科学	Long-term impact of maternal dietary intervention on metabolic homeostasis in male offspring in mice	J Nutr Biochem. 2022 Jun;104:108971. doi: 10.1016/j.jnutbio.2022.108971.	Original Article
67	Morikawa M, Sugiyama T, Hiramatsu Y, Sagawa N, et al.	産科婦人科学	Screening methods for gestational diabetes mellitus in Japan in 2018: a retrospective cohort study using a national surveillance questionnaire.	Endocrine Journal 2022 Nov 28;69(11):1313-1322. doi: 10.1507/endocrj.EJ22-0072	Original Article
68	Komine-Aizawa S, Haruyama Y, Deguchi M, et al.	産科婦人科学	The vaccination status and adverse effects of COVID-19 vaccine among pregnant women in Japan in 2021.	J Obstet Gynaecol Res. 2022 Jul;48(7):1561-1569. doi: 10.1111/jog.15285.	Original Article
69	Enomoto S, Yoshihara K, Kondo E, et al.	産科婦人科学	Trends in pregnancy-associated cervical cancer in Japan between 2012 and 2017: A multicenter survey.	Cancers. 2022 Jun 23;14(13):3072. doi: 10.3390/cancers14133072.	Original Article
70	Yasuoka T, Iwana N, Ota K, et al.	産科婦人科学	Pregnancy outcomes among female childhood, adolescent, and young adult cancer survivors assessed using internet-based nationwide questionnaire surveys in Japan.	J Matern Fetal Neonatal Med 2022 Dec 25;1-9.	Original Article
71	Eiji Kobayashi, Eiji Nakatani, Tomohito Tanaka, et al.	産科婦人科学	Surgical skill and oncological outcome of laparoscopic radical hysterectomy: JGOG1081s-A1, an ancillary analysis of the Japanese Gynecologic Oncology Group Study JGOG1081.	Gynecol Oncol. 2022 May;165(2):293-301. doi: 10.1016/j.ygyno.2022.02.005. Epub 2022 Feb 25.	Original Article
72	Terumi Tanigawa, Nobuhiro Takeshima, Hideki Ishikawa, et al.	産科婦人科学	Paclitaxel-carboplatin and bevacizumab combination with maintenance bevacizumab therapy for metastatic, recurrent, and persistent uterine cervical cancer: An open-label multicenter phase II trial (JGOG1079).	Gynecol Oncol. 2022 Jun; 165(3): 413-419	Original Article
73	Suzuki Y, Matsubara K, Watanabe K, et al.	産科婦人科学	A multicenter prospective study of home blood pressure measurement (HBPM) during pregnancy in Japanese women.	Hypertens Res. 2022 Oct;45(10):1563-1574. doi: 10.1038/s41440-022-00992-3.	Original Article
74	Shin Nishio, Kan Yonemori, Tomoka Usami, et al.	産科婦人科学	Pembrolizumab plus chemotherapy in Japanese patients with persistent, recurrent or metastatic cervical cancer: Results from KEYNOTE-826.	Cancer Sci. 2022 Nov; 113(11): 3877-3887	Original Article
75	Kan Yonemori, Mayu Yunokawa, Kimio Ushijima, et al.	産科婦人科学	Lenvatinib plus pembrolizumab in Japanese patients with endometrial cancer: Results from Study 309/KEYNOTE-775.	Cancer Sci. 2022 Oct; 113(10): 3489-3497	Original Article
76	Naoki Nishio, Sohei Mitani, Kayo Sakamoto, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	Validation of a surgical training model containing indocyanine green for near-infrared fluorescence imaging	Laryngoscope Investigative Otolaryngology.7(4), 1011-1017, 2022	Original Article
77	Hirofumi Sei , Kazunori Yasuda , Rie Asayama , et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	Development of a simple evaluation instrument for liquid thickness measurement	Journal of Texture Studies.53(1):81-85,2022	Original Article
78	Junichiro Nobori, Yoshihiro Miyake, Keiko Tanaka, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	Relationship between hearing loss and prevalence of depressive symptoms in Japan: Baseline data from the Aidal Cohort study in Yawatahama and Uchiko	Arch Gerontol Geriatr.102:104735,2022	Original Article
79	Shiori Aibara, Masahiro Okada, Kaori Tanaka-Nishikubo, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	Laryngeal complications after endotracheal intubation and prone positioning in patients with coronavirus disease 2019	Laryngoscope Investigative Otolaryngology. 1-6, 2022	Original Article
80	Takashi Fujiwara, Shinji Iwata, Yuki Hosokawa, Sohei Mitani	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	Intratympanic corticosteroid for Bell's palsy and Ramsay Hunt syndrome: Systematic review and meta-analysis	Auris Nasus Larynx.49:599-605,2022	Original Article
81	Hiroyuki Yamada, Naruhiko Kai, Yoshiyasu Hiratsuka, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	Comparing of the Signal Intensity of Vestibular Schwannoma Between Growing and Nongrowing Tumors	Laryngoscope.132(1):198-203,2022	Original Article

82	Okada M, Ogawa H, Takagi T, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	A double-blinded, randomized controlled clinical trial of hydrogen inhalation therapy for idiopathic sudden sensorineural hearing loss	Front Neurosci. 2022;16:1024634	Original Article
83	Ohte N, Ishizu T, Izumi C, et al.	循環器・呼吸器・腎高血圧内科学	JCS 2021 Guideline on the Clinical Application of Echocardiography.	Circ J. 2022; 86: 2045-2119.	Original Article
84	Inoue K, Kawakami H, Akazawa Y, et al.	循環器・呼吸器・腎高血圧内科学	Echocardiographic Assessment of Atrial Function: From Basic Mechanics to Specific Cardiac Diseases.	J Cardiovasc Dev Dis. 2022; 9: 68.	Original Article
85	Seike F, Mintz GS, Matsumura M, et al.	循環器・呼吸器・腎高血圧内科学	Impact of Intravascular Ultrasound-Derived Lesion-Specific Virtual Fractional Flow Reserve Predicts 3-Year Outcomes of Untreated Nonculprit Lesions: The PROSPECT Study.	Circ Cardiovasc Interv. 2022; 15: 851-860.	Original Article
86	Takahashi K, Aono J, Nakao Y, et al.	循環器・呼吸器・腎高血圧内科学	LOX-1 deficiency increases ruptured abdominal aortic aneurysm via thinning of adventitial collagen	Hypertens Res. 2022. (Online ahead of print).	Original Article
87	Higaki A, Okayama H, Homma Y, et al.	循環器・呼吸器・腎高血圧内科学	Predictive value of neutrophil-to-lymphocyte ratio for the fatality of COVID-19 patients complicated with cardiovascular diseases and/or risk factors.	Sci Rep. 2022; 12: 13606.	Original Article
88	Nakao Y, Kawakami H, Saito M, et al.	循環器・呼吸器・腎高血圧内科学	Cost-Effectiveness of Long-Term Tolvaptan Administration for Chronic Heart Failure Treatment in Japan.	J Cardiol. 2022; 79: 408-416.	Original Article
89	Ohte N, Kikuchis S, Iwahashi N, et al.	循環器・呼吸器・腎高血圧内科学	Unfavourable outcomes in patients with heart failure with higher preserved left ventricular ejection fraction.	Eur Heart J Cardiovasc Imag. 2022. (Online ahead of print).	Original Article
90	Kakizaki S, Otake H, Seike F, et al.	循環器・呼吸器・腎高血圧内科学	Optical Coherence Tomography Fractional Flow Reserve and Cardiovascular Outcomes in Patients With Acute Coronary Syndrome.	JACC Cardiovasc Interv. 2022; 15: 2035-2048	Original Article
91	Noguchi M, Gkargkoulas F, Matsumura M, et al.	循環器・呼吸器・腎高血圧内科学	Impact of Nonobstructive Left Main Coronary Artery Atherosclerosis on Long-Term Mortality.	JACC Cardiovasc Interv. 2022; 15: 2206-2217.	Original Article
92	Chen Z, Matsumura M, Mintz GS, et al.	循環器・呼吸器・腎高血圧内科学	Prevalence and Impact of Neointimal Hyperplasia on Clinical Outcomes After Percutaneous Treatment of Second-Generation Drug-Eluting Stent Restenosis.	Circ Cardiovasc Interv. 2022; 15: e011693.	Original Article
93	Ramkumar S, Kawakami H, Wong E, et al.	循環器・呼吸器・腎高血圧内科学	Cost-effectiveness of Screening for Paroxysmal Atrial Fibrillation in Patients undergoing Echocardiography.	Intern Med J. 2022. doi: 10.1111/imj.15769. (Online ahead of print).	Original Article
94	Shokoples BG, Comeau K, Higaki A, et al.	循環器・呼吸器・腎高血圧内科学	Angiotensin II-induced a steeper blood pressure elevation in IL-23 receptor-deficient mice: Role of interferon- $\gamma$ -producing T cells.	Hypertens Res. 2022. (Online ahead of print).	Original Article
95	Yao A, Inuzuka R, Mizuno A, et al.	循環器・呼吸器・腎高血圧内科学	Status of adult outpatients with congenital heart disease in Japan: The Japanese Network of Cardiovascular Departments for Adult Congenital Heart Disease Registry.	J Cardiol. 2022; 80: 525-531.	Original Article
96	Takayuki Takimoto, Yukihiro Nakamura	循環器・呼吸器・腎高血圧内科学	Serum Biomarkers in a Radiological Pattern of Non-Fibrotic Hypersensitivity Pneumonitis: Implications for Mechanistic Difference and Differential Diagnosis.	Diseases. 2022; 10: 36.	Original Article
97	Ono M, Yamaguchi O, Ohtani T, et al.	循環器・呼吸器・腎高血圧内科学	JCS/JSCVS/JATS/JSVS 2021 Guideline on implantable left ventricular assist device for patients with advanced heart failure.	Circ J. 2022; 86: 1024-1058.	Original Article
98	Nakao Y, Aono J, Hamaguchi M, et al.	循環器・呼吸器・腎高血圧内科学	O-ring-induced transverse aortic constriction (OTAC) is a new simple method to develop cardiac hypertrophy and heart failure in mice.	Sci Rep. 2022 ;12: 85.	Original Article
99	Fujisawa T, Kawakami H, Nagai T, et al.	循環器・呼吸器・腎高血圧内科学	Premature atrial contraction immediately after catheter ablation was associated with late recurrence of atrial fibrillation.	Pacing Clin Electrophysiol. 2022. (Online ahead of print).	Original Article
100	Nakao Y, Inaba S, Kinoshita M, et al.	循環器・呼吸器・腎高血圧内科学	Usefulness of Intravascular Ultrasound Assessment after development of the Slow Flow Phenomenon during Percutaneous Coronary Intervention.	Coron Artery Dis. 2022; 33: 302-310.	Original Article
101	Isobe T, Takagi M, Sato-Otsubo A, et al.	小児科学	Multi-omics analysis defines highly refractory RAS burdened immature subgroup of infant acute lymphoblastic leukemia.	nature communications 30;13(1):4501. doi: 10.1038/s41467-022-32266-4	Original Article
102	Arakawa Y, Hasegawa D, Miyamura T, et al.	小児科学	Postchemotherapy immune status in infants with acute lymphoblastic leukemia: A report from the JPLSG MLL-10 trial	Pediatric Blood & Cancer 69(10):e29772. doi: 10.1002/pbc.29772	Original Article
103	Frankel AO, Lathara M, Shaw CY, et al.	小児科学	Machine learning for rhabdomyosarcoma histopathology	Modern Pathology 35(9):1193-1203. doi: 10.1038/s41379-022-01075-x	Original Article
104	Niinomi K, Mihira H, Ochiai R, et al.	小児科学	Hospital support for siblings of children with illness in Japan	Frontiers in Pediatrics 10: 927084. doi: 10.3389/fped.2022.927084	Original Article
105	Mori H, Sumitomo N, Fukunaga H, et al.	小児科学	Efficacy of Subcutaneous Implantable Cardioverter-Defibrillator in $\leq$ 18 year-old Children: SAVE-CHILDREN Registry	International Journal of Cardiology 15;371:204-210	Original Article
106	Oka K, Matsumoto A, Tetsuka N, et al.	小児科学	Clinical characteristics and treatment outcomes of carbapenem-resistant Enterobacterales infections in Japan	Journal of Global Antimicrobial Resistance 29:247-252	Original Article
107	Fukuyama T, Sato T, Nakano S, et al.	小児科学	Transient central diabetes insipidus after cranioplasty for craniosynostosis in an infant with septo-optic dysplasia	Clinical Pediatric Endocrinology 31(1):50-53	Original Article
108	Okamoto M, Hamada J, Ochi F, et al.	小児科学	Short stature in a child with a novel Aggrecan gene variant: A case report	Pediatrics International 64(1):e15116. doi: 10.1111/ped.15116	Original Article
109	Suzuki H, Hiraoka T, Mizumoto M, Kondo Y	小児科学	Pediatric case of exfoliated primary tooth aspiration	Pediatrics International 64(1):e15261. doi: 10.1111/ped.15261	Original Article
110	Okamoto K, Nishio H, Motoki T, et al.	小児科学	Changes in the incidence of infantile spinal muscular atrophy in shikoku, Japan between 2011 and 2020	International Journal of Neonatal Screening 8,52	Original Article
111	Hiroyuki Egi, Kazuo Ohnishi, Satoshi Akita, et al.	消化管・腫瘍外科学講座	The arrival time of indocyanine green in tissues can be a quantitative index because of its correlation with tissue oxygen saturation: A clinical pilot study	Asian J Endosc Surg. 2022 Apr;15(2):432-436	Original Article
112	Kei Ishimaru, Satoshi Akita, Shunji Matsuda, et al.	消化管・腫瘍外科学講座	Tumor Screening, Incidence, and Treatment for Patients with Severe Motor and Intellectual Disabilities	J Nippon Med Sch. 2022; 89(2):212-214	Original Article
113	Motohira Yoshida, Hiroyuki Egi, Kei Ishimaru, et al.	消化管・腫瘍外科学講座	Long-term prognosis of laparoscopic gastrectomy for patients on antithrombotic therapy: a retrospective cohort study	Surg Today. 2022 Feb 23. doi: 10.1007/s00595-022-02479-7. Online ahead of print.	Original Article
114	Shun Ishiyama, Takeshi Yamada, Masato Nakamura, et al.	消化管・腫瘍外科学講座	Efficacy and safety of regorafenib dose-escalation therapy for Japanese patients with refractory metastatic colorectal cancer (RECC study)	Int J Clin Oncol. 2022 Aug;27(8):1300-1308	Original Article
115	Susumu Kunisawa, Haku Ishida, Hiroshi Ikai, et al.	消化管・腫瘍外科学講座	Impact of the hospital volume and setting on postoperative complications of surgery for gastroenterological cancers in a regional area of Western Japan	Surg Today. 2022 Aug 10. doi: 10.1007/s00595-022-02569-6. Online ahead of print.	Original Article
116	Akihisa Matsuda, Takeshi Yamada, Takao Takahashi, et al.	消化管・腫瘍外科学講座	A Trial Protocol of Precision Medicine for Patients with RAS Wild Metastatic Colorectal Cancer Using Liquid Biopsy (RAS-liquid Study): A Prospective, Multicenter Observational Study	Journal of the Anus, Rectum and Colon 2022; 6(1): 52-57	Original Article
117	Yoshida O, Akbar SMF, Imai Y, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Intranasal therapeutic vaccine containing HBsAg and HBeAg for patients with chronic hepatitis B; 18 months follow-up results of phase IIa clinical study	Hepatol Res. 2023 Mar;53(3):196-20	Original Article
118	Miyake T, Yoshida O, Matsuura B, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Additional Effect of Luseogliflozin on Semaglutide in Nonalcoholic Steatohepatitis Complicated by Type 2 Diabetes Mellitus: An Open-Label, Randomized, Parallel-Group Study.	Diabetes Ther. 2022 May;13(5):1083-1096	Original Article
119	Shiraishi K, Furukawa S, Yagi S, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Serum Globulin Is Associated with Endoscopic Findings and Mucosal Healing in Japanese Patients with Ulcerative Colitis	Dig Dis Sci. 2022 Jan;67(1):233-240	Original Article
120	Yamamoto Y, Furukawa S, Watanabe J, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Association between body mass index and irritable bowel syndrome in the young Japanese population: a cross-sectional study	Int J Colorectal Dis. 2022 Nov;37(11):2357-2363.	Original Article
121	Hirooka M, Koizumi Y, Nakamura Y, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Deep attenuation transducer to measure liver stiffness in obese patients with liver disease	J Med Ultrason (2001). 2023 Jan;50(1):63-72	Original Article
122	Miyake Y, Tanaka K, Nagata C, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	IL12B rs6887695 polymorphism and interaction with alcohol intake in the risk of ulcerative colitis in Japan.	Cytokine. 2022 Jul;155:155901	Original Article
123	Miyake T, Furukawa S, Matsuura B, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Plasma Fatty Acid Composition Is Associated with Histological Findings of Nonalcoholic Steatohepatitis	Biomedicines. 2022 Oct 12;10(10):2540	Original Article

124	Yamamoto Y, Furukawa S, Kato A, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	The Association between Laughter and Functional Dyspepsia in a Young Japanese Population.	Int J Environ Res Public Health. 2022 May 7;19(9):5686	Original Article
125	Yamamoto Y, Furukawa S, Watanabe J, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Association Between Body Mass Index and Functional Dyspepsia in Young Japanese People	J Neurogastroenterol Motil. 2022 Apr 30;28(2):276-282.	Original Article
126	Yamamoto Y, Furukawa S, Watanabe J, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Positive Association Between Sleep Disturbance and Prevalence of Functional Dyspepsia in Japanese Young People	Dig Dis Sci. 2022 Aug;67(8):3929-3937.	Original Article
127	Yamamoto Y, Furukawa S, Watanabe J, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Association between menstrual pain and functional dyspepsia in a Japanese young population	Neurogastroenterol Motil. 2022 Aug;34(8):e14324.	Original Article
128	Miyake T, Matsuura B, Furukawa S, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Fatty liver with metabolic disorder, such as metabolic dysfunction-associated fatty liver disease, indicates high risk for developing diabetes mellitus	J Diabetes Investig. 2022 Jul;13(7):1245-1252	Original Article
129	Yamamoto Y, Furukawa S, Watanabe J, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Association Between Eating Behavior, Frequency of Meals, and Functional Dyspepsia in Young Japanese Population	J Neurogastroenterol Motil. 2022 Jul 30;28(3):418-423	Original Article
130	Hiraoka A, Kumada T, Tada T, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Atezolizumab plus bevacizumab treatment for unresectable hepatocellular carcinoma: Early clinical experience.	Cancer Rep (Hoboken). 2022 Feb;5(2):e1464.	Original Article
131	Tada T, Kumada T, Hiraoka A, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Safety and efficacy of atezolizumab plus bevacizumab in elderly patients with hepatocellular carcinoma: A multicenter analysis.	Cancer Med. 2022 Oct;11(20):3796-3808	Original Article
132	Rimini M, Rimassa L, Ueshima K, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Atezolizumab plus bevacizumab versus lenvatinib or sorafenib in non-viral unresectable hepatocellular carcinoma: an international propensity score matching analysis.	ESMO Open. 2022 Dec;7(6):100591	Original Article
133	Hiraoka A, Kumada T, Tada T, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Does first-line treatment have prognostic impact for unresectable HCC?—Atezolizumab plus bevacizumab versus lenvatinib.	Cancer Med. 2023 Jan;12(1):325-334.	Original Article
134	Tahata Y, Hikita H, Mochida S, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Liver-related events after direct-acting antiviral therapy in patients with hepatitis C virus-associated cirrhosis	J Gastroenterol. 2022 Feb;57(2):120-132	Original Article
135	Hatanaka T, Hiraoka A, Tada T, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Association of early bevacizumab interruption with efficacy of atezolizumab plus bevacizumab for advanced hepatocellular carcinoma: A landmark analysis.	Hepatol Res. 2022 May;52(5):462-470	Original Article
136	Hiraoka A, Kumada T, Tada T, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Early experience of atezolizumab plus bevacizumab treatment for unresectable hepatocellular carcinoma BCLC-B stage patients classified as beyond up to seven criteria - Multicenter analysis	Hepatol Res. 2022 Mar;52(3):308-316	Original Article
137	Tanaka T, Hiraoka A, Tada T, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Therapeutic efficacy of atezolizumab plus bevacizumab treatment for unresectable hepatocellular carcinoma in patients with Child-Pugh class A or B liver function in real-world clinical practice.	Hepatol Res. 2022 Sep;52(9):773-783	Original Article
138	Casadei-Gardini A, Rimini M, Tada T, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Atezolizumab plus bevacizumab versus lenvatinib for unresectable hepatocellular carcinoma: a large real-life worldwide population.	Diabetes Ther. 2022 May;13(5):1083-1096	Original Article
139	Matsui T, Hamada-Tsutsumi S, Naito Y, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Identification of microRNA-96-5p as a postoperative, prognostic microRNA predictor in nonviral hepatocellular carcinoma	Hepatol Res. 2022 Jan;52(1):93-104.	Original Article
140	Tada T, Kumada T, Toyoda H, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	A validation study of combined resection and ablation therapy for multiple hepatocellular carcinoma.	Clin Radiol. 2022 Feb;77(2):114-120	Original Article
141	Yagi S, Furukawa S, Shiraiishi K, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	The albumin-to-globulin ratio is associated with clinical outcome in Japanese patients with ulcerative colitis	Ann Coloproctol. 2022 Mar 30	Original Article
142	Kitakata S, Furukawa S, Miyake T, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Association between clinical outcomes and restless legs syndrome in Japanese patients with ulcerative colitis	J Sleep Res. 2022 Dec;31(6):e13691	Original Article
143	Yagi S, Furukawa S, Miyake T, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Association between Mucosal Healing and Lipid Profiles in Patients with Ulcerative Colitis: A Cross-Sectional Study	Digestion. 2022 Dec 9:1-8	Original Article
144	Todo Y, Miyake T, Furukawa S, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Combined evaluation of Fibrosis-4 index and fatty liver for stratifying the risk for diabetes mellitus	J Diabetes Investig. 2022 Sep;13(9):1577-1584	Original Article
145	Tada T, Kumada T, Hiraoka A, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	C-reactive protein to albumin ratio predicts survival in patients with unresectable hepatocellular carcinoma treated with lenvatinib.	Sci Rep. 2022 May 19;12(1):8421	Original Article
146	Miyaaki H, Hiraoka A, Haraguchi M, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Proposal for new sleep disorder criteria in patients with chronic liver disease: Influence of liver-related complications	Hepatol Res. 2022 Apr;52(4):364-370.	Original Article
147	Kitahata S, Furukawa S, Miyake T, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Association between socioeconomic status and mucosal healing in Japanese patients with ulcerative colitis: a cross-sectional study	BMJ Open Gastroenterol. 2022 Oct;9(1):e001000	Original Article
148	Ohama H, Hiraoka A, Tada F, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Clinical Usefulness of Surgical Resection Including the Complementary Use of Radiofrequency Ablation for Intermediate-Stage Hepatocellular Carcinoma	Cancers (Basel). 2022 Dec 30;15(1):236	Original Article
149	Persano M, Rimini M, Tada T, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Clinical outcomes with atezolizumab plus bevacizumab or lenvatinib in patients with hepatocellular carcinoma: a multicenter real-world study	J Cancer Res Clin Oncol. 2022 Dec 13	Original Article
150	Nakamura R, Arakawa N, Tanaka Y, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Significant association between HLA-B*435:01 and onset of drug-induced liver injury caused by Kampo medicines in Japanese patients	Hepatol Res. 2022 Dec 30	Original Article
151	Maeda K, Takikawa H, Aiso M, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Frequency of null genotypes of glutathione S-transferase M1 and T1 in Japanese patients with drug-induced liver injury	Hepatol Res. 2022 Oct;52(10):882-887	Original Article
152	Furukawa S, Yagi S, Shiraiishi K, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Effect of disease duration on the association between C-reactive protein-albumin ratio and endoscopic activity in ulcerative colitis	BMC Gastroenterol. 2022 Jan 30;22(1):39	Original Article
153	Furukawa S, Yamamoto Y, Watanabe J, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Frequency, Intensity, and Partner of Exercise Habit Is Inversely Associated with Functional Dyspepsia in Young Japanese Population	Dig Dis Sci. 2022 Jun;67(6):2293-2298	Original Article
154	Tada T, Kumada T, Hiraoka A, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Glasgow prognostic score predicts survival in patients with unresectable hepatocellular carcinoma treated with lenvatinib: a multicenter analysis	Eur J Gastroenterol Hepatol. 2022 Aug 1;34(8):857-864.	Original Article
155	Tada T, Kumada T, Hiraoka A, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Nutritional status is associated with prognosis in patients with advanced unresectable hepatocellular carcinoma treated with atezolizumab plus bevacizumab	Oncology. 2022 Dec 1.	Original Article
156	Ushida T, Katayama Y, Hiasa Y, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Mirogabalin for Central Neuropathic Pain After Spinal Cord Injury: A Randomized, Double-Blind, Placebo-Controlled, Phase 3 Study in Asia	Neurology. 2022 Dec 14;10.1212/WNL.0000000000201709	Original Article
157	Hino K, Nishina T, Numata Y, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Clinical Outcomes of S-1 Monotherapy and Modified FOLFIRINOX Therapy after Gemcitabine plus Nab-paclitaxel Therapy in Unresectable Pancreatic Cancer	Intern Med. 2022;61(15):2255-2261	Original Article
158	Hiraoka A, Kumada T, Tada T, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Clinical Predictor of Urinary Protein as Adverse Event Associated with Atezolizumab plus Bevacizumab Treatment for Unresectable Hepatocellular Carcinoma	Oncology. 2022;100(12):645-654	Original Article
159	Furukawa S, Miyake T, Miyaoka H, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Observational Study on Unhealthy Eating Behavior and the Effect of Sodium-Glucose Cotransporter 2 Inhibitors: The Luseoglitazone Ehime Diabetes Study	Diabetes Ther. 2022 May;13(5):1073-1082	Original Article
160	Liu C, Cao Z, Yan H, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	A Novel SAVE Score to Stratify Decompensation Risk in Compensated Advanced Chronic Liver Disease (CHES2102): An International Multicenter Cohort Study	Am J Gastroenterol. 2022 Oct 1;117(10):1605-1613	Original Article
161	Tada T, Kumada T, Hiraoka A, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Neutrophil-lymphocyte ratio predicts early outcomes in patients with unresectable hepatocellular carcinoma treated with atezolizumab plus bevacizumab: a multicenter analysis	Eur J Gastroenterol Hepatol. 2022 Jun 1;34(6):698-706.	Original Article
162	Tada T, Kumada T, Hiraoka A, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Adverse events as potential predictive factors of therapeutic activity in patients with unresectable hepatocellular carcinoma treated with atezolizumab plus bevacizumab	Cancer Med. 2022 Dec 14.	Original Article
163	Hatanaka T, Naganuma A, Hiraoka A, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	The hepatocellular carcinoma modified Gustave Roussy Immune score (HCC-GRIm score) as a novel prognostic score for patients treated with atezolizumab and bevacizumab: A multicenter retrospective analysis	Cancer Med. 2023 Feb;12(4):4259-4269.	Original Article
164	Kawarantani H, Miyaaki H, Hiraoka A, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	The Usefulness of the Athens Insomnia Scale for Evaluating Sleep Disturbance in Patients with Chronic Liver Disease Comparing with Pittsburgh Sleep Quality Index and Epworth Sleepiness Scale	Medicina (Kaunas). 2022 May 30;58(6):741.	Original Article
165	Tada T, Kumada T, Hiraoka A, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	New prognostic system based on inflammation and liver function predicts prognosis in patients with advanced unresectable hepatocellular carcinoma treated with atezolizumab plus bevacizumab: A validation study	Cancer Med. 2022 Dec 9	Original Article

166	Hatanaka T, Kakizaki S, Hiraoka A, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Comparative efficacy and safety of atezolizumab and bevacizumab between hepatocellular carcinoma patients with viral and non-viral infection: A Japanese multicenter observational study	Cancer Med. 2022 Oct 13.	Original Article
167	Hatanaka T, Kakizaki S, Hiraoka A, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Prognostic impact of C-reactive protein and alpha-fetoprotein in immunotherapy score in hepatocellular carcinoma patients treated with atezolizumab plus bevacizumab: a multicenter retrospective study	Hepatol Int. 2022 Oct;16(5):1150-1160.	Original Article
168	Liu C, Li J, Wong YJ, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	ABC: a novel algorithm to stratify decompensation risk in patients with compensated advanced chronic liver disease (CHES2108): an international, multicenter cohort study	Hepatol Int. 2022 Oct;16(5):1105-1115	Original Article
169	Hiraoka A, Nakai M, Hara N, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Clinical features of patients with chronic liver disease in Japan related to alcohol use: Nationwide examination using alcohol use disorders identification test	Hepatol Res. 2023 Jan;53(1):43-50	Original Article
170	Hatanaka T, Kakizaki S, Hiraoka A, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Development and validation of a modified albumin-bilirubin grade and $\alpha$ -fetoprotein score (mALF score) for hepatocellular carcinoma patients receiving atezolizumab and bevacizumab	Hepatol Int. 2023 Feb;17(1):86-96	Original Article
171	Fumaki Takatsu, Ken Suzawa, Mikio Okazaki, et al.	心臓血管・呼吸器外科学	Clinical Features of Patients With Second Primary Lung Cancer After Head and Neck Cancer.	Ann Thorac Surg. 2022 May 17;90(03):4975-4975. doi: 10.1016/j.athoracsur.2022.04.052. Online ahead of print.	Original Article
172	Noritaka Ota, Hisateru Tachimori, Yasutaka Hirata, et al.	心臓血管・呼吸器外科学	Contemporary patterns of the management of truncus arteriosus (primary versus staged repair): outcomes from the Japanese National Cardiovascular Database.	Eur J Cardiothorac Surg. 2022 Mar 24;61(4):787-794. doi: 10.1093/ejcts/ezab348.	Original Article
173	Yuichi Matsuzaki, Darren P Berman, Hirotsugu Kurobe, et al.	心臓血管・呼吸器外科学	Pre-clinical Evolution of a Novel Transcatheter Bioabsorbable ASD/PFO Occluder Device.	Pediatr Cardiol. 2022 Jun;43(5):986-994. doi: 10.1007/s00246-021-02809-5. Epub 2022 Jan 3.	Original Article
174	Kentaro Nakata, Mikio Okazaki, Tomohisa Sakane, et al.	心臓血管・呼吸器外科学	Functional Blockage of S100A8/A9 Ameliorates Ischemia-Reperfusion Injury in the Lung.	Bioengineering (Basel). 2022 Nov 10;9(11):673. doi: 10.3390/bioengineering9110673.	Original Article
175	Hironao Nakayama, Hidetaka Ohnuki, Masako Nakahara, et al.	心臓血管・呼吸器外科学	Inactivation of axon guidance molecule netrin-1 in human colorectal cancer by an epigenetic mechanism.	Biochem Biophys Res Commun. 2022 Jun 30;611:146-150. doi: 10.1016/j.bbrc.2022.04.069. Epub 2022 Apr 20.	Original Article
176	Junya Sugura, Shunji Uchida, Ai Kojima, et al.	心臓血管・呼吸器外科学	Is the QRS duration useful for determining the optimal timing of pulmonary valve replacement after tetralogy of Fallot repair?	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2022 Dec 16. doi: 10.1007/s11748-022-01898-0. Online ahead of print.	Original Article
177	Tsuyoshi Ueno, Motohiro Yamashita, Natsumi Yamashita, et al.	心臓血管・呼吸器外科学	Safety of salvage lung resection after immunotherapy for unresectable non-small cell lung cancer.	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2022 Sep;70(9):812-817. doi: 10.1007/s11748-022-01798-3. Epub 2022 Mar 19.	Original Article
178	Koichi Toda, Junya Ako, Atsushi Hirayama, et al.	心臓血管・呼吸器外科学	Three-year experience of catheter-based micro-axial left ventricular assist device, Impella, in Japanese patients: the first interim analysis of Japan registry for percutaneous ventricular assist device (J-PVAD)	J Artif Organs. 2022 Apr 25. doi: 10.1007/s10047-022-01328-1. Online ahead of print.	Original Article
179	Namiguchi K, Sakae T, Okazaki M, et al.	心臓血管・呼吸器外科学	Unique Angiogenesis From Cardiac Arterioles During Pericardial Adhesion Formation.	Front Cardiovasc Med. 2022 Feb 3;8:761591. doi: 10.3389/fcvm.2021.761591. eCollection 2021.	Original Article
180	Munkhjargal O, Oka Y, Tanno S, et al.	睡眠医療センター	Discrepancy between subjective and objective sleepiness in adolescents.	Sleep Med. 2022 Aug;96:1-7. DOI:10.1016/j.sleep.2022.04.025	Original Article
181	Ishii R, Obara H, Nagamitsu S, et al.	睡眠医療センター	The Japanese version of the children's sleep habits questionnaire (CSHQ-J): A validation study and influencing factors.	Brain Dev. 2022 Oct;44(9):595-604. DOI:10.1016/j.braindev.2022.06.003	Original Article
182	Fujibuchi T, Imai H, Kidani T, et al.	整形外科	Serum lactate dehydrogenase levels predict the prognosis of patients with soft tissue sarcoma	Mol Clin Oncol. 2022 Mar;16(3):65. doi: 10.3892/mco.2022.2498. Epub 2022 Jan 19.	Original Article
183	Ogata T, Yamada K, Miura H, et al.	整形外科	Feasibility and applicability of locomotive syndrome risk test in elderly patients who underwent total knee arthroplasty.	Mod Rheumatol. 2022 Nov 1;roac131. doi: 10.1093/mr/roac131. Online ahead of print.	Original Article
184	Misaki H, Morino T, Hino M, et al.	整形外科	Can Diffuse Idiopathic Skeletal Hyperostosis Be Diagnosed by Plain Lumbar Spine X-Ray Findings Alone?	Global Spine J. 2022 Mar;12(2):198-203. doi: 10.1177/2192568220948038. Epub 2020 Aug 17.	Original Article
185	Asaoka R, Kiyomatsu H, Miura H, et al.	整形外科	Prognostic potential and pathological validation of a diagnostic application using Raman spectroscopy in the characterization of degenerative changes in the cartilage of the humeral head	J Biomed Opt. 2022 Nov 27;27(11):115002. doi: 10.1117/1.JBO.27.11.115002.	Original Article
186	Fujibuchi T, Imai H, Kidani T, Miura H.	整形外科	Effective examination methods for identifying the primary origins of metastatic bone tumors of unknown primary origin during the initial visit: A retrospective chart review study	SAGE Open Med. 2022 May 24;10:20503121221097582. doi: 10.1177/20503121221097582. eCollection 2022.	Original Article
187	Seefried F, Haller L, Fukuda S, et al.	生化学・分子遺伝学	Nuclear AREG affects a low-proliferative phenotype and contributes to drug resistance of melanoma.	Int J Cancer. 2022 Apr 25. doi: 10.1002/ijc.34711.	Original Article
188	Ueda N, Maekawa M, Matsui TS, et al.	生化学・分子遺伝学	Inner Nuclear Membrane Protein, SUN1, is Required for Cytoskeletal Force Generation and Focal Adhesion Maturation.	Front Cell Dev Biol. 2022 Apr 25. doi: 10.3389/fcell.2022.812317.	Original Article
189	Nakata S, Murai J, Okada M, et al.	生化学・分子遺伝学	Epigenetic upregulation of Schlafen11 renders WNT- and SHH- activated medulloblastomas sensitive to cisplatin.	Neuro Oncol. 2022 Apr 25. doi: 10.1093/neu/nob347.	Original Article
190	Taniyama D, Sakamoto N, Takashima T, et al.	生化学・分子遺伝学	Prognostic impact of Schlafen 11 in bladder cancer patients treated with platinum-based chemotherapy.	Cancer Sci. 2022 Apr 25. doi: 10.1111/csc.14444.	Original Article
191	E. Kanemitsu, X. Zhao, K. Iwasako, et al.	生体構造医学	Antagonist of sphingosine 1-phosphate receptor 3 reduces cold injury of rat donor hearts for transplantation	Transl Res (2022). https://doi.org/10.1016/j.trsl.2022.11.003	Original Article
192	Chaya T, Maeda Y, Sugimura R, et al.	生体構造医学	Multiple knockout mouse and embryonic stem cell models reveal the role of miR-124a in neuronal maturation	J Biol Chem. 2022 Sep;298(9):102293.	Original Article
193	Honda Y, Shimokawa T, Matsuda S, et al.	生体構造医学	Hippocampal Connectivity of the Presubiculum in the Common Marmoset ( <i>Callithrix jacchus</i> )	Front Neural Circuits. 2022 Jul 4;16:863478. doi: 10.3389/fncir.2022.863478. eCollection	Original Article
194	Debnath CR, Khan MSI, Khan MSI, et al.	生体構造医学	A comprehensive design for prevention and management of COVID-19 in a tertiary medical institution in Bangladesh	J Infect Dev Ctries. 2022 Aug 30;16(8):1252-1257. doi: 10.3855/jidc.13729	Original Article
195	Aoki Y, Takaesu Y, Baba H, et al.	精神神経科学講座	Development and acceptability of a decision aid for major depressive disorder considering discontinuation of antidepressant treatment after remission.	Neuropsychopharmacol Rep. 2022 Sep;42(3):306-314. doi: 10.1002/npr2.12269.	Original Article
196	Baba H, Kito S, Nukariya K, et al.	精神神経科学講座	Guidelines for diagnosis and treatment of depression in older adults: A report from the Japanese Society of mood disorders.	Psychiatry Clin Neurosci. 2022 Jun;76(6):222-234. doi: 10.1111/pcn.13349.	Original Article
197	Funahashi Y, Yoshino Y, Ige JI, Ueno SI	精神神経科学講座	Impact of clozapine on the expression of miR-675-3p in plasma exosomes derived from patients with schizophrenia.	World J Biol Psychiatry. 2022 Jul 29;11. doi: 10.1080/15622975.2022.2104924.	Original Article
198	Furuhata R, Otsuki R, Hasegawa N, et al.	精神神経科学講座	Hypnotic medication use among inpatients with schizophrenia and major depressive disorder: results of a nationwide study.	Sleep Med. 2022 Jan;89:23-30. doi: 10.1016/j.sleep.2021.11.005.	Original Article
199	Hori H, Yasui-Furukori N, Hasegawa N, et al.	精神神経科学講座	Prescription of anticholinergic drugs in patients with schizophrenia: analysis of antipsychotic prescription patterns and hospital characteristics	Front. Psychiatry. 2022;13: 823826.	Original Article
200	Horiuchi F, Yoshino-Ozaki A, Hattori H, et al.	精神神経科学講座	Expression of overadaptation in children through drawing a man as a projective measure: a community sample study	Pediatr Int. 2022 Jan;64(1):e14919. doi: 10.1111/ped.14919.	Original Article
201	Hosokawa R, Kawabe K, Nakachi K, et al.	精神神経科学講座	Effects of social media on body dissatisfaction in junior high school girls in Japan	Eat Behav. 2022 Nov 23;48:101685. doi: 10.1016/j.eatbeh.2022.101685.	Original Article
202	Hosokawa R, Yoshino Y, Funahashi Y, et al.	精神神経科学講座	miR-15b-5p Expression in the Peripheral Blood: A Potential Diagnostic Biomarker of Autism Spectrum Disorder	Brain Sci. 2022 Dec 22;13(1):27. doi: 10.3390/brainsci13010027.	Original Article
203	Ichihashi K, Kyou Y, Hasegawa N, et al.	精神神経科学講座	The characteristics of patients receiving psychotropic pro re nata medication at discharge for the treatment of schizophrenia and major depressive disorder: A nationwide survey from the EGUIDE project	Asian J Psychiatr. 2022 Mar;69:103007. doi: 10.1016/j.ajp.2022.103007.	Original Article
204	Iida H, Okada T, Nemoto K, et al.	精神神経科学講座	Satisfaction with web-based courses on clinical practice guidelines for psychiatrists: Findings from the "Effectiveness of Guidelines for Dissemination and Education in Psychiatric Treatment (EGUIDE)" project.	Neuropsychopharmacol Rep. 2022 Nov 28. doi: 10.1002/npr2.12300.	Original Article
205	Inada K, Fukumoto K, Hasegawa N, et al.	精神神経科学講座	Development of Individual Fitness Score for Conformity of Prescriptions to the "Guidelines for Pharmacological Therapy of Schizophrenia"	Neuropsychopharmacol Rep. 2022 Dec;42(4):502-509. doi: 10.1002/npr2.12293.	Original Article
206	Ishigooka J, Nakagome K, Ohmori T, et al.	精神神経科学講座	Discontinuation and remission rates and social functioning in patients with schizophrenia receiving second-generation antipsychotics: 52-week evaluation of JUMPS, a randomized, open-label study.	Psychiatry Clin Neurosci. 2022 Jan;76(1):22-31. doi: 10.1111/pcn.13304.	Original Article
207	Kawabe K, Horiuchi F, Hosokawa R, et al.	精神神経科学講座	Influence of an Esports Program on Problematic Gaming in Children with Autistic Spectrum Disorder: A Pilot Study	Behav Sci (Basel). 2022 May 31;12(6):172. doi: 10.3390/bs12060172.	Original Article

208	Kawakami I, Iga JI, Takahashi S, et al.	精神神経科学講座	Towards an understanding of the pathological basis of senile depression and incident dementia: Implications for treatment.	Psychiatry Clin Neurosci. 2022 Dec;76(12):620-632. doi: 10.1111/pcn.13485.	Original Article
209	Kyou Y, Yasui-Furukori N, Hasegawa N, et al.	精神神経科学講座	The characteristics of discharge prescriptions including pro re nata psychotropic medications for patients with schizophrenia and major depressive disorder from the survey of the "Effectiveness of Guidelines for Dissemination and Education in psychiatric treatment (EGUIDE)" project.	Ann Gen Psychiatry. 2022 Dec 26;21(1):52. doi: 10.1186/s12991-022-00429-8.	Original Article
210	Muraoka H, Kodaka F, Hasegawa N, et al.	精神神経科学講座	Characteristics of the treatments for each severity of major depressive disorder: A real-world multi-site study	Asian J Psychiatr. 2022 Aug;74:103174. doi: 10.1016/j.aip.2022.103174. Epub 2022 May 18.	Original Article
211	Ochi S, Tagata H, Hasegawa N, et al.	精神神経科学講座	Clozapine treatment is associated with higher prescription rate of antipsychotic monotherapy and lower prescription rate of other concomitant psychotropics: A real-world nationwide study.	Int J Neuropsychopharmacol. 2022 Oct 25;25(10):818-826. doi: 10.1093/ijnp/pyac036.	Original Article
212	Ochi S, Mori T, Iga J, Ueno S.	精神神経科学講座	Prevalence of comorbid dementia in late-life depression and bipolar disorder: a retrospective inpatient study	J Alzheimers Dis Rep. 2022 Sep 24;6(1):589-598. doi: 10.3233/ADR-220052	Original Article
213	Ogasawara K, Numata S, Hasegawa N, et al.	精神神経科学講座	Subjective assessment of participants in education programs on clinical practice guidelines in the field of psychiatry.	Neuropsychopharmacol Rep. 2022 Jun;42(2):221-225. doi: 10.1002/npr2.12245.	Original Article
214	Ozaki T, Yoshino Y, Tachibana A, et al.	精神神経科学講座	Metabolomic alterations in the blood plasma of older adults with mild cognitive impairment and Alzheimer's disease (from the Nakayama Study).	Sci Rep. 2022; 12: 15205. Published online 2022 Sep 8. doi: 10.1038/s41598-022-19670-y	Original Article
215	Roy B, Ochi S, Dwivedi Y.	精神神経科学講座	M6A RNA Methylation-Based Epitranscriptomic Modifications in Plasticity-Related Genes via miR-124-C/EBP $\alpha$ -FTO-Transcriptional Axis in the Hippocampus of Learned Helpless Rats	Int J Neuropsychopharmacol. 2022; 25(12): 1037-1049.	Original Article
216	Shimizu H, Mori T, Yoshida T, et al.	精神神経科学講座	Secular trends in the prevalence of dementia based on a community-based complete enumeration in Japan: the Nakayama Study.	Psychogeriatrics. 2022 Sep;22(5):631-641. doi: 10.1111/psyg.12865.	Original Article
217	Tajika A, Hori H, Iga JI, et al.	精神神経科学講座	Mood Stabilizers and Antipsychotics for Acute Mania: Systematic Review and Meta-Analysis of Augmentation Therapy vs Monotherapy From the Perspective of Time to the Onset of Treatment Effects.	Int J Neuropsychopharmacol. 2022 Oct 25;25(10):839-852. doi: 10.1093/ijnp/pyac050.	Original Article
218	Ueno M, Yoshino Y, Mori H, et al.	精神神経科学講座	Association Study and Meta-Analysis of Polymorphisms and Blood mRNA Expression of the ALDH2 Gene in Patients with Alzheimer's Disease.	J Alzheimers Dis. 2022;87(2):863-871. doi: 10.3233/JAD-215627.	Original Article
219	Yamada H, Motoyama M, Hasegawa N, et al.	精神神経科学講座	A dissemination and education programme to improve the clinical behaviours of psychiatrists in accordance with treatment guidelines for schizophrenia and major depressive disorders: the Effectiveness of Guidelines for Dissemination and Education in Psychiatric Treatment (EGUIDE) project.	BJPsych Open. 2022 Apr 21;8(3):e83. doi: 10.1192/bjo.2022.44.	Original Article
220	Yasui-Furukori N, Muraoka H, Hasegawa N, et al.	精神神経科学講座	Association between examination rate of treatment-resistant schizophrenia and clozapine prescription rate in a nationwide dissemination and implementation study	Neuropsychopharmacol Rep. 2022; 42(1): 3-9.	Original Article
221	Yoshino Y, Roy B, Dwivedi Y.	精神神経科学講座	Corticosterone-mediated regulation and functions of miR-218-5p in rat brain.	Sci Rep. 2022 Jan 7;12(1):194. doi: 10.1038/s41598-021-03863-y.	Original Article
222	Yoshino Y, Kumon H, Shimokawa T, et al.	精神神経科学講座	Impact of gestational haloperidol exposure on miR-137-3p and Nr3c1 mRNA expression in the hippocampus of offspring mice.	Int J Neuropsychopharmacol. 2022 Oct 25;25(10):853-862. doi: 10.1093/ijnp/pyac044.	Original Article
223	Kumon H, Miyake Y, Yoshino Y, et al.	精神神経科学講座	Functional AGXT2 SNP rs37369 Variant Is a Risk Factor for Diabetes Mellitus: Baseline Data From the Aida Cohort Study in Japan.	Can J Diabetes. 2022 Dec;46(8):829-834. doi: 10.1016/j.cjcd.2022.06.004. Epub 2022 Jun 22.	Original Article
224	Takeshi Hatanaka, Satoru Kakizaki, Atsushi Hiraoka, et al.	総合診療サポートセンター	Correction to: Development and validation of a modified albumin-bilirubin grade and $\alpha$ -fetoprotein score (mALF score) for hepatocellular carcinoma patients receiving atezolizumab and bevacizumab.	Hepatology international 2022; 17(1): 271-273, DOI: 10.1007/s12072-022-10446-0	Original Article
225	Masashi Hiraoka, Yohei Koizumi, Yoshiko Nakamura, et al.	総合診療サポートセンター	Spleen stiffness in patients with chronic liver disease evaluated by 2-D shear wave elastography with ultrasound multiparametric imaging.	Hepatology research 2022; 53(2): 93-103 DOI: 10.1111/hepr.13841	Original Article
226	Masashi Hiraoka, Yohei Koizumi, Ryo Yano, et al.	総合診療サポートセンター	Cisterna chyli as an optimal marker of tolvaupan response in severe cirrhotic ascites.	Scientific reports 2022; 12(1): 8124-8124 , DOI: 10.1038/s41598-022-11889-z	Original Article
227	Masashi Hiraoka, Takasaki Tanaka, Yohei Koizumi, et al.	総合診療サポートセンター	Measurement of multiple spleen lengths is not necessary for non-invasive prediction of high-risk esophagegastric varices.	Hepatology research 2022; 52(2): 187-198, DOI: 10.1111/hepr.13716	Original Article
228	Kawamoto R, Kikuchi A, Akase T, et al.	地域医療学	Association between alanine aminotransferase and all-cause mortality rate: Findings from a study on Japanese community-dwelling individuals.	J Clin Lab Anal. 2022 May;36(5):e24445.	Original Article
229	Miyake Y, Tanaka K, Nagata C, et al.	地域医療学	Fish and Polyunsaturated Fatty Acid Intake and Carotid Intima-Media Thickness in Japan: the Aida Cohort Study in Yawatahama, Uchiko, Seiyu, and Ainan	J Atheroscler Thromb . 2022 Sep 30. doi: 10.5551	Original Article
230	Kikuchi A, Kawamoto R, Ninomiya D, Kumagi T	地域医療学	Hyperuricemia is associated with all-cause mortality among males and females: Findings from a study on Japanese community-dwelling individuals.	Metabol Open. 2022 Apr 29;14:100186.	Original Article
231	Kawamoto R, Kikuchi A, Ninomiya D, Kumagi T	地域医療学	Interactive effect of serum uric acid and handgrip strength on all-cause mortality among Japanese community-dwelling people.	Metabol Open. 2022 Dec 29;17:100227.	Original Article
232	Kawamoto R, Ninomiya D, Kikuchi A, et al.	地域医療学	Relationship between rural self-efficacy and rural career intent after rural clinical training: a study on medical students in Japan.	BMC Med Educ. 2022 Jun 8;22(1):445.	Original Article
233	Motomura G, Mashima N, Imai H, et al.	地域医療再生学	Effects of porous tantalum on periprosthetic bone remodeling around metaphyseal filling femoral stem: a multicenter, prospective, randomized controlled study	Scientific Reports	Original Article
234	Fujikawa T, Takahashi S, Shinohara N, et al.	地域医療再生学	Early Postoperative Rehabilitation Using the Hybrid Assistive Limb (HAL) Lumbar Type in Patients With Hip Fracture: A Pilot Study	Cureus	Original Article
235	Kubota K, Oguchi T, Fujimori N, et al.	地域医療支援センター	Steroid therapy has an acceptable role as the initial treatment in autoimmune pancreatitis patients with pancreatic cyst formation: Based on a Japanese nationwide study.	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2022 Aug 11.	Original Article
236	Hamada M*, Ogimoto A, Otani T, et al.	地域救急医療学	Changes of left ventricular remodeling due to increased afterload in patients with essential hypertension.	Int J Cardiol. 2022 Nov 15;367:74-80.	Original Article
237	Sueda S*, Kurokawa K, Kurokawa T, et al.	地域救急医療学	Clinical Outcomes and Provoked Epicardial Spasm Phenotypes via Intracoronary Acetylcholine Testing in 680 Patients with Angina and Nonobstructive Coronary Arteries.	Life (Basel). 2022 Sep 21;12(10):1465.	Original Article
238	Takahashi K, Sasaki D, Yamashita M, et al.	地域救急医療学	Amyloid deposit corresponds to technetium-99m-pyrophosphate accumulation in abdominal fat of patients with transthyretin cardiac amyloidosis.	J Nucl Cardiol 2022 Dec;29(6):3126-3136. doi: 10.1007/s12350-021-02890-6.	Original Article
239	Nogami N, Barlesi F, Socinski MA, et al.	地域胸部疾患治療学	IMpower150 Final Exploratory Analyses for Atezolizumab Plus Bevacizumab and Chemotherapy in Key NSCLC Patient Subgroups With EGFR Mutations or Metastases in the Liver or Brain.	J Thorac Oncol. 2022; 17: 309-323.	Original Article
240	Yamamoto Y, Ikeda Y, Takeshita E, et al.	地域消化器免疫医療学	Gel-immersion endoscopic detorsion for pediatric sigmoid volvulus.	Endoscopy. 2022 Dec;54(S 02):E890-E891. doi: 10.1055/a-1858-4826. Epub 2022 Jun 24.	Original Article
241	Tange K, Yagi S, Takeshita E, et al.	地域消化器免疫医療学	Oral administration of human carbonic anhydrase 1 suppresses colitis in a murine inflammatory bowel disease model.	Sci Rep. 2022 Oct 26;12(1):17983. doi: 10.1038/s41598-022-22455-y.	Original Article
242	Ohama H, Hiraoka A, Tada F, et al.	地域生活習慣病・内分泌学	Comparison of surgical resection and percutaneous ultrasonographic guided radiofrequency ablation for initial recurrence of hepatocellular carcinoma in early stage following curative treatment	Cancers (Basel) 14: 5524, 2022	Original Article
243	Kawamura, R., Miyao, S., Onuma, H., et al.	糖尿病内科学	Recurrent hypoglycemia due to a high titer of insulin antibody in response to exogenous insulin administration in two cases of type 1 diabetes.	Intern Med. 2022 Mar; 61 (5): 687-695. doi: 10.2169/innermedicine.7647-21.	Original Article
244	Hiramine, Y., Noso, S., Rakugi, H., et al.	糖尿病内科学	Poor glycemic control rather than types of diabetes is a risk factor for sarcopenia in diabetes mellitus: The MUSCLES-DM study.	J Diabetes Investig. 2022 Nov; 13 (11): 1881-1888. doi: 10.1111/jdi.13882.	Original Article
245	Saito, I., Maruyama, K., Kato, T., et al.	糖尿病内科学	Role of insulin resistance in the association between resting heart rate and type 2 diabetes: A prospective study.	J Diabetes Complications. 2022 Nov; 36 (11): 108319. doi: 10.1016/j.jdiacomp.2022.108319.	Original Article
246	Maruyama, K., Khairunissa, S., Saito, I., et al.	糖尿病内科学	Association of fish and omega-3 fatty acid intake with carotid intima-media thickness in middle-aged to elderly Japanese men and women: The Toon Health Study.	Nutrients 2022 Sep; 14 (17): 3644. doi: 10.3390/nu14173644.	Original Article
247	Bayasgalan, B., M. Matsushashi, T. Fumuro, et al.	脳神経外科学	Neural Sources of Vagus Nerve Stimulation-Induced Slow Cortical Potentials	Neuromodulation	Original Article
248	Inoue, A., S. Suehiro, T. Ohnishi, et al.	脳神経外科学	Simultaneous combined endoscopic endonasal and transcranial surgery for giant pituitary adenomas: Tips and traps in operative indication and procedure.	Clin Neurol Neurosurg	Original Article
249	Inoue, A., H. Watanabe, T. Kondo, et al.	脳神経外科学	Usefulness of intraoperative rapid immunohistochemistry in the surgical treatment of brain tumors.	Neuropathology	Original Article

250	Kajikawa, S., M. Matsuhashi, K. Kobayashi, et al.	脳神経外科学	Corrigendum to "Two types of clinical ictal direct current shifts in invasive EEG of intractable focal epilepsy identified by waveform cluster analysis [Clin. Neurophysiol. 137 (2022) 113–121]"	Clin Neurophysiol	Original Article
251	Kajikawa, S., M. Matsuhashi, K. Kobayashi, et al.	脳神経外科学	Two types of clinical ictal direct current shifts in invasive EEG of intractable focal epilepsy identified by waveform cluster analysis.	Clin Neurophysiol	Original Article
252	Nakatani, M., M. Inouchi, M. Daifu-Kobayashi, et al.	脳神経外科学	Ictal direct current shifts contribute to defining the core ictal focus in epilepsy surgery.	Brain Commun	Original Article
253	Ohnishi, T., D. Yamashita, A. Inoue, et al.	脳神経外科学	Is Interstitial Chemotherapy with Carmustine (BCNU) Wafers Effective against Local Recurrence of Glioblastoma? A Pharmacokinetic Study by Measurement of BCNU in the Tumor Resection Cavity.	Brain Sci	Original Article
254	Takeyama, H., R. Matsumoto, K. Usami, et al.	脳神経外科学	Secondary motor areas for response inhibition: an epicortical recording and stimulation study.	Brain Commun	Original Article
255	Togawa, J., R. Matsumoto, K. Usami, et al.	脳神経外科学	Enhanced phase-amplitude coupling of human electrocorticography selectively in the posterior cortical region during rapid eye movement sleep.	Cereb Cortex	Original Article
256	Togo, M., R. Matsumoto, K. Usami, et al.	脳神経外科学	Distinct connectivity patterns in human medial parietal cortices: Evidence from standardized connectivity map using cortico-cortical evoked potential.	Neuroimage	Original Article
257	Usami, K., R. Matsumoto, A. Korzeniewska, et al.	脳神経外科学	The dynamics of cortical interactions in visual recognition of object category: living versus nonliving.	Cereb Cortex	Original Article
258	Inoue A, Watanabe H, Suehiro S, et al.	脳神経外科学	Clinical utility of new bone imaging using zero-echo-time sequence in neurosurgical procedures: Can zero-echo-time be used in clinical practice in neurosurgery?	The Neuroradiology Journal	Original Article
259	Iuchi T, Inoue A, Hirose Y, et al.	脳神経外科学	Long-term effectiveness of Gliadel implant for malignant glioma and prognostic factors for survival: 3-year results of a postmarketing surveillance in Japan.	Neurooncol	Original Article
260	Ozaki S, Okamoto S, Shinohara N	脳神経外科学	3D T2-Weighted Sampling Perfection with Application-Optimized Contrasts Using Different Flip Angle Evolutions (SPACE) and 3D Time-of-Flight (TOF) MR Angiography Fusion Imaging for Occluded Intracranial Arteries	Journal of Neuroendovascular Therapy 16: 452–457	Original Article
261	Nakamura, Y., A. Inoue, M. Nishikawa, et al.	脳神経外科学	Quantitative measurement of peritumoral concentrations of glutamate, N-acetyl aspartate, and lactate on magnetic resonance spectroscopy predicts glioblastoma-related refractory epilepsy	Acta Neurochir (Wien)	Original Article
262	Matsumoto S, Ochi M, Akechi Y, et al.	脳神経内科・老年医学	Dermal advanced glycation end-product accumulation is associated with sarcopenia-related measures in middle-aged and older men.	Arch Gerontol Geriatr. 2022; 101: 104704. doi: 10.1016/j.archger.2022.104704.	Original Article
263	Kuramoto E, Kitawaki A, Yagi T, et al.	脳神経内科・老年医学	Development of a system to analyze oral frailty associated with Alzheimer's disease using a mouse model.	Front Aging Neurosci. 2022; 14: 935033. doi: 10.3389/fnagi.2022.935033.	Original Article
264	Himeno A, Tsujikami M, Koizumi S, et al.	脳神経内科・老年医学	Effect of reducing pigmentation by collagen peptide intake: A randomized, double-blind, placebo-controlled study.	Dermatol Ther (Heidelb). 2022; 12: 1577–1587. doi: 10.1007/s13355-022-00748-4.	Original Article
265	Hamatani M, Ochi H, Kimura K, et al.	脳神経内科・老年医学	T cells from MS patients with high disease severity are insensitive to an immune-suppressive effect of sulfatide.	Mol Neurobiol. 2022; 59: 5276–5283. doi: 10.1007/s12035-022-02881-9.	Original Article
266	I.Mahajan A, Spracklen CN, Zhang W, et al.	脳神経内科・老年医学	Multi-ancestry genetic study of type 2 diabetes highlights the power of diverse populations for discovery and translation.	Nat Genet. 2022; 54: 560–572. doi: 10.1038/s41588-022-01058-3.	Original Article
267	Kusunoki H, Tabara Y, Tsuji S, et al.	脳神経内科・老年医学	Estimation of muscle mass using creatinine/cystatin C ratio in Japanese community-dwelling older people.	J Am Med Dir Assoc. 2022; 23: 902.e.21–e.31. doi: 10.1016/j.jamda.2021.07.029.	Original Article
268	Ashida S, Kondo T, Fujii C, et al.	脳神経内科・老年医学	Association of cerebrospinal inflammatory profile with radiological features in newly diagnosed treatment-naïve patients with multiple sclerosis.	Front Neurol. 2022; 13: 1012857. doi: 10.3389/fneur.2022.1012857.	Original Article
269	Fan L, Miura S, Shimojo T, et al.	脳神経内科・老年医学	A novel 1-bp deletion variant in DAG1 in Japanese familial asymptomatic hyper CK-emia.	Hum Genome Var. 2022; 9: 4. doi: 10.1038/s41439-022-00182-0.	Original Article
270	Morikawa T, Miura S, Fan L, et al.	脳神経内科・老年医学	A Japanese family with dystonia due to a pathogenic variant in SGCE.	Hum Genome Var. 2022; 9: 29. doi: 10.1038/s41439-022-00207-8.	Original Article
271	Rakugi H, Sugimoto K, Arai H, et al.	脳神経内科・老年医学	Statement on falls in long-term care facilities by the Japan Geriatric Society and the Japan Association of Geriatric Health Service Facilities.	Geriatr Gerontol Int. 2022; 22: 193–205. doi: 10.1111/ggi.14332.	Original Article
272	Luzzago S, Puccinelli ML, Marvaso G, et al.	泌尿器科	Active surveillance for prostate cancer: comparison between incidental tumors vs. tumors diagnosed at prostate biopsies	World J Urol. 140(2):443–451	Original Article
273	Puccinelli ML, Luzzago S, Marvaso G, et al.	泌尿器科	Association between previous negative biopsies and lower rates of progression during active surveillance for prostate cancer	World J Urol. 140(6):1447–1454	Original Article
274	Nishimura K, Konishi T, Ochi T, et al.	泌尿器科	CD21 to B Cells Could Be a Potential Predictor of Immune-Related Adverse Events in Renal Cell Carcinoma	J Pers Med. 12(6):888	Original Article
275	Yamaguchi T, Sugiyama Y, Tanaka T, et al.	泌尿器科	Summary of the Clinical Practice Guidelines for Penile Cancer 2021 by the Japanese Urological Association	Int J Urol. 129(8):780–792	Original Article
276	Tanaka R, Ichimura Y, Kubota N, et al.	皮膚科	Differential Involvement of Programmed Cell Death Ligands in Skin Immune Responses	J Invest Dermatol. 2022 Jan; 142(1): 145–154.e8.	Original Article
277	Fujimoto A, Iwai Y, Ishikawa T, et al.	皮膚科	Deep Neural Network for Early Image Diagnosis of Stevens-Johnson Syndrome/Toxic Epidermal Necrolysis	J Allergy Clin Immunol Pract. 2022 Jan; 10(1):277–283.	Original Article
278	Ogawa T, Ishitsuka Y, Nakamura Y, et al.	皮膚科	Loricrin Protects against Chemical Carcinogenesis.	J Invest Dermatol. 2022 Jul; 142(7):2023–2026.e1.	Original Article
279	Ishitsuka Y, Ogawa T, Nakamura Y, et al.	皮膚科	Loricrin and NRF2 Coordinate Cornification.	JID Innov. 2021 Oct 15; 2(1): 100065	Original Article
280	Muto Y, Kambayashi Y, Kato H, et al.	皮膚科	Adjuvant Anti-PD-1 Antibody Therapy for Advanced Melanoma: A Multicentre Study of 78 Japanese Cases.	Acta Derm Venereol. 2022 Aug 11; 102:adv00756	Original Article
281	Oya K, Nakamura Y, Iwamoto K, et al.	皮膚科	Enfortumab vedotin-induced cutaneous adverse events manifesting as miliaria-like eruptions with the presence of keratinocyte apoptosis in clinically intact skin	J Eur Acad Dermatol Venereol. 2022 Dec; 36(12): e1009–e1011.	Original Article
282	Shiraishi K, Tohyama M, Sayama K	皮膚科	Topical steroid-induced prurigo-like folliculitis in children: A case series of 10 patients	Eur J Dermatol. 2022 in press	Original Article
283	Takeichi T, Ohno Y, Tanahashi K, et al.	皮膚科	Ceramide analysis in combination with genetic testing may provide a precise diagnosis for self-healing colodion babies.	J Lipid Res. 2022 Dec; 63(12):100308. doi: 10.1016/j.lipres.2022.100308.	Original Article
284	Tomimatsu K, Bihary D, Olan I, et al.	皮膚科	Locus-specific induction of gene expression from heterochromatin loci during cellular senescence	Nature Aging. 2: 31–45, 2022.	Original Article
285	Hu L, Nomura S, Sato Y, et al.	皮膚科	Anti-inflammatory effects of differential molecular weight Hyaluronic acids on UVB-induced calprotectin-mediated keratinocyte inflammation	J Dermatol Sci. 2022 Jul; 107(1): 24–31.	Original Article
286	Dai X, Murakami M, Shiraishi K, et al.	皮膚科	EGFR ligands synergistically increase IL-17A-induced expression of psoriasis signature genes in human keratinocytes via IκBζ and βc3.	Eur J Immunol. 2022 Jun; 52(6):994–1005.	Original Article
287	Dai X, Shiraishi K, Muto J, et al.	皮膚科	Nuclear IL-33 Plays an Important Role in IL-31-Mediated Downregulation of FLG, Keratin 1, and Keratin 10 by Regulating Signal Transducer and Activator of Transcription 3 Activation in Human Keratinocytes.	J Invest Dermatol. 2022; 142(1): 136–144.	Original Article
288	Dai X, Muto J, Shiraishi K, et al.	皮膚科	TSLP Impairs Epidermal Barrier Integrity by Stimulating the Formation of Nuclear IL-33/Phosphorylated STAT3 Complex in Human Keratinocytes.	J Invest Dermatol. 2022; 142(8): 2100–2108.	Original Article
289	Xia Y, Ikeda A, Lee JW, et al.	病態生理学	Histone H3K27 demethylase, Utx, regulates osteoblast-to-osteocyte differentiation	Biochem Biophys Res Commun. 2022 Jan 29; 590:132–138. doi: 10.1016/j.bbrc.2021.12.102.	Original Article
290	Sakai H, Sawada Y, Tokunaga N, et al.	病態生理学	Uhrf1 governs the proliferation and differentiation of muscle satellite cells	iScience. 2022 Mar 18; 25(3):103928. doi: 10.1016/j.isci.2022.103928.	Original Article
291	Satake T, Komura S, Aoki H, et al.	病態生理学	Induction of iPSC-derived PrG4-positive cells with characteristics of superficial zone chondrocytes and fibroblast-like synovial cells	BMC Mol Cell Biol. 2022 Jul 23; 23:30. doi: 10.1186/s12860-022-00431-8.	Original Article

292	Yoshioka H, Komura S, Kuramitsu N, et al.	病態生理学	Deletion of Tfam in Prx1-Cre expressing limb mesenchyme results in spontaneous bone fractures	J Bone Miner Metab. 2022 Sep;40(5):839-852. doi: 10.1007/s00774-022-01354-2.	Original Article
293	Nakata T, Okada M, Nishihara E, et al.	病態生理学	Effect of hormonal therapy on the otoconial changes caused by estrogen deficiency	Sci Rep. 2022 Dec 30;12:22596. doi: 10.1038/s41598-022-27240-5.	Original Article
294	Abdulraheem MA, Ernest M, Ugwuanyi I, et al.	分子寄生虫学	High prevalence of Plasmodium malariae and Plasmodium ovale in co-infections with Plasmodium falciparum in asymptomatic malaria parasite carriers in Southwest Nigeria	Int J Parasitol. 2022 Jan;52(1):23-33. doi: 10.1016/j.ijpara.2021.06.003.	Original Article
295	Miura K, Takashima E, Pham TP, et al.	分子寄生虫学	Elucidating functional epitopes within the N-terminal region of malaria transmission blocking vaccine antigen Pfs20	NPJ Vaccines. 2022 Jan 13;7(1):4. doi: 10.1038/s41541-021-00423-3.	Original Article
296	Cha SJ, Yu X, Gregory BD, et al.	分子寄生虫学	Identification of Key Determinants of Cerebral Malaria Development and Inhibition Pathways	mBio. 2022 Feb 22;13(1):e0370821. doi: 10.1128/mbio.03708-21.	Original Article
297	Liu M, Guo G, Qian P, et al.	分子寄生虫学	5-methylcytosine modification by Plasmodium NSUN2 stabilizes mRNA and mediates the development of gametocytes	Proc Natl Acad Sci U S A. 2022 Mar 1;119(9):e2110713119.	Original Article
298	Thieu NQ, Chinh VD, Hanh TV, et al.	分子寄生虫学	Reduction in Plasmodium falciparum Pfk13 and pfg377 allele diversity through time in southern Vietnam.	Trop Med Health. 2022 Mar 1;50(1):19. doi: 10.1186/s41182-022-00409-4.	Original Article
299	Shang X, Wang C, Fan Y, et al.	分子寄生虫学	Genome-wide landscape of ApiAP2 transcription factors reveals a heterochromatin-associated regulatory network during Plasmodium knowlesi infection in Malaysia: protocol for a qualitative study with a participatory research design	Nucleic Acids Res. 2022 Apr 8;50(6):3413-3431. doi: 10.1093/nar/gkac176.	Original Article
300	Nundu S, Arima H, Simpson S, et al.	分子寄生虫学	Low prevalence of Plasmodium falciparum parasites lacking pfrp2/3 genes among asymptomatic and symptomatic school-age children in Kinshasa, Democratic Republic of Congo	Malar J. 2022 Apr 19;21(1):126. doi: 10.1186/s12936-022-04153-2.	Original Article
301	Nundu S, Culleton R*, Simpson S, et al.	分子寄生虫学	Identification of polymorphisms in genes associated with drug resistance in Plasmodium falciparum isolates from school-age children in Kinshasa, Democratic Republic of Congo	Parasitol Int. 2022 Jun;88:102541. doi: 10.1016/j.ijparint.2022.102541.	Original Article
302	Naseruddin NA, Hod R, Jeffrey MS, et al.	分子寄生虫学	Exploring the key anthropological drivers of and barriers to zoonotic malaria preventative behavior in a community exposed to Plasmodium knowlesi infection in Malaysia: protocol for a qualitative study with a participatory research design	BMJ Open. 2022 Jun 30;12(6):e060866. doi: 10.1136/bmjopen-2022-060866.	Original Article
303	Miyata T, Minamihata K, Kurihara K, et al.	分子寄生虫学	Highly efficient protein expression of Plasmodium vivax surface antigen, Pvs25, by silkworm and its biochemical analysis.	Protein Expr Purif. 2022 Aug;195:106096. doi: 10.1016/j.pep.2022.106096.	Original Article
304	Huang WC, Mabrouk MT, Zhou L, et al.	分子寄生虫学	Vaccine co-display of CSP and Pfs20 on liposomes targeting two Plasmodium falciparum differentiation stages	Commun Biol. 2022 Aug 1;5(1):773. doi: 10.1038/s42003-022-03688-z.	Original Article
305	Naseruddin NA, Culleton R, Lin RYP, et al.	分子寄生虫学	Generating Trust in Participatory Research on Plasmodium knowlesi Malaria: A Study with Rural Community Gatekeepers during the COVID-19 Pandemic	Int J Environ Res Public Health. 2022 Nov 26;19(23):15764. doi: 10.3390/ijerph192315764.	Original Article
306	Pandey BD, Tun MMN, Pandey K, et al.	分子寄生虫学	Has COVID-19 suppressed dengue transmission in Nepal?	Epidemiol Infect. 2022 Nov 18;150:e196. doi: 10.1017/S0950268822001790.	Original Article
307	Chen J, Ma X, Tang J, et al.	分子寄生虫学	Disparate selection of mutations in the dihydrofolate reductase gene (dhfr) of Plasmodium ovale curtisi and P. o. walkeri in Africa	PLoS Negl Trop Dis. 2022 Dec 5;16(12):e0109777. doi: 10.1371/journal.pntd.0109777.	Original Article
308	Yu X, Wang C, Zhao Y, et al.	分子寄生虫学	Ring-stage growth arrest: metabolic basis of artemisinin tolerance in Plasmodium falciparum	iScience. 2022 Dec 5;26(1):105725. doi: 10.1016/j.isci.2022.105725.	Original Article
309	Taguchi S, Choudhury ME, Mikami K, et al.	分子細胞生理学	Treadmill Exercise as a Preventive Measure Against Age-Related Anxiety and Social Behavioral Disorders in Rats: When Is It Worth Starting?	Ann Rehabil Med. 2022 Dec;46(6):320-328. doi: 10.5535/arm.22105. Epub 2022 Dec 31.	Original Article
310	Matsumoto S, Choudhury ME, Takeda H, et al.	分子細胞生理学	Microglial re-modeling contributes to recovery from ischemic injury of rat brain: A study using a cytokine mixture containing granulocyte-macrophage colony-stimulating factor and interleukin-3	Front Neurosci. 2022 Jul 28;16:941363. doi: 10.3389/fnins.2022.941363. eCollection 2022.	Original Article
311	Nishioka R, Nishi Y, Choudhury ME, et al.	分子細胞生理学	Surgical stress quickly affects the numbers of circulating B-cells and neutrophils in murine septic and aseptic models through a $\beta(2)$ adrenergic receptor	J Immunotoxicol. 2022 Dec;19(1):8-16. doi: 10.1080/1547691X.2022.2029630.	Original Article
312	Choudhury ME, Mikami K, Nakanishi Y, et al.	分子細胞生理学	Insomnia and depressive behavior of Myd88-deficient mice: Relationships with altered microglial functions	J Neuroimmunol. 2022 Feb 15;363:577794. doi: 10.1016/j.jneuroim.2021.577794. Epub 2021 Dec 24.	Original Article
313	Usui N, Tian X, Harigai Y, et al.	分子細胞生理学	Length impairments of the axon initial segment in rodent models of attention-deficit hyperactivity disorder and autism spectrum disorder	Neurochem Int. 2022 Feb;153:105273. doi: 10.1016/j.neuint.2021.105273. Epub 2021 Dec 28.	Original Article
314	Choudhury ME, Ozaki S, Miyake N, et al.	分子細胞生理学	Chloride Intracellular Channel Protein 2 Promotes Microglial Invasion: A Link to Microgliosis in the Parkinson's Disease Brain	Brain Sci. 2022 Dec 28;13(1):55. doi: 10.3390/brainsci13010055.	Original Article
315	Utsunomiya R, Mikami K, Doi T, et al.	分子細胞生理学	Rearing in an Enriched Environment Ameliorates the ADHD-like Behaviors of Lister Hooded Rats While Suppressing Neuronal Activities in the Medial Prefrontal Cortex	Cells. 2022 Nov 17;11(22):3649. doi: 10.3390/cells11223649.	Original Article
316	Hitomi Matsuura, Ryoosuke Kawakami, Maki Isoe, et al.	分子病態医学講座	NIR-II-Excitable Dye-Loaded Nanoemulsions for Two-Photon Microscopy Imaging of Capillary Blood Vessels in the Entire Hippocampal CA1 Region of Living Mice	ACS Appl Mater Interfaces. 2022 Sep 14;14(36):40481-40490. doi: 10.1021/acsami.2c03299. Epub 2022 Sep 5.	Original Article
317	Keiko Ishikawa, Shinya Sugimoto, Mayumi Oda, et al.	分子病態医学講座	Identification of Quiescent LGR5+ Stem Cells in the Human Colon	Gastroenterology. 2022 Nov;163(5):1391-1406.e24. doi: 10.1053/j.gastro.2022.07.081. Epub 2022 Aug 11.	Original Article
318	Yuki Ohta, Masayuki Fuji, Sirat Takahashi, et al.	分子病態医学講座	Cell-matrix interface regulates dormancy in human colon cancer stem cells	Nature. 2022 Aug;608(7924):784-794. doi: 10.1038/s41586-022-05043-y. Epub 2022 Jul 7.	Original Article
319	Wakako Mori, Ryoosuke Kawakami, Yosuke Niko, et al.	分子病態医学講座	Differences in interaction lead to the formation of different types of insulin amyloid	Sci Rep. 2022 May 20;12(1):8556. doi: 10.1038/s41598-022-12212-6.	Original Article
320	Yusuke Yochimatsu, Tomohisa Sujino, Kentaro Miyamoto, et al.	分子病態医学講座	Aryl hydrocarbon receptor signals in epithelial cells govern the recruitment and location of Helios+ Tregs in the gut	Cell Rep. 2022 May 10;39(6):110773. doi: 10.1016/j.celrep.2022.110773.	Original Article
321	Hiroshi Tazawa, Kunitoshi Shigeyasu, Kazuhiro Noma, et al.	分子病態医学講座	Tumor-targeted fluorescence labeling systems for cancer diagnosis and treatment	Cancer Sci. 2022 Jun;113(6):1919-1929. doi: 10.1111/cas.15369. Epub 2022 Apr 18.	Original Article
322	Yutaro Tsubakihara, Yae Ohata, Yukari Okita, et al.	分子病態医学講座	TGF $\beta$ selects for pro-stemness over pro-invasive phenotypes during cancer cell epithelial-mesenchymal transition	Mol Oncol. 2022 Jun;16(12):2330-2354. doi: 10.1002/1878-0261.13215. Epub 2022 Apr 10.	Original Article
323	Kazuki Inoue, Ryoosuke Kawakami, Masamoto Murakami, et al.	分子病態医学講座	Synthesis and photophysical properties of a new push-pull pyrene dye with green-to-far-red emission and its application to human cellular and skin tissue imaging	J Mater Chem B. 2022 Mar 9;10(10):1641-1649. doi: 10.1039/d1tb02728j.	Original Article
324	Yutaka Nakamura, Mitsuhiro Saitou, Shingo Komura, et al.	分子病態医学講座	Reduced dynamic loads due to hip dislocation induce acetabular cartilage degeneration by IL-6 and MMP3 via the STAT3/periostin/NF- $\kappa$ B axis	Sci Rep. 2022 Jul 16;12(1):21207. doi: 10.1038/s41598-022-16585-6.	Original Article
325	Yan M, Komatsu N, Muro R, et al.	分子病理学	ETSI Governs Pathological Tissue-remodeling Programs in Disease-associated Fibroblasts	Nature Immunology 23(9):1330-1341	Original Article
326	Takahashi K, Yamashita M, Sakae T, et al.	分子病理学	Light Chain Cardiac Amyloidosis in a Nonagenarian	Journal of Geriatric Cardiology 19(1):83-89	Original Article
327	Takahashi K, Hiratsuka Y, Sasaki D, et al.	分子病理学	<sup>99m</sup> Tc-Pyrophosphate Scintigraphy Can Image Tracer Uptake in Skeletal Trunk Muscles of Transthyretin Cardiac Amyloidosis	Clinical Nuclear Medicine 48:18-24	Original Article
328	Kitazawa S, Haraguchi R, Takaoka Y, Kitazawa R	分子病理学	In Situ Sequence-specific Visualization of Single Methylated Cytosine on Tissue Sections Using ICON Probe and Rolling-circle Amplification	Histochem Cell Biol Online ahead of print	Original Article
329	Kohara Y, Kitazawa R, Haraguchi R, et al.	分子病理学	Macrophages are Requisite for Angiogenesis of Type H Vessels During Bone Regeneration in Mice	Bone 154:116200	Original Article
330	Haraguchi R, Kitazawa R, Kohara Y, et al.	分子病理学	Novel Animal Model of Soft Tissue Tumor due to Aberrant Hedgehog Signaling Activation in Pericyte Lineage	Cell Tissue Res 388(1):63-73	Original Article
331	Okada T, Kawaguchi N, Miyagawa M, et al.	放射線医学	Clinical features and prognosis of isolated cardiac sarcoidosis diagnosed using new guidelines with dedicated FDG PET/CT	J Nucl Cardiol. 2022 Jul 8. doi: 10.1007/s12350-022-03034-0. Online ahead of print	Original Article
332	Ryo Ogawa, Tomoyuki Kido, Yasuhiro Shiraishi, et al.	放射線医学	Neural network - based fully automated cardiac resting phase detection algorithm compared with manual detection in patients	Acta Radiologica Open 2022 11(10) 1-6	Original Article
333	Kawaguchi N, Miyagawa M, Okada T, et al.	放射線医学	Quantitative Assessment Using the Compartment Model for Detecting Regional Coronary Artery Disease by Dynamic Myocardial Perfusion Single-Photon Emission Computed Tomography	Circ J. 2022	Original Article

334	Takanori Kouchi, Yuki Tanabe, Takumasa Takemoto, et al.	放射線医学	A Novel Quantitative Parameter for Static Myocardial Computed Tomography: Myocardial Perfusion Ratio to the Aorta	J Clin Med. 2022 Apr; 11(7): 1816	Original Article
335	Masahiro Takakado, Tomoyuki Kido, Ryo Ogawa, et al.	放射線医学	Free-breathing cardiovascular cine magnetic resonance imaging using compressed-sensing and retrospective motion correction: accurate assessment of biventricular volume at 3T	Jpn J Radiol. 2022 Oct 13;41(2):142-152	Original Article
336	Tsuruoka S, Kataoka M, Uwatsu K, et al.	放射線医学	Prognostic value of human epidermal growth factor receptor 2 status and systemic therapy in breast cancer with brain metastases treated with radiotherapy	Asia-Pac J Clin Oncol. 2022 (Online ahead of print). doi: 10.1111/ajco.13881	Original Article
337	Makita K, Hamamoto Y, Kanzaki H, et al.	放射線医学	Local control after palliative external beam radiotherapy for bone metastases in patients with favorable prognosis	Mol Clin Oncol 2022, 17: 152	Original Article
338	Florian Michalek, Satoshi Nakamura, Tairo Kurita, et al.	放射線医学	Fractal Analysis of Dynamic Stress CT-Perfusion Imaging for Detection of Hemodynamically Relevant Coronary Artery Disease. JACC: Cardiovascular Imaging	JACC: Cardiovascular Imaging. 2022 Sep;15(9):1591-1601	Original Article
339	Florian Michalek, Satoshi Nakamura, Hideki Ota, et al.	放射線医学	Fractal Analysis of 4D Dynamic Myocardial Stress CT Perfusion: A Multi-Center Proof-of-Concept Study	Scientific Reports 2022 Mar 24;12(1):5085	Original Article
340	Higaki A, Kawaguchi N, et al.	放射線医学	Content-based image retrieval for the diagnosis of myocardial perfusion imaging using a deep convolutional autoencoder	J Nucl Cardiol. 2022	Original Article
341	Matsuda M, Fukuyama N, Matsuda T, et al.	放射線医学	Utility of synthetic MRI in predicting pathological complete response of various breast cancer subtypes prior to neoadjuvant chemotherapy	Clin Radiology 77 (2022), 855-863	Original Article
342	Amane Konishi, Junpei Suzuki, Makoto Kuwahara, et al.	麻酔・周術期学	Glucocorticoid imprints a low glucose metabolism onto CD8 T cells and induces the persistent suppression of the immune response	Biochemical and Biophysical Research Communications . 2022 Jan 15;588:34-40. doi: 10.1016/j.bbrc.2021.12.050.	Original Article
343	Liu S, Suzuki Y, Takemasa E, et al.	薬理学	Mast cells promote viral entry of SARS-CoV-2 via formation of chymase/spike protein complex.	Eur J Pharmacol. 2022 Sep 5;930:175169. doi: 10.1016/j.ejphar.2022.175169.	Original Article
344	Liu S, Takemasa E, Suzuki Y, et al.	薬理学	Generation of DNA-aptamers targeting galectin-7 for the identification of cholesteatoma residue.	J Pharmacol Sci. 2022 Nov;150(3):146-153. doi: 10.1016/j.jpsh.2022.08.002.	Original Article
345	Toyama K, Spin JM, Deng AC, et al.	薬理学	Role of MicroRNAs in acceleration of vascular endothelial senescence.	Biochem Biophys Rep. 2022 May 26;30:101281. doi: 10.1016/j.bbrep.2022.101281.	Original Article
346	Ueno M, Liu S, Kiyoi T, et al.	薬理学	Perinatal low-fat dietary intervention affects glucose metabolism in female adult and aging offspring.	Geriatr Gerontol Int. 2022 May;22(5):441-448. doi: 10.1111/ggi.14378.	Original Article
347	Kashiwakura Y, Baatarsogt N, Yamazaki S, et al.	輸血・細胞治療部	The seroprevalence of neutralizing antibodies against the adeno-associated virus capsids in Japanese hemophiliacs.	Mol Ther Methods Clin Dev. 27:404-414, 2022. doi: 10.1016/j.omtm.2022.10.014.	Original Article
348	Hattori N, Takeda A, Hanyu Y, et al.	臨床薬理学	Effects of rasagiline on Parkinson's Disease Questionnaire(PDQ-39)emotional well-being domain in patients with Parkinson's disease:A post-hoc analysis of clinical trials in Japan.	PLoS One. 2022 Jan 25;17(1):e0262796. doi: 10.1371/journal.pone.0262796.	Original Article
349	Tada S, Mohammed E, Choudhury, Kubo M, et al.	臨床薬理学	Zonisamide Ameliorates Microglial Mitochondriopathy in Parkinson's Disease Models.	Brain Sci. 2022; 12(2):268. https://doi.org/10.3390/brainsci12020268.	Original Article
350	Yamanishi Y, Mohammed E, Choudhury, Yoshida A, et al.	臨床薬理学	Impact of Intestinal Bacteria on Levodopa Pharmacokinetics in LCIG Therapy.	Mov Disord Clin Pract. 2022; 9(3):362-368. doi: 10.1002/mdc3.13417.	Original Article
351	Ando R, Yamanishi Y, Tada S, et al.	臨床薬理学	Utility of Rectus Abdominis Ultrasound as a Respiratory Function Test for Amyotrophic Lateral Sclerosis.	Respir Care. 2022 May; 67(5):520-525. doi: 10.4187/respcare.09317. Epub 2022 Mar 29.	Original Article
352	Miyae N, Kubo M, Nagai M.	臨床薬理学	Ascorbic acid can alleviate the degradation of levodopa and carbidopa induced by magnesium oxide.	Brain Behav. 2022 Jun 17;e2672. doi: 10.1002/brb3.2672.	Original Article
353	Ando M, Higuchi Y, Yuan JH, et al.	臨床薬理学	Genetic and clinical features of cerebellar ataxia with RFC1 biallelic repeat expansions in Japan.	Front Neurol. 2022 Aug 10;13:952493. doi: 10.3389/fneur.2022.952493. eCollection 2022.	Original Article
354	Miyae N, Hosokawa Y, Yamanishi Y, et al.	臨床薬理学	Clinical use of CSF neopterin levels in CNS demyelinating diseases.	J Neurol Sci. 2022; 441:120385. doi: 10.1016/j.jns.2022.120385.	Original Article

小計 21件  
計 354件

- 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名、出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of print or in pressの掲載月は認めない)、巻数、該当ページ」の形式で記載すること(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 「論文種別」欄には、Original Article, Case report, Review, Letter, Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
1					Original Article
2					Case report
3					
~					

計 件

- (注)
- 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
  - 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
・ 手順書の主な内容 研究者等の責務等、病院長の責務等、倫理審査委員会、研究の適正な実施等、 研究の信頼性確保、重篤な有害事象への対応に関する手順、個人情報等、 研究実施に関する窓口	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 12回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。  
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
・ 規定の主な内容 利益相反管理の対象、利益相反委員会、利益相反相談室、自己申告書の提出等の手続き	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 12回

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 1回
・ 研修の主な内容 【個人情報保護法改正に伴う研究倫理指針の改正について】	

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

## 高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

### 1 研修の内容

#### 第一内科【血液内科】【膠原病・リウマチ内科】【感染症内科】

第一内科の専門領域は、血液、膠原病・リウマチ、感染症である。カンファレンスやセミナーを頻回に開催し、内科学会総合内科専門医、血液学会専門医、リウマチ学会専門医、感染症学会専門医を取得できるように、研修・指導を行っている。また、最近社会的ニーズが非常に高い臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医の育成にも努力している。

#### 第二内科【循環器内科】【呼吸器内科】【腎臓内科】

当科に所属する日本内科学会総合内科専門医、日本循環学会専門医、日本呼吸器学会専門医、日本腎臓専門医、日本老年病専門医、日本臨床遺伝専門医、日本アレルギー学会専門医、日本不整脈学会専門医、日本高血圧学会専門医が血管機能解析、腎生検、血液浄化療法、肺癌化学療法、経気管支鏡的肺生検・吸引針生検、冠動脈形成術、心臓再同期療法、心筋焼灼療法等の高度医療を指導し、専門医の育成を行っている。

#### 第三内科【消化器内科】【肝臓内科】【内分泌代謝内科】

この領域は、第三内科が研修を担当する。消化器病として消化管・肝・胆・膵領域、甲状腺・副腎皮質などの内分泌領域、糖尿病をはじめとする糖代謝、脂質代謝、尿酸代謝、金属代謝などの代謝領域、および栄養学の研修を指導した。研修では各々の領域の患者に対して先端的な診療、検査に触れるとともに、カンファレンスを通して理解を深め、目標を持ち自律的意欲的に研修、習得する医師の養成を目指している。当科のスタッフは日本内科学会指導医、日本消化器病学会指導医、日本肝臓学会指導医、日本超音波学会指導医、日本消化器内視鏡学会指導医、日本糖尿病学会指導医、日本内分泌学会指導医、日本アレルギー学会指導医、日本病態栄養学会専門医、NST稼働施設責任者等の各種指導資格を有しており、各領域の専門研修による専門医の育成とともに、内科を幅広く柔軟に診療できる内科医の育成を目指して研修・指導を行っている。

#### 脳神経内科【老年・神経内科】

神経内科、老年病、脳卒中、認知症などの専門医が、神経疾患、脳卒中や認知症の診療を教育した。入院診療では、免疫性神経疾患や変性疾患などを主体として、神経学的診察、末梢神経・中枢神経の電気生理検査、針筋電図や超音波検査(頸部血管、経頭蓋、経食道)などの専門手技の研修を行った。また、認知症診療では、愛媛県認知症疾患医療センターやもの忘れ外来診療を中心に、薬物治療や介護保険の利用法、その他の社会支援制度利用や生活指導の方法などの教育を行っている。

#### 糖尿病内科・臨床検査医学【糖尿病内科】

糖尿病専門医・指導医、内科専門医・指導医による専門的かつ総合的な研修を実施している。具体的には、1型糖尿病の診断・管理、急性代謝異常の診断・管理、2型糖尿病の診断・管理、その他特定の型(2次性)糖尿病の診断・管理、糖尿病合併妊娠及び妊娠糖尿病の診断・管理、周術期の血糖管理、持続皮下インスリン注入療法(CSII)を用いた血糖管理、持続血糖測定(CGM)を用いた血糖管理、ならびに糖尿病合併症の診断・治療・管理・予防教育を行っている。

#### 臨床薬理神経内科【薬物療法・神経内科】

脳神経疾患の診断・治療・教育研修とともに、特に難治性神経疾患の治療薬の研究・開発・研修を行っている。また、臨床研究に必要な手法の研究開発と基盤整備、および法務上必要な研修、指導を行っている。研修後に総合内科専門医、神経内科専門医、認知症専門医、頭痛専門医、臨床薬理専門医を取得している。

### 【精神科】

大学病院及び関連病院にて研修を行っている。後期研修以降は、それぞれのサブスペシャリティを決定し、その分野で研鑽をつみ、精神科医としての技能や知識を習得する。また、下記の項目にも重点をおく。

1. 児童思春期、青年期、老年期のそれぞれの年代の症例、また器質性、機能性、反応性の各精神障害の症例すべての臨床経験を獲得するよう主治医としてかかわる。
2. 臨床研究として、学会発表を行う。
3. 国内・国際学会、教室内外の勉強会に参加する。
4. クロザピン投与、修正型電気けいれん療法、光トポグラフィーなど極めて専門性の高い検査・治療に携わる。

また、臨床経験5年後には、精神保健指定医を取得し、日本精神神経学会専門医の獲得ができるよう環境を整えている。

### 小児科【小児科】

後期研修1年目より専門医の取得を目指し小児の各分野の高度医療を実践する。特に新生児の管理・治療、小児がんの造血細胞移植などの高度医療、循環器疾患のインターベンション治療を含めた高度医療、難治性神経疾患の治療、遺伝性疾患の遺伝カウンセリングなどの他、感染症、内分泌・代謝、アレルギー、腎、膠原病などの幅広い小児科の分野の研修を行っている。また研修期間中は予防接種、健診などの予防医療についても研修を行っている。

### 消化器腫瘍外科【消化器腫瘍外科】

消化器（主に消化管）癌に対する外科的治療（開腹、内視鏡、ロボット支援手術）を系統的に学び、更に化学療法、放射線治療などの集学的治療による治療戦略を学ぶことができる臨床研修を行う。外科専門医のみならず内視鏡外科技術認定医を目指した高度な手術技術を指導する。ドライラボ、アニマルラボ、シミュレータ、カダバーによる習熟度に応じた手術指導も定期的開催し、スキルアップを図る体制を用意している。

### 肝胆膵・乳腺移植外科【肝臓外科】 【胆のう外科】 【膵臓外科】 【乳腺外科】 【移植外科】

肝臓、胆のう、膵臓疾患について、画像診断から治療方針の決定、外科治療など消化器外科専門医並びに消化器病専門医及び肝胆膵外科高度専門医を取得できるように、研修、指導を行っている。

### 心臓血管・呼吸器外科【心臓血管外科】 【呼吸器外科】

1. 心臓血管外科においては、外科専門医、心臓血管外科専門医の資格の取得に必要な、経験、技術、知識、人間性を習得することを目標として、将来、専門医として社会貢献できる医師を目指す研修を行っている。
2. 呼吸器外科においては、外科専門医、呼吸器外科専門医の取得が可能。呼吸器外科疾患の適切な診断能力と治療方針はもちろん、呼吸器センターの一員として、あらゆる状況において応用可能な能力を身につける研修を行っている。

### 脳神経外科【脳神経外科】

日本脳神経外科学会研修プログラムに則って、研修指導医の下で、脳神経外科の診断と治療に必要な知識と基本的技術を習得させるため、基本診療科の一つとして、愛媛大学と関連連携施設で研修をすすめる。当施設では脳卒中センター、脊椎センター、手術手技研修センターにおいて、脳卒中の急性期治療（脳血管内治療を含む）、脊椎・脊髄疾患の診療、手術に必要な微小解剖のトレーニングを中心としている。脳腫瘍・脳血管疾患、脊椎。脊髄の主要な疾患の他に、小児脳神経外科、機能神経外科、感染症などの田崎な疾患群全てを研修可能である。それによって、脳神経外科専門医取得にあたっての、十分な臨床経験を積める環境が整っている。

### 整形外科【整形外科】

運動器疾患全般に関して、科学的知識と高い社会的倫理観を備えた医師を養成すべく、進歩する医学知識と最新の医療技術を研鑽させた。特に以下の3点に重点を置いた教育を行っている。

- 1, 高齢者のQOLを支える医療
- 2, エビデンスに基づく幅広い治療方針
- 3, 水準の高い治療で早期の社会復帰をサポート

さらに、整形外科専門医習得に必要な臨床症例の経験と論文作成・学術発表の指導も行っている。

### 皮膚科【皮膚科】【形成外科】

皮膚科学会、形成外科学会の研修施設認定を受けている。皮膚科では湿疹や感染症などの日常的疾患から、皮膚がん、自己免疫性疾患、重症薬疹、先天性疾患などの希少疾患までを対象とした総括的かつ専門性の高い研修を行っている。必要研修期間終了時には専門医の取得が可能である。形成外科では小児の先天性疾患からマイクロサージャリーによる再建手術まで、広範囲かつ高度な専門的な技術を習得できる研修を行っている。いずれも必要研修期間終了時には専門医の取得が可能であり、その後さらに皮膚腫瘍外科専門医、レーザー専門医、頭蓋顎顔面外科専門医などの取得も可能である。

### 泌尿器科【泌尿器科】

副腎、尿路、男性生殖器の診断、治療に関する研修を行う。効率的に泌尿器科医としての研修を受け、10年間の研修を修了すれば、泌尿器科医として独り立ちできるように県下基幹病院と協力して独自の研修システムを整備している。その中で当科では、腎や副腎、膀胱などの鏡視下手術、ロボットを用いた前立腺手術、各種開腹手術、尿路結石や膀胱癌に対しての内視鏡的手術、婦人科泌尿器科手術、慢性腎不全に導入から腎移植までの研修を行っている。また、尿路上皮癌や前立腺癌に対する抗癌化学療法や放射線治療なども、全国的にもリーダー的存在で、専門性の高い研修を行っている。

### 眼科【眼科】

日本眼科学会の研修プログラム基幹研修施設として眼科指導医のもとで、眼科学の進歩に応じて、眼科医の知識と医療技術を高め、すぐれた眼科医を養成するための指導を行っている。研修プログラムでは、外来患者および年間1000例以上の手術症例を中心に、眼科一般の診断と治療に必要な知識と基本的技術を取得させる内容となっている。また、高度な医療技術、特に難易度の高い手術のための知識やその実行には、頭頸部のより高度な解剖学的知識が要求されるため、御遺体を用いて以下の涙道手術手技研修を行っている。

### 耳鼻咽喉科・頭頸部外科【耳鼻咽喉科】

日本耳鼻咽喉科学会の研修施設認定を受けており、耳鼻咽喉科学ならびにその関連領域における医学の進歩に応じて、耳鼻咽喉科医の知識と医療技術を高め、すぐれた耳鼻咽喉科医の養成を図った。研修プログラムには、耳、鼻・副鼻腔、口腔咽喉頭、頭頸部の各領域における十分な専門性を有する指導医をおき、年間500例以上の手術症例を中心に研修を行った。人工内耳などの最先端耳鼻咽喉科医療の指導体制も充実している。

### 放射線科【放射線診断分野】【放射線治療分野】

1. 診断専門医は、画像診断（X線、CT、MRI、超音波等）、核医学、インターベンションラジオロジー（IVR）の専門的知識と診療技術を習得し、この知識と技術に基づいた検査の選択・指示・実施・管理等が出来るようにする。
2. 放射線治療専門医は、悪性腫瘍および一部の良性疾患に関して、放射線治療の効果、照射術式とその計画、有害事象、治療前中後の管理などについての専門知識と診療技術を駆使した適正な放射線治療が行えるようにする。

### 産婦人科【周産期医学分野】【婦人科腫瘍分野】【女性医学分野】【生殖医療分野】

日本産科婦人科学会専門医指導医のもと、上記4領域において患者を担当する医療者チームの一員として診断・治療に携わる。4領域に関する研修ガイドラインに基づいて臨床に必要な基本知識・産婦人科疾患に対する検査・診断・治療を以下の項目を目標に修得する。

1. 周産期医学分野：母体合併症妊娠における母児の問題点および管理法、超音波検査を用いた胎児の推定体重や血流測定を含めた胎児の元気度の評価や構造異常の評価に関して修得する。分娩管理については、分娩進行の評価につき研修し、分娩介助および帝王切開の適応・手技についても修得する。

2. 婦人科腫瘍分野：婦人科疾患における超音波検査・CT検査・MRIなどの画像診断を用いた診断学の修得を行う。内診による腫瘍の進展度の評価やコルポスコーピーによる子宮頸部病変の評価について研修する。開腹術・腹腔鏡下の婦人科手術手技を理解し、基本的手技および周術期管理の実際について修得する。

3. 女性医学分野：女性の内分泌疾患に対する診断・管理やホルモン補充療法、更年期障害に対するアプローチについて研修する。

4. 生殖医療分野：不妊症の検査・診断および生殖補助技術\*以外の排卵誘発法やタイミング法などの基本的な治療について研修する。（\*：生殖補助技術については、他施設において研修する。）

### 麻酔科【麻酔科蘇生科】

臨床の現場において、手術における全身麻酔や区域麻酔、集中治療管理、痛みの治療の研修指導を行い、さらに下記の研修を通して、より高度な医療技術を身につけるよう指導する。

1. 高機能シミュレータを用いた全身麻酔手技の習得
2. 危機的状況を想定したシナリオトレーニング
3. 緩和ケア医療の研修

### リハビリテーション部【リハビリテーション科】

日本リハビリテーション医学会専門医の指導の下、以下の項目を目標とした教育プログラムを行っている。

1. 診断学：リハビリテーションを行う上で必要な、各種画像検査・電気生理学的検査・病理診断・超音波検査などを、評価・施行できる。運動障害や高次脳機能障害だけでなく、嚥下障害、心肺機能障害、排泄障害の評価といった、関連領域も評価ができる。

2. 治療：全身状態の管理ができる。障害評価に基づく治療計画が立てられる。各種リハビリテーション（理学療法・作業療法など）に加え、義肢装具の処方・ブロック療法・薬物治療・生活指導などができる。

### 救急科【救急科】

専攻医には、以下の3つの学習方法で専門研修を行う。

1. 臨床現場での学習：経験豊富な指導医が中心となり救急科専門医や他領域の専門医とも協働して、専攻医に広く臨床現場での学習を提供する。

- 1) 救急診療や手術での実地修練(on-the-job training)
- 2) 診療科におけるカンファレンスおよび関連診療科との合同カンファレンス
- 3) 抄読会・勉強会への参加
- 4) 臨床現場でのシミュレーションシステムを利用した、知識・技能の習得

2. 臨床現場を離れた学習：国内外の標準的治療および先進的・研究的治療を学習するために、救急医学に関連する学術集会、セミナー、講演会およびJATEC、JPTEC、ICLSコースなどのoff-the-job training course に積極的に参加する。救命処置法の習得のみならず、インストラクターコースへ参加できるように配慮し、その指導法を学ぶ。また、研修施設もしくは日本救急医学会等が開催する認定された法制・倫理・安全に関する講習にそれぞれ少なくとも1回は参加する。

3. 自己学習専門研修期間中の疾患や病態の経験値の不足を補うために、日本救急医学会等が準備する「救急診療指針」、e-Learningなどを活用した学習を病院内や自宅で利用できる機会を提供する。

研修プログラムの実際と特徴としては、本研修プログラムは、各専攻医の希望を考慮し、個々の基本モジュールの内容を吟味した上で、基幹施設・連携施設のいずれの施設からの開始に対しても対応できるように設計された研修コースである。本研修プログラムによる救急科専門医取得後には、集中治療、外傷、熱傷などの救急科関連領域の医療技術向上および専門医取得を目指す臨床研修や、リサーチマインドの醸成および医学博士号取得を目指す研究活動を選択することが可能。プログラム期間中に当大学病院等で研修を行いながら愛媛大学大学院医学系研究科への社会人大学院進学を認めている。また本研修プログラム管理委員会は、基幹研修施設である愛媛大学医学部附属病院総合臨床研修センターと協力し、大学卒業後2年以内の初期研修医の希望に応じて、将来、救急科を目指すための救急医療に重点を置いた初期研修プログラム作成にもかかわっている。

#### 歯科口腔外科・矯正歯科【歯科口腔外科】

外来における初診患者の問診、初診診察、診断、治療の口腔外科疾患一連の流れ、および手術手技難易度分類の中等度までにおける外来外科処置の執刀および術後のfollowを行っている。また、病棟においては入院から退院までの口腔癌、顎変形症、炎症、外傷、嚢胞性疾患患者等の患者管理および中等度相当までの執刀を指導医の元、経験する。臨床外に関しては、口腔外科関連論文の抄読会を担当し、学術的理解にも励んでいる。

#### 病理診断科・病理部【病理科】

病理専門医は、病理学総論と諸臓器の疾患に関する病理学的知見に基づいて、医療の根幹である病理診断（病理解剖、手術・生検標本診断、細胞診）を行い、臨床医との相互討論を通じて医療の質を担保し、高度先進医療、地域医療の推進に寄与する。本院では、「患者に学び患者に還元する医療」の姿勢で、医療倫理、医療安全を実施し、社会的ニーズに応じた病理専門医を育成する。病理専門研修では、日本病理学会の「専門研修手帳」に記された基準を満たすよう、知識・技能・態度の指導を行う。病理解剖については、視聴覚教材とマンツーマン指導による手技の修得・肉眼所見と病理組織標本検鏡・診断書作成、全例CPCを行う。手術・生検標本の診断と細胞診断は、業務マニュアルによる切り出し手技や報告書作成の標準化と、指導医によるマンツーマン指導・全例検閲を行う。臨床科との症例検討会での発表討論を日常的に行い、愛媛県病理研究会、中四国支部会、日本病理学会総会での症例報告を指導する。基礎の病理学講座との連携のもとに、分子病理学的研究手法の研鑽を奨励する。病理診断学の修練のみならず、専門医取得後のキャリア形成に留意し、後進の指導にあたる人材育成を目指す。

#### 睡眠医療センター【睡眠医療】

睡眠障害の診断・治療について、専門的研修を実施する。日本睡眠学会認定医療機関であり、年間200例以上の終夜睡眠ポリグラフィ実施を基盤とした睡眠障害の生理学的診断法、ならびに睡眠覚醒メカニズムに即した治療手法について、学会認定医が研修を担当する。国際学会での発表、論文指導も行う。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

## 2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	38 人
-------------	------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

### 3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
竹中 克斗	第一内科	教授	32年	
山之内 純	輸血・細胞治療部	准教授	28年	血液
薬師神 芳洋	腫瘍センター	教授	35年	腫瘍内科
池田 俊太郎	循環器内科	教授	31年	
山口 修	呼吸器内科	教授	28年	循環器・呼吸器・高血 圧内科学
日浅 陽一	第三内科	教授	33年	消化器・内分泌・代謝 内科学
大八木 保政	脳神経内科	教授	38年	神経内科・老年病
大澤 春彦	糖尿病内科・臨床検査医学	教授	35年	
永井 将弘	臨床薬理神経内科	特任教授	35年	
上野 修一	精神科	教授	38年	
江口 真理子	小児科	教授	32年	
檜垣 高史	地域小児・周産期	教授	35年	
田内 久道	感染制御部	准教授	33年	
押切 太郎	消化管腫瘍外科	教授	28年	
高田 泰次	肝臓・胆のう・膵臓・移植 外科	教授	40年	消化器外科、肝胆膵・ 移植外科
泉谷 裕則	心臓血管・呼吸器外科	教授	35年	心臓血管外科
佐野 由文	心臓血管・呼吸器外科	准教授	38年	呼吸器外科
國枝 武治	脳神経外科	教授	30年	脳神経外科
高尾 正樹	整形外科	教授	25年	
藤澤 康弘	皮膚科・形成外科	教授	25年	
雑賀 隆史	泌尿器科	教授	36年	
白石 敦	眼科	教授	37年	
羽藤 直人	耳鼻咽喉科	教授	34年	耳鼻咽喉科
城戸 輝仁	放射線科	教授	24年	放射線診断分野
倉田 聖	放射線科	准教授	27年	放射線治療分野
杉山 隆	産婦人科	教授	36年	周産期・女性医学分野
松原 圭一	産婦人科	教授	36年	周産期医学分野
藤岡 徹	産婦人科	准教授	32年	婦人科腫瘍分野
萬家 俊博	麻酔科蘇生科	教授	39年	
佐藤 格夫	救急科	教授	28年	
中城 公一	歯科口腔外科・矯正歯科	准教授	30年	
北澤 理子	病理診断科・病理部	特任教授	28年	
岡 靖哲	睡眠医療センター	准教授	30年	睡眠医療

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

- ・研修の主な内容： 「国公立大学病院診療放射線技術者研修」
- ・研修の期間・実施回数：2022年10月17日～20日 4日間
- ・研修の参加人数：1名
  
- ・研修の主な内容： 病棟看護師研修（経静脈栄養について）
- ・研修の期間・実施回数：2022年10月6日
- ・研修の参加人数： 22名
  
- ・研修の主な内容： 病棟看護師研修（薬剤の基礎知識）
- ・研修の期間・実施回数：2022年6月6日
- ・研修の参加人数： 20名
  
- ・研修の主な内容： 病棟看護師研修（高カロリー輸液について）
- ・研修の期間・実施回数：2022年6月14日
- ・研修の参加人数： 20名
  
- ・研修の主な内容： 病棟看護師研修（病棟での輸液管理についての注意点）
- ・研修の期間・実施回数：2022年6月23日
- ・研修の参加人数： 10名
  
- ・研修の主な内容： 新規採用者研修
- ・研修の期間・実施回数：2022年4月4日～5月30日（DVD回覧）
- ・研修の参加人数： 137名（うち看護職：57名、事務系：2名）
  
- ・研修の主な内容： 新人看護職員研修「薬剤の基礎知識」
- ・研修の期間・実施回数：2022年4月12日 ①8:30～12:00、②13:15～16:45
- ・研修の参加人数： ①28名、②26名
  
- ・研修の主な内容： 新人看護職員研修「多職種について知ろう」
- ・研修の期間・実施回数：2022年4月26日
- ・研修の参加人数： 4名

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

- ・研修の主な内容 業務範囲追加に伴う厚生労働大臣指定による研修
- ・研修の期間・実施回数 2021年9月～2027年3月
- ・研修の参加人数 5名
  
- ・研修の主な内容：「3-ヨードベンジルグアニジン注射液を用いた治癒切除不能なPPGLに対する核医学治療の安全取扱講習会」
- ・研修の期間・実施回数：2022年7月20日～8月7日
- ・研修の参加人数：3名
  
- ・研修の主な内容：「診療放射線技師の業務拡大に伴う厚生労働大臣指定による研修」
- ・研修の期間・実施回数：2022年8月～2023年1月 4回
- ・研修の参加人数：6名
  
- ・研修の主な内容：「第13回MRI医療安全セミナー」
- ・研修の期間・実施回数：2022年12月3日 1回
- ・研修の参加人数：1名
  
- ・研修の主な内容：「第15回診療放射線技師医療安全セミナー」
- ・研修の期間・実施回数：2022年2月11日 1回
- ・研修の参加人数：5名
  
- ・研修の主な内容： 第41回創薬・育薬セミナー  
「個人情報保護法改正に伴う研究倫理指針の改正について」
- ・研修の期間・実施回数：2022年8月23日
- ・研修の参加人数： 121名（うち外部15名）
  
- ・研修の主な内容： 2022年度医療安全セミナー「インスリン製剤の安全使用について」
- ・研修の期間・実施回数：2022年4月（e-learning）
- ・研修の参加人数： 623名
  
- ・研修の主な内容： 2022年度第1回医療安全に関する講演会「安全な医薬品の取り扱い」
- ・研修の期間・実施回数：2022年5月9日～6月30日（e-learning）
- ・研修の参加人数： 1314名
  
- ・研修の主な内容： 令和4年度衛生管理者スキルアップ研修
- ・研修の期間・実施回数：2022年12月21日
- ・研修の参加人数： 1名

- ・研修の主な内容： 令和4年度医療コンフリクトマネジメント研修会（基礎編）
- ・研修の期間・実施回数：2023年1月14日～15日
- ・研修の参加人数： 1名
  
- ・研修の主な内容： 日本医療機能評価機構2022年度医療事故情報収集等事業RCA研修会
- ・研修の期間・実施回数：2023年2月18日
- ・研修の参加人数： 1名
  
- ・研修の主な内容： 日本医療機能評価機構2022年度研修会  
「医療機関と保険薬局の連携から考える医療安全への取り組み」
- ・研修の期間・実施回数：2023年3月5日
- ・研修の参加人数： 1名

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

- ・研修の主な内容： 連携充実加算-特定薬剤管理指導加算2の勉強会（第4回目）
- ・研修の期間・実施回数：2023年2月24日
- ・研修の参加人数： 105名
  
- ・研修の主な内容： 2022年度 愛媛県地域糖尿病療養指導士認定・更新のための研修会  
(薬物療法 内服・注射薬) [Web]
- ・研修の期間・実施回数：2023年2月11日～3月11日
- ・研修の参加人数： 114名
  
- ・研修の主な内容： HIV感染者・エイズ患者の在宅医療・介護の環境整備事業実地研修
- ・研修の期間・実施回数：2022年10月24日
- ・研修の参加人数： 2名

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

## (様式第 5)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	②. 現状
管理責任者氏名	病院長 杉山 隆	
管理担当者氏名	医療情報部長	木村 映善
	看護部長	崎田 智美
	薬剤部長	田中 守
	放射線部長	城戸 輝仁
	ME機器センター長	泉谷 裕則
	総務課長	若宮 俊一
	医事課長	高木 剛造
	人事労務課長	米田 健
	研究協力課	中川 玲
	医療サービス課長	松尾 一恵

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課
		各科診療日誌	各診療科
		処方せん	薬剤部
		手術記録	手術部
		看護記録	病棟
		検査所見記録	医療情報部
		エックス線写真	放射線部
		紹介状	医療情報部
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	医療情報部
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	人事労務課
		高度の医療の提供の実績	医事課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	研究協力課
		高度の医療の研修の実績	人事労務課
		閲覧実績	総務課
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課、薬剤部
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療サービス課
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療サービス課
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療サービス課
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療サービス課

カルテは医療情報部で一括管理(主に電子カルテ、古いものは一部紙カルテ)

1患者1カルテとし、病院外への持ち出しは例外を除き原則禁止。持ち出す場合は、申請・審査を受ける。

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一	院内感染対策のための指針の策定状況	医療サービス課
	第二項	院内感染対策のための委員会の開催状況	医療サービス課
	第一号	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医療サービス課
	第三号	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医療サービス課
	に掲げる事項	医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器安全管理責任者の配置状況	ME 機器センター
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME 機器センター
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME 機器センター	
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME 機器センター	

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療安全管理部、総務課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御部、総務課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部、総務課
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	総務課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療情報部、総務課
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全管理部、総務課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療サービス課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医療サービス課
		監査委員会の設置状況	総務課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療サービス課
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療サービス課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全管理部、総合診療サポートセンター
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務課
		職員研修の実施状況	医療サービス課、医事課、人事労務課
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	総務課
管理者が有する権限に関する状況	総務課		
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

## 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

### ○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画    ② 現状
閲覧責任者氏名	運営部長 仙波 文彦
閲覧担当者氏名	総務課長 若宮 俊一
閲覧の求めに応じる場所	総務課
閲覧の手続の概要 閲覧請求者は、国立大学法人愛媛大学情報公開取扱規程に基づき「法人文書開示請求」を提出し、承認の決定後、「開示の実施方法の申出書」に基づき閲覧する。	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

### ○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	①・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指針の主な内容：               <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 患者中心の医療の実践</li> <li>2. チーム医療の実践</li> <li>3. 医療安全に関する組織的取組み</li> <li>4. インシデントの報告と情報の共有</li> <li>5. 機能する医療事故防止対策</li> <li>6. 適切な医療事故への対応</li> <li>7. 患者相談の実施、指針等の閲覧</li> <li>8. 医療安全管理教育・研修、啓発</li> <li>9. その他の医療安全推進への対応</li> <li>10. 医療安全管理マニュアルの作成・更新</li> </ol> </li> </ul>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設置の有無（①・無）</li> <li>・ 開催状況：年12回</li> <li>・ 活動の主な内容：               <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療に係る安全管理のための指針の策定及び変更に関する事</li> <li>2. 医療事故防止対策の検討及び研究に関する事</li> <li>3. インシデントの分析及び再発防止策の検討に関する事</li> <li>4. 医療事故調査制度に対応する死亡原因判定に関する事</li> <li>5. 医療事故防止のための啓発、教育及び研修に関する事</li> <li>6. 医療事故に対する対応策の策定に関する事</li> <li>7. 患者及び家族等の被害者への対応に関する事</li> <li>8. 関係公的機関への報告に関する事</li> <li>9. 報道に関する事</li> <li>10. その他、医療安全管理及び医療事故対策に関する事</li> </ol> </li> </ul>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年3回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の内容（すべて）：               <ul style="list-style-type: none"> <li>第1回：当院の医療安全管理体制について、安全な医薬品の取り扱い（令和4年5月9日～e-learning）</li> <li>第2回：今そこにある危機 屋外RRSについて RRSの現状（令和4年10月26日開催）</li> <li>第3回：虐待に関する病院での対応（令和5年1月26日開催）</li> </ul> </li> </ul>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機関内における事故報告等の整備（①・無）</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容：               <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療安全ラウンド：年2回計画的に実施</li> <li>2. インシデント報告後の現場ラウンド、ヒアリング（随時）</li> <li>3. 医療安全シンポジウム：年1回医療現場からの公募方式で実施</li> </ol> </li> </ul>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	Ⓐ・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指針の主な内容：               <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 院内感染対策に関する基本的な考え方</li> <li>2. 院内感染対策のための委員会その他院内の組織に関する基本的事項</li> <li>3. 院内感染対策のための従業者に対する研修に関する基本指針</li> <li>4. 感染症の発生状況の対応に関する基本指針</li> <li>5. 院内感染発生時の対応に関する基本指針</li> <li>6. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本指針</li> <li>7. その他院内感染対策の推進のための基本方針</li> </ol> </li> </ul>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動の主な内容：               <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 院内感染の調査、予防対策に関すること</li> <li>2. 院内感染防止の実施、監視及び指導に関する活動</li> <li>3. 院内感染発生時の措置に関すること</li> <li>4. 職員の院内感染の教育に関すること</li> <li>5. その他院内感染防止に関すること</li> </ol> </li> </ul>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年3回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の内容（すべて）：               <ul style="list-style-type: none"> <li>第1回 感染対策の基本・当院のAST活動について （講演会：令和4年6月23日 e-learning：令和4年9月21日～10月21日）</li> <li>第2回 口腔ケア・抗菌薬適正使用について （講演会：令和4年12月14日 e-learning：令和5年2月3日～2月24日）</li> <li>第3回 疥癬の感染予防対策・カルバペネム系抗菌薬について （講演会：令和5年2月28日 e-learning：令和5年3月13日～3月24日）</li> </ul> </li> </ul>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院における発生状況の報告等の整備 （Ⓐ・無）</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容：               <ul style="list-style-type: none"> <li>ICT会議において事例を検討し、問題点の分析を実施している。また、その結果を含めて院内感染対策委員会へ報告し、重要な事例については病院運営委員会及び病院連絡協議会に報告している。</li> <li>研修会には、参加者アンケートから研修会の要望を調査し、次年度の研修計画の参考としている。</li> <li>週に1回院内ラウンドし、感染対策について確認を行っている。</li> </ul> </li> </ul>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容： 令和4年度第1回医療安全に関する講演会「安全な医薬品の取扱いについて」 令和4年度医療安全セミナー「インスリン製剤の安全使用」</li> </ul>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手順書の作成 (有 無)</li> <li>・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書として「医薬品安全管理手順書」を作成（平成19年7月1日策定、令和3年7月15日改訂）。 医薬品安全手順書に基づく業務の各部署実施状況の確認は、医療安全管理部と薬剤部が協働して行う年2回の医療安全ラウンドにおいて行い、業務改善が必要な事項について指導し、改善を図っている。医療安全ラウンドでの各部署における確認結果は、医療安全管理部会議、医療安全管理委員会、リスクマネジャー会議で報告を行い、院内での情報共有を行っている。さらに、薬剤部で毎月開催している医薬品安全管理カンファレンスにおいても医療安全報告を行い薬剤師間での情報共有を図っている。</li> </ul>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有 無)</li> <li>・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）： 未承認薬：慢性上咽頭炎および新型コロナウイルス後遺症の治療のための塩化亜鉛水溶液の使用 適応外使用：若年性脊椎関節炎に対するヒュミラ皮下注ペン40mg 禁忌：妊婦へのカルベジロール錠の使用</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>● 調剤時以外での禁忌該当薬剤の確認体制 薬剤部薬品情報管理室において、処方薬剤に対して禁忌病名が登録されている入院患者情報を抽出している。抽出された情報に基づき病棟担当薬剤師が担当医に禁忌該当薬剤に対する疑義照会を行い、当該薬剤処方継続の可否の確認、必要に応じて処方提案を行っている。また、疑義照会の結果、既に終了している病名であった場合は病名整理を依頼し、適切に医薬品が使用できるよう努めている。また、これらの病名に関する禁忌の情報には毎月医事課にも報告しており、医事課からも病名整理を依頼している。</li> <li>● 医療安全管理委員会への医薬品安全管理報告体制 医薬品安全管理体制を担っている部門（薬剤部）における医薬品の安全使用に係る業務を医療安全管理委員会へ報告している。内容は、院内副作用報告件数および医薬品安全性情報報告件数、院内院外疑義照会件数、プレアポイド報告件数、禁忌該当薬剤の確認数等である。医療安全管理委員会は医薬品安全管理体制の部門を監査し、必要に応じて意見することとしている。</li> </ul> </li> </ul>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	○・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 45 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容：               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 新規医療機器導入時</li> <li>② 使用方法、保守点検に関して</li> <li>③ 有用性や安全性に関して</li> <li>④ 不具合等発生時の対応に関して</li> <li>⑤ 学会、研修会への出席</li> </ol> </li> </ul>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機器に係る計画の策定 ( ○・無 )</li> <li>・ 機器ごとの保守点検の主な内容：               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 定期点検と日常点検および不良対応点検</li> </ol> </li> </ul>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 ( ○・無 )</li> <li>・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）：               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) エアオプティクスアクアEX/メダリストプラス（難治性眼表面疾患の眼表面保護治療のため使用）【適応外使用】 眼科：10件</li> <li>2) Manoscan（嚥下障害に対する病態診断、予後診断）【未承認】 耳鼻咽喉科：4件</li> <li>3) Jones Tube（重症涙小管閉塞で涙小管再建が不能な症例に対して、結膜と涙嚢及び鼻腔にステント留置目的で使用）【未承認】 眼科：6件</li> </ol> </li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容：               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 医療機器の使用等についてインシデントが発生した場合は、インシデント検討会議、リスクマネジャー会議にて事例を分析し、改善策等を立案している。また、立案した改善策については医療安全管理委員会にて報告し承認を得た後、リスクマネジャー会議やME機器センター発信のインフォメーションにおいて院内に周知している。</li> </ol> </li> </ul>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	○・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 責任者の資格 (医師・歯科医師)</li> <li>・ 医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</li> </ul> <p>愛媛大学医学部附属病院副病院長に関する規定 第3条3 病院長は、医療安全を担当する副病院長を医療法施行規則第9条の20の2第1項第1号に規定する医療安全管理責任者に指名し、医療安全管理部、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者を統括させる。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	○ ( 3名 ) ・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況 薬品情報管理室において医薬品に関する情報（イエローレター、ブルーレター、回収・出荷停止、適正使用のお願い、医薬品・医療機器等安全性情報、医薬品安全対策情報、PMDA 医療安全情報、日本医療機能評価機構医療安全情報、添付文書改訂、PMDA からの公知申請情報・適応外情報）を一元的に収集し、院内メーリングリストや院内イントラネット、電子カルテ掲示板を利用し周知している。また、DI ニュース、プレアポイドニュース、薬事委員会において決定した新規採用・削除薬一覧表（New Face）を作成し、メーリングリストおよび紙媒体等を用いて院内へ周知している。 特に重要な情報（イエローレター、ブルーレター、その他薬品情報管理室が重要と判断した内容）については、上記の周知に加えてデータウェアハウスを用いて抽出した該当薬品使用中の全患者を対象とした適正使用のモニタリング、処方医に対する電子カルテでの個別メールによる情報提供もを行っている。</li> <li>・ 未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況 院内において未承認、適応外あるいは禁忌薬（以後、未承認新規医薬品等）を新たに使用する場合には、未承認新規医薬品等評価部に必要書類を提出する。書類とは①未承認新規医薬品等申請・報告書式、②患者向け説明文書、③患者同意書、④患者同意撤回書、⑤未承認新規医薬品等を使用する根拠となるエビデンス（文献等）、⑥医薬品を用いる場合は当該医薬品の添付文書であり、未承認新規医薬品等評価部は申請内容に関して未承認新規医薬品等評価委員会に意見を求めた上で使用の可否を決定する。なお、医学倫理委員会の審査が必要と判断された場合には、その審査の結果を以て使用可否の判断を行う。また、承認された未承認新規医薬品等に関しては未承認新規医薬品等評価部で実施報告書や適正使用モニタリング等の管理を行う。 また、薬剤部において薬剤師が調剤時に当該薬品が未承認新規医薬品等に該当すると認識した場合は、担当医へ疑義照会を行い、妥当性の確認や処方提案を行っている。結果に関しては診療録へ記録し、必要に応じて医薬品安全管理責任者へ報告している。これらの未承認新規医薬品等に係る疑義照会情報は薬品情報管理室で収集し、院内の医療安全管理委員会へ報告する体制をとっている。</li> <li>・ 担当者の指名の有無 ○・無</li> <li>・ 担当者の所属・職種： (所属：未承認新規医薬品等評価部， 職種 薬剤師 (副薬剤部長)) (所属：薬剤部 ， 職種 薬剤師 (薬品情報管理室室長))</li> </ul>	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	○・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 ( ○・無 )</li> <li>・ 説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内</li> </ul>	

<p>容確認方法：各リスクマネジャーを通して確認</p> <p>指導内容：説明内容，説明手順，説明方法，成立要件，説明同意書，診療録への記載，責任者の配置</p>	
⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	④・無
<p>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：</p> <p>中央病歴室での量的点検及び多職種による質的監査により記載内容の確認を行っている。質的監査の都度、監査対象診療科へのフィードバックを行うとともに、年に1回、監査結果を集計し、診療記録管理委員会で審議後、病院運営委員会で報告している。昨年度の監査結果による主な指導内容はIC記載、手術記録必須項目等。</p>	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	④・無
<p>・所属職員：専従4名、専任1名、兼任24名</p> <p>うち医師：専従1名、専任1名、兼任9名</p> <p>うち薬剤師：専従1名、兼任1名</p> <p>うち看護師：専従2名、兼任9名</p> <p>(注) 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること</p> <p>・活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 報告があったインシデントのモニタリング，分析及び影響レベルの判定に関すること</li> <li>2. インシデント審議委員会及びインシデント調査委員会に関すること</li> <li>3. インシデントごとの解決策及び再発防止策の企画・立案に関すること</li> <li>4. 医療安全体制システム及びマニュアルの見直しに関すること</li> <li>5. 医療安全管理委員会で決定した事項についての周知の確認及びそれに必要な指導に関すること</li> <li>6. 安全管理に関する教育・研修等の実施に関すること</li> <li>7. 医療安全管理委員会の資料及び議事録の作成・保存等の運営に関すること</li> <li>8. 事故等に関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認及び必要な指導に関すること。</li> <li>9. 患者や家族への説明など事故発生時の対応状況についての確認及び必要な指導に関すること</li> <li>10. 事故等の原因究明が適切に実施されていることの確認及び必要な指導に関すること</li> <li>11. 他の委員会，患者相談窓口等他部門及びリスクマネジャー等との連絡調整に関すること</li> <li>12. 医療事故防止等に係る情報提供に関すること</li> <li>13. その他医療の質の向上及び安全管理に関すること</li> </ol>	

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。  
※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（8件）、及び許可件数（8件）
- ・ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（・無）
- ・ 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（・無）
- ・ 活動の主な内容：  
高難度新規医療技術を用いた医療の適正な提供を目的として、高難度新規医療技術の審査を行い、適否等の決定を行う。また、承認した高難度新規医療技術には、定期的な報告を義務付け、実施された全ての症例について、医療の安全性、適正性等を確認・評価する。有害事象及び死亡事例が発生した場合には、実施状況を確認した上で、必要に応じて対策等を講じる。
- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（・無）
- ・ 高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（・無）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（33件）、及び許可件数（33件）
- ・ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（・無）
- ・ 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（・無）
- ・ 活動の主な内容：  
未承認新規医薬品等を用いた適正な医療の提供を目的として、未承認新規医薬品等の審査を行い、適否等の決定を行う。また、承認した未承認新規医薬品等には、定期的な報告を義務付け、使用状況をモニタリングする。有害事象及び死亡事例が発生した場合には、未承認新規医薬品等が適正に使用されていたか全例確認する。
- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（・無）
- ・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（・無）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・ 入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 143 件

<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 177 件</li> <li>・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容 患者影響レベル 3b 以上のインシデントの分析及び再発防止策の検討。死亡事例検討会の結果報告確認</li> </ul>
<p>⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の特定機能病院等への立入り（<input checked="" type="checkbox"/>）（病院名：岐阜大学医学部附属病院）・無</li> <li>・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（<input checked="" type="checkbox"/>）（病院名：新潟大学医歯学総合病院）・無</li> <li>・技術的助言の実施状況 大学病院では専従看護師の複数体制が一般的であり、かつて国立大学附属病院医療安全管理協議会からも専従看護師の複数体制の提言があった。専従看護師が 1 名では、当該職員の人事異動の際や病欠などによって、空白期間が生じ、院内全体の医療安全管理体制にも大きな影響があると推察する。病院管理者には、専従看護師の複数体制をぜひご検討いただきたいという指摘もあり、令和 5 年 4 月 1 日から専従看護師 2 名体制としている。</li> </ul>
<p>⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体制の確保状況 総合診療サポートセンターが患者からの相談窓口となっている。個室の面談室 9 室、オープンな相談ブースを 4 ヶ所設置し、対応している。中でも、医療安全に係る相談については、総合診療サポートセンターのメディエーターが主に対応し、医療サービス課・医療安全管理部が連携できる体制をとっている。</li> </ul>

<p>⑫ 職員研修の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の実施状況 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 新規採用者へのオリエンテーション</li> <li>2. 医療安全に関する講演会（3 回）</li> <li>3. 医療安全セミナー（4 回）</li> </ol> </li> </ul>
---

(注) 前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者が、公益財団法人特定機能評価機構主催の「2022年度特定機能病院管理者研修（継続）」を受講した。

(注) 前年度の実績を記載すること

⑭ 医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・第三者による評価の受審状況

2022年2月に、公益財団法人日本医療機能評価機構が実施する病院機能評価のうち、主たる機能種別「一般病院3」及び副機能種別「精神科病院」を受審し、2022年8月19日付けで条件付認定を受けた。

・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

上記受審による審査結果報告書の改善要望事項の該当については、院内で共有するとともに、外部からも審査結果報告書の内容を確認出来るように、医学部附属病院ホームページのトップページに

本医療機関評価機構ホームページへのリンクを設置している。

・評価を踏まえ講じた措置

審査結果報告書により、評価判定結果が「B」であったセクションに関して、関係部署にて改善策を検討し、改善状況および計画等を「改善状況報告書」として作成し、取りまとめて院内で共有した。

また、評価判定結果が「C」であったセクションに関しては、院内で改善策を継続的に実践した。これについて評価機構における確認審査を受審し、2023年8月18日付けで全ての項目において「B」評価となり、条件付解除の認定を受けた。

(注) 記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基準の主な内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医師免許を有している者</li> <li>・ 医療安全確保のために必要な資質・能力を有している者</li> <li>・ 病院の管理運営に必要な資質・能力を有している者</li> <li>・ 教育・研究・診療に必要な資質・能力を有している者</li> </ul> </li> <li>・ 基準に係る内部規程の公表の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無 )</li> <li>・ 公表の方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 愛媛大学ホームページに掲載</li> </ul> </li> </ul>

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	有・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 ( 有・無 )</li> <li>・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 ( 有・無 )</li> <li>・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 ( 有・無 )</li> <li>・ 公表の方法</li> </ul>	

管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
八尋 秀典	理事(財務・マネジメント担当)	○	学長が指名する理事	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無
山下 政克	医学系研究科長		医学系研究科長	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無
羽藤 直人	医学系研究科医学専攻長		医学系研究科医学専攻長	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無
日浅 陽一	医学部附属病院副病院長(地域連携・地域医療再生担当)		学長が指名する副病院長	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無
崎田 智美	医学部附属病院看護部長		医学部附属病院看護部長	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無
大熊 伸定	弁護士		学外有識者：弁護士として、法律について豊富な知見を有している。	有・ <input checked="" type="checkbox"/>
高橋 敏彦	愛媛県保健福祉部長		学外有識者：愛媛県の保健医療に係る責任者として、地位の医療政策に関する豊富な経験と高い識見を有している。	有・ <input checked="" type="checkbox"/>

横山 めい	(株)エス・ピー・シー		学外有識者：愛媛大学経営協議会の委員であり、メディア事業を通じて、地域活性化について豊富な経験と高い識見を有している。	有・ <del>無</del>
-------	-------------	--	---	-----------------

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・合議体の主要な審議内容 運営方針、中期計画、予算及び決算その他病院の運営に関する重要事項</li> <li>・審議の概要の従業者への周知状況 愛媛大学医学部内職員サイトに資料・議事要旨を掲載</li> <li>・合議体に係る内部規程の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</li> <li>・公表の方法 愛媛大学ホームページに掲載</li> <li>・外部有識者からの意見聴取の有無（有・<del>無</del>）</li> </ul>	

合議体の委員名簿

氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
杉山 隆	○	医師	病院長／周産母子センター長
雑賀 隆史		医師	副病院長(総務・経営担当)、泌尿器科長
竹中 克斗		医師	副病院長(診療・教育担当)、第一内科長、造血細胞移植センター長
萬家 俊博		医師	副病院長(医療安全・危機管理担当)、手術部長、痛みセンター長
日浅 陽一		医師	副病院長(地域連携・地域医療再生担当)、第三内科長、総合診療サポートセンター長
崎田 智美		看護師	副病院長(患者サービス担当)、看護部長
大澤 春彦		医師	副病院長(橋渡し研究推進担当)、糖尿病内科・臨床検査医学科長、先端医療創生センター長
山口 修		医師	病院長補佐(病院再開発担当)、第二内科長
大八木 保政		医師	脳神経内科長
永井 将弘		医師	臨床薬理神経内科長、臨床研究支援センター長
川本 龍一		医師	総合診療科長
上野 修一		医師	精神科長
江口 真理子		医師	小児科長、臨床遺伝医療部長
押切 太郎		医師	消化器腫瘍外科長、低侵襲がん治療センター長
高田 泰次		医師	肝胆膵臓・移植外科長、高難度新規医療評価部長
泉谷 裕則		医師	心臓血管・呼吸器外科、ME 機器センター長
國枝 武治		医師	脳神経外科長
高尾 正樹		医師	整形外科長、リハビリテーション部長、人工関節センター長
藤澤 康弘		医師	皮膚科長

森 秀樹		医師	形成外科長
白石 敦		医師	眼科長、細胞プロセッシングセンター長
山田 啓之		医師	耳鼻咽喉科長
城戸 輝仁		医師	放射線科長、放射線部長
藤岡 徹		医師	産婦人科長
内田 大亮		歯科医師	歯科口腔外科・矯正歯科長、材料部長
佐藤 格夫		医師	病院長補佐（災害担当）、救急科長、救急部長
山之内 純		医師	輸血部・細胞治療部長
高崎 康史		医師	集中治療部長
北澤 理子		医師	病理部長
木村 映善		医師	病院長補佐（医療情報担当）、医療情報部長
池田 宜央		医師	光学医療診療部長
菊川 忠彦		医師	透析治療部長
鈴木 純		医師	医療安全管理部長
渡邊 英昭		医師	脳卒中センター長
西村 隆		医師	循環器病センター長
利光 久美子		管理栄養士	栄養部長
伊賀瀬 道也		医師	抗加齢・予防医療センター長
田内 久道		医師	病院長補佐（感染症担当）、感染制御部長
薬師神 芳洋		医師	腫瘍センター長
藤井 知美		医師	緩和ケアセンター長
徳本 良雄		医師	肝疾患診療相談センター長
重川 誠二		医師	脊椎センター長
川口 直人		医師	PETセンター長
佐野 由文		医師	呼吸器センター長
打田 俊司		医師	小児総合医療センター長
原 祐子		医師	屈折矯正センター長
亀井 義明		医師	乳腺センター長
岡 靖哲		医師	睡眠医療センター長
伊賀 淳一		医師	認知症疾患医療センター長
本田 弘文		医師	放射線治療品質保証室長
堀内 史枝		医師	子どものこころセンター長
飛鷹 範明		薬剤師	未承認新規医薬品等評価部長
竹下 英次		医師	炎症性腸疾患センター長
檜垣 高史		医師	移行期・成人先天性疾患センター長
田中 守		薬剤師	薬剤部長、臨床研究クオリティマネジメント部長
大元 謙二		診療放射線技師	診療支援部長
熊木 天児		医師	総合臨床研修センター長
仙波 文彦		事務職員	医学部運営部長
羽藤 直人		医師	学系研究科長（医学部長）
松浦 文三		医師	地域生活習慣病・内分泌講座 教授
古賀 繁宏		医師	病院長補佐（チーム医療推進担当）、消化器腫瘍外科 講師

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（  ・ 無 ）
- ・ 公表の方法  
愛媛大学ホームページに掲載
- ・ 規程の主な内容  
人事権限・予算執行権限
- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割  
【職名】副院長（総務・経営担当/診療・教育担当/医療安全・危機管理担当/地域連携・地域医療再生担当/患者サービス担当/橋渡し研究推進担当）  
病院長補佐（災害担当/病院再開発担当/医療情報担当/感染症担当/チーム医療推進担当）  
【役割】病院長の職務を補佐し、病院長から指示された重要な事項を処理する。  
【職名】（副院長のうち総務・経営担当）  
【役割】病院長が不在又は事故があるときは、その職務を代理する。  
【職名】（副院長のうち医療安全・危機管理担当）  
【役割】医療安全管理責任者として医療安全管理部、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者を統括する。
- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況  
厚労省委託事業の特定機能病院管理者養成研修に4名参加した。また、国立大学附属病院長会議等企画の病院経営次世代リーダー養成塾等、各種研修の受講を促している。

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 監査委員会の開催状況：年 2 回</li> <li>・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>次の事項について審議する。</li> <li>(1) 病院の医療安全に係る業務執行状況の監査に関すること。</li> <li>(2) 安全管理状況及び改善状況に関すること。</li> </ul> </li> <li>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（有・無）</li> <li>・ 委員名簿の公表の有無（有・無）</li> <li>・ 委員の選定理由の公表の有無（有・無）</li> <li>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（有・無）</li> <li>・ 公表の方法： <ul style="list-style-type: none"> <li>愛媛大学ホームページに掲載</li> </ul> </li> </ul>	

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
中西 徳彦	愛媛県立中央病院	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・無	1
大熊 伸定	弁護士法人 松山中央弁護士事務所		法律に関する識見を有する者	有・無	1
河野 和博	愛媛県難病等患者団体連絡協議会／愛媛県腎臓病患者連絡協議会		医療を受ける者	有・無	2
				有・無	
				有・無	
				有・無	

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

- ・体制の整備状況及び活動内容  
監査室を設置し、監事及び会計監査人と連携して監査を実施している。
  
- ・ 専門部署の設置の有無 (  ・ 無 )
- ・ 内部規程の整備の有無 (  ・ 無 )
- ・ 内部規程の公表の有無 (  ・ 無 )
- ・ 公表の方法  
愛媛大学ホームページに掲載

規則第15条の4第1項第3号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

<p>開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況                  国立大学法人法に基づき、役員会・経営協議会を設置し、病院の業務・管理運営及び経営に関する重要事項を審議・報告している。</li> <li>・ 会議体の実施状況（年回）                  役員会：21回 経営協議会：6回</li> <li>・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（有・無）（年回）                  役員会：18回 経営協議会：5回</li> <li>・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（有・無）</li> <li>・ 公表の方法                  愛媛大学ホームページに掲載</li> </ul>
--

病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：

会議体の委員名簿

氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
			有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 4 号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無 )</li><li>・ 通報件数 (年 0 件)</li><li>・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無 )</li><li>・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無 )</li><li>・ 周知の方法</li></ul> <p>愛媛大学教職員向けポータルサイト内に「相談窓口」のページを設け、様々な事案毎の相談窓口及び連絡先等を掲載している。その中に、医療安全管理の適正な実施に関する情報提供を受け付ける相談窓口の設置について掲載しており、加えて、本件について事務連絡メールを全教職員に送付し周知を図っている。</p>

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有
<p>・情報発信の方法、内容等の概要</p> <p>本院の目的・目標、果たすべき役割及び実績等をまとめた冊子「医学部／附属病院概要」を毎年作成・発行するとともに、電子BOOKとしてオリジナルホームページにも掲載している。</p> <p>また、DPCデータによる病院指標も公表し、当院の特徴や急性期医療の現状を理解していただくよう情報発信に務めている。</p>	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有
<p>・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要</p> <p>中央診療施設において、複数診療科等を組み合わせたセンターによる診察を行っている。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 周産母子センター (産婦人科、小児科)</li><li>2. 小児医療総合センター (小児科、心臓血管・呼吸器外科)</li><li>3. 呼吸器センター (第二内科、心臓血管・呼吸器外科)</li><li>4. 脊椎センター (整形外科、脳神経外科)</li><li>5. 睡眠センター (第二内科、耳鼻咽喉科)</li><li>6. 循環器病センター (第二内科、心臓血管・呼吸器外科)</li><li>7. 緩和ケアセンター (腫瘍センター、麻酔科蘇生科)</li><li>8. 認知症疾患医療センター (精神科、臨床薬理神経内科、脳神経内科)</li><li>9. 子どものこころセンター (精神科、小児科)</li><li>10. 炎症性腸疾患 (IBD) センター (第三内科、消化器腫瘍外科)</li></ol>	